

令和 7 年度

全国博物館長会議（第32回）

日程：令和 7 年 7 月 2 日（水）

目次

【開催要項】

- 令和7年度全国博物館長会議（第32回）開催要項・・・1

【博物館の現状】

- 博物館数の推移・・・3
- 種類別博物館数・博物館の年間開館の状況・・・4
- 博物館における諸集会の実施状況・博物館におけるボランティア活動状況 5
- 博物館（登録，相当施設）の入館者の推移・・・6
- 1館当たりの職員数の状況・種類別博物館数及び学芸員数・・・7
- 博物館のバリアフリー対応状況・・・8
- 博物館の構成・・・9

【文部科学省・文化庁における博物館関連施策】

- 令和7年度博物館関係予算額一覧・・・10
- 令和7年度学芸員・文化財保護専門技術者等の研修会等一覧・・・12
- 博物館における学芸員等を対象とした研修・派遣事業・・・16
- 博物館機能強化推進事業・・・19
- 新制度施行を踏まえた体制強化等をめざす館への専門的人材派遣・・・20
- 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業・・・21
- 文化遺産オンラインについて・・・22
- 被災ミュージアム再興事業・・・26
- 博物館に対する税制上の優遇措置について・・・27
- 美術品補償制度について・・・29
- 海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律について・・・32

【国立博物館等の概要・企画展一覧】

- 独立行政法人国立科学博物館の概要・令和7年度展覧会予定一覧・・・33
- 独立行政法人国立美術館の概要・令和7年度展覧会予定一覧・・・35
- 独立行政法人国立文化財機構の概要・令和7年度展覧会予定一覧・・・37

【日本博物館協会の取組】

- 公益財団法人日本博物館協会の主要活動について・・・39
- 第72回全国博物館大会決議・・・45
- 2025年「国際博物館の日」記念事業の概要・一覧・・・47
- 第72回全国博物館大会（大阪大会）概要・・・54

【博物館関係団体の概要】

- ・ ICOM日本委員会・・・55
- ・ 公益財団法人日本博物館協会・・・56
- ・ 公益社団法人日本動物園水族館協会・・・57
- ・ 公益社団法人日本植物園協会・・・58
- ・ 一般社団法人全国美術館会議・・・59
- ・ 美術館連絡協議会・・・60
- ・ 全国科学博物館協議会・・・61
- ・ 全国科学館連携協議会・・・62
- ・ 日本プラネタリウム協議会・・・63
- ・ 全国文学館協議会・・・64
- ・ 全国大学博物館学講座協議会・・・65
- ・ 大学博物館等協議会・・・66
- ・ 全国歴史民俗系博物館協議会・・・67
- ・ 日本公開天文台協会・・・68

令和7年度全国博物館長会議(第32回)開催要項

【テーマ】 守り、受け継ぎ未来を創る博物館の営み

1. 趣 旨

全国の国公立の博物館長に参加を求め、博物館を取り巻く文化政策や現在求められている役割・機能、博物館現場における諸課題について情報共有を行う。また館長のマネジメントの強化を基盤として博物館運営の充実を図り、教育・学術・文化の発展はもとより、中長期的且つ持続的に地域の活力向上に寄与していくための方策を協議する会議とする。

2. 主 催 文化庁、公益財団法人日本博物館協会

3. 対 象 全国の国公立博物館長

4. 期 日 令和7年7月2日(水)

5. 場 所 文部科学省 東館3F講堂(東京都千代田区霞が関3-2-2)

6. 予 定

※時間及び内容は変更となる可能性があります。

※発表・講演についてはアーカイブ映像を後日配信する予定で準備中です。

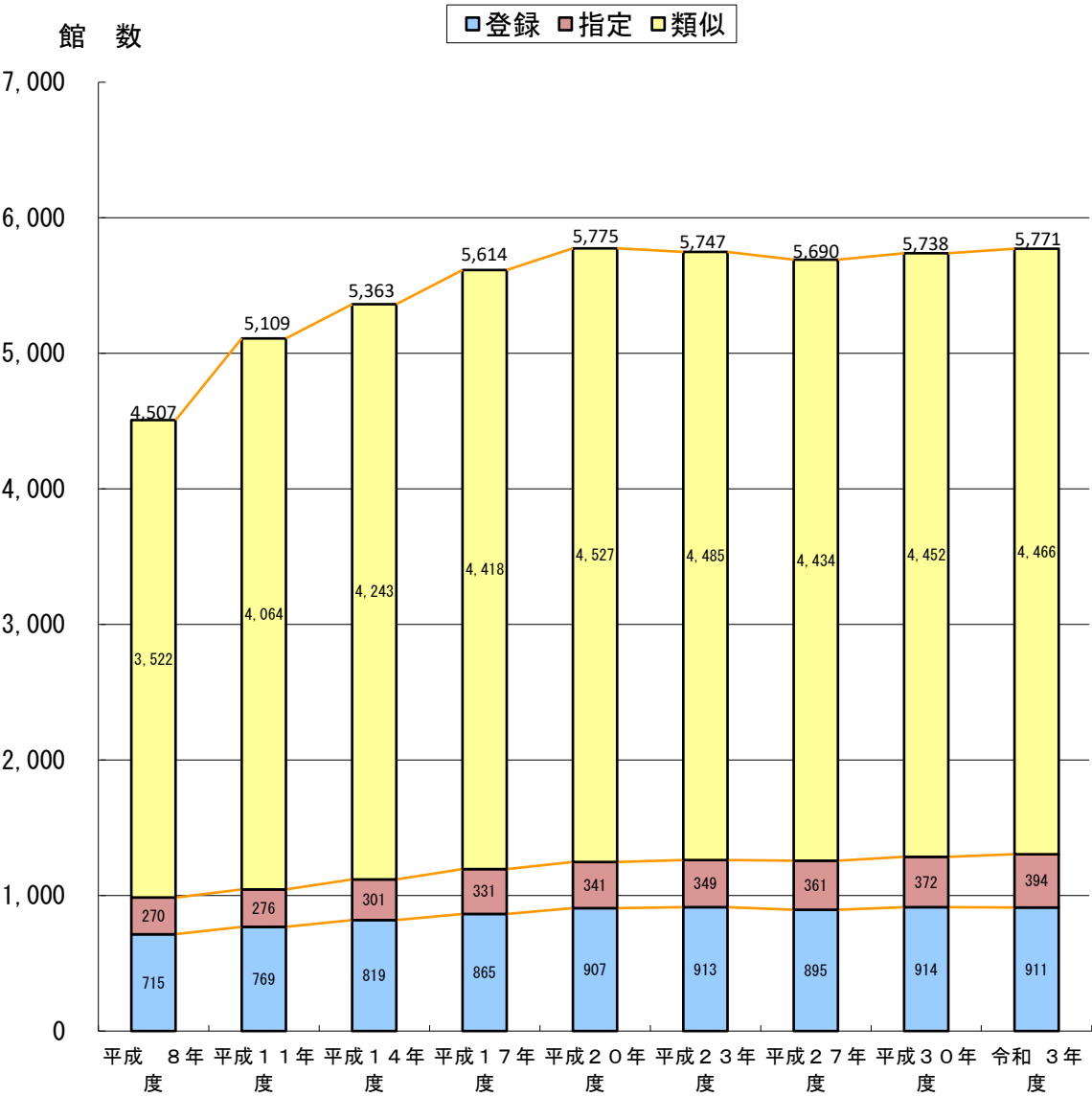
9:30～	受付開始	
「Innovate MUSEUM事業」成果報告会 ※講堂ホワイエにて成果報告パネル等を常時展示		
10:00～	開会挨拶	文化庁
10:05～10:25	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会(DX事業)	
10:25～10:45	「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム実行委員会(地域事業)	
10:45～11:05	東北歴史博物館(ネットワーク事業)	
11:05～11:15	休憩	
11:15～11:55	質疑応答&ディスカッション	
※講堂ホワイエにてInnovate MUSEUM事業成果報告パネルディスカッション実施予定		
令和7年度全国博物館長会議(第32回)		
13:30～13:40	主催者挨拶	文化庁 (公財)日本博物館協会
13:40～14:00	「博物館振興について」	文化庁
14:00～14:20	「博物館を支援する中間支援組織の役割」	(公財)日本博物館協会
14:20～14:40	第5回日本博物館協会賞受賞館によるプレゼンテーション	石川直章 小樽市総合博物館長
14:40～15:00	休憩	

15:00～15:20	「博物館IPMの取り組みとその重要性」	米村祥央(文化庁 文化資源活用課 古墳壁画室)
15:20～15:40	「ひらかれた美術館をいかにつくるか 鳥取県立美術館の事例から」	尾崎信一郎(鳥取県立美術館長)
15:40～16:00	「地域とともに歩む水族館～桂浜水族館の取り組み～」	秋澤志名(桂浜水族館長)
16:00～16:20	「登録博物館としての新たな一歩ー開館50年を迎えてー」	川勝美早子(島津製作所創業記念資料館長)
16:20～16:40	「小さな博物館の大きなチャレンジ」町家改修のクラウドファンディング」	相川裕保(相川考古館長)
16:40～17:20	トークセッション	
17:20～17:50	質疑応答	
17:55	閉会	
夜の部		
18:15～19:45	意見交換会 ※参加希望者のみ	

博物館の現状について

参考：社会教育調査報告書

1. 博物館数の推移



(館)

区分	計	登録	指定	類似	内 訳			
					国・独法	都道府県	市町村	私立
平成 8 年度	4,507	715	270	3,522	72	313	2,795	1,327
平成 11 年度	5,109	769	276	4,064	154	349	3,173	1,433
平成 14 年度	5,363	819	301	4,243	161	402	3,390	1,410
平成 17 年度	5,614	865	331	4,418	197	418	3,605	1,394
平成 20 年度	5,775	907	341	4,527	206	425	3,739	1,405
平成 23 年度	5,747	913	349	4,485	202	411	3,832	1,302
平成 27 年度	5,690	895	361	4,434	196	401	3,890	1,203
平成 30 年度	5,738	914	372	4,452	228	407	3,918	1,185
令和 3 年度	5,771	911	394	4,466	229	409	3,968	1,165

(※「博物館相当施設」については現行法における呼称である「指定施設」に統一している)

2. 種類別博物館数

		(館)									
区分		計	総合博物館	科学博物館	歴史博物館	美術博物館	野外博物館	動物園	植物園	動植物園	水族館
登録・指定	平成8年度	985	118	100	332	325	11	33	18	9	39
	平成11年度	1,045	126	105	355	353	13	28	16	10	39
	平成14年度	1,120	141	102	383	383	11	31	17	10	42
	平成17年度	1,196	156	108	405	423	13	32	12	9	38
	平成20年度	1,248	149	105	436	449	18	29	11	10	41
	平成23年度	1,262	143	109	448	452	18	32	10	8	42
	平成27年度	1,256	152	106	451	441	16	35	10	7	38
	平成30年度	1,286	154	104	470	453	16	34	11	6	38
	令和3年度	1,305	157	100	476	457	18	36	11	7	43
類似施設	平成8年度	3,522	177	283	2,272	520	48	51	111	19	41
	平成11年度	4,064	219	330	2,561	634	71	65	128	17	39
	平成14年度	4,243	225	342	2,708	651	85	62	124	13	33
	平成17年度	4,418	262	366	2,795	664	93	63	121	16	38
	平成20年度	4,527	280	380	2,891	652	88	58	122	19	37
	平成23年度	4,485	288	363	2,869	635	100	60	113	16	41
	平成27年度	4,434	298	343	2,851	623	93	59	107	14	46
	平成30年度	4,452	318	350	2,858	616	91	59	101	16	43
	令和3年度	4,466	339	347	2,863	604	103	61	92	16	41

3. 博物館の年間開館の状況

(館)

区分	登録・指定施設						博物館類似施設					
	平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成26年度	平成29年度	令和2年度	平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成26年度	平成29年度	令和2年度
計	1,188	1,240	1,243	1,240	1,266	1,262	4,339	4,436	4,310	4,291	4,303	4,241
割 合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
199日以下	89	104	108	115	131	272	500	523	508	529	534	863
割 合	7.5%	8.4%	8.7%	9.3%	10.3%	21.6%	11.5%	11.8%	11.8%	12.3%	12.4%	20.3%
200日～299日	449	448	514	445	445	810	1,419	1,314	1,420	1,278	1,258	2,382
割 合	37.8%	36.1%	41.4%	35.9%	35.2%	64.2%	32.7%	29.6%	32.9%	29.8%	29.2%	56.2%
300日以上	650	688	621	680	690	180	2,420	2,599	2,382	2,484	2,511	996
割 合	54.7%	55.5%	49.9%	54.8%	54.5%	14.3%	55.8%	58.6%	55.3%	57.9%	58.4%	23.5%
日曜開館	1,104	1,155	1,152	1,152	1,167	1,160	3,834	3,907	3,834	3,851	3,845	3,786
割 合	92.9%	93.1%	92.7%	92.9%	92.2%	91.9%	88.4%	88.1%	89.0%	89.7%	89.4%	89.3%

※ 当該年度間の未開館及び翌年度新設の登録博物館、指定施設、博物館類似施設を除く。

4. 博物館における諸集会の実施状況

		登録・指定施設						博物館類似施設					
		平成16年度間	平成19年度間	平成22年度間	平成26年度間	平成29年度間	令和2年度間	平成16年度間	平成19年度間	平成22年度間	平成26年度間	平成29年度間	令和2年度間
館数		1,188	1,240	1,243	1,240	1,266	1,262	4,339	4,436	4,310	4,291	4,303	4,241
実施館数		885	979	992	1,001	1043	878	1,637	1,760	1,823	1,916	1,970	1,566
割合		74.5%	78.9%	79.8%	80.7%	82.4%	69.6%	37.7%	39.7%	42.3%	44.7%	45.8%	36.9%
事業実施	実施件数	29,159	34,179	44,460	55,698	64,637	33,357	39,050	44,894	52,083	61,535	69,370	30,688
	参加者数 (千人)	2,990	3,305	3,596	3,643	4,567	1,348	3,117	4,934	4,619	4,277	4,658	1,335

※1. 当該年度間の未開館及び翌年度新設の登録博物館、指定施設、博物館類似施設を除く。

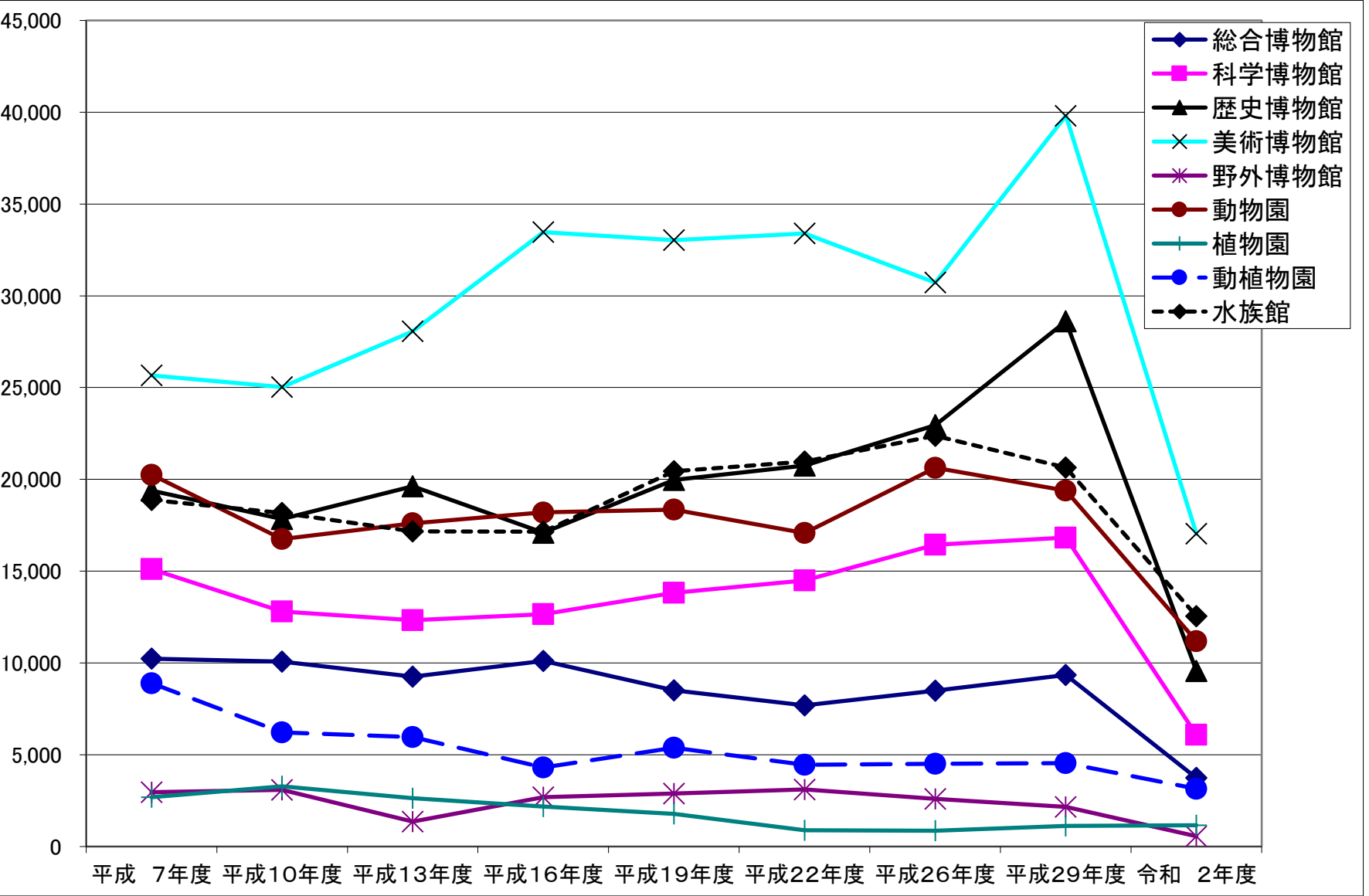
※2. 平成16年度以降の事業実施には、新たに調査を開始した登録博物館・指定施設の学級・講座の実施件数及び参加者数、博物館類似施設の学級・講座の実施件数及び参加者数が含まれる。

5. 博物館におけるボランティア活動状況

区分	平成20年度		平成22年度		平成26年度		平成29年度		令和2年度	
	登録・指定施設	博物館類似施設	登録・指定施設	博物館類似施設	登録・指定施設	博物館類似施設	登録・指定施設	博物館類似施設	登録・指定施設	博物館類似施設
館数	1,248	4,527	1,262	4,485	1,256	4,434	1,286	4,452	1,305	4,466
登録制度のある館	462	769	509	866	539	908	534	935	537	903
割 合	37.0%	17.0%	40.3%	19.3%	42.9%	20.5%	41.5%	21.0%	41.1%	20.2%
登録団体数	382	762	405	684	526	1182	792	987	653	909
登録者数	29,602	45,986	33,957	38,015	37,942	39,497	35,011	48,938	33,049	33,212

6. 博物館(登録, 指定施設)の入館者の推移

人数



(千人)

区分	総合博物館	科学博物館	歴史博物館	美術博物館	野外博物館	動物園	植物園	動植物園	水族館	計	1館当り入館者数
登録・指定											
平成 7 年度	10,233	15,116	19,396	25,668	2,961	20,252	2,679	8,898	18,871	124,074	128
平成 10 年度	10,073	12,806	17,849	25,034	3,087	16,756	3,279	6,218	18,171	113,273	110
平成 13 年度	9,249	12,334	19,617	28,071	1,362	17,603	2,625	5,953	17,163	113,977	103
平成 16 年度	10,106	12,658	17,101	33,472	2,687	18,197	2,182	4,300	17,151	117,854	99
平成 19 年度	8,500	13,816	19,965	33,029	2,894	18,359	1,778	5,383	20,441	124,165	100
平成 22 年度	7,692	14,491	20,754	33,395	3,111	17,083	885	4,456	20,964	122,831	99
平成 26 年度	8,499	16,439	22,950	30,724	2,601	20,631	860	4,498	22,377	129,579	104
平成 29 年度	9,349	16,830	28,611	39,811	2,157	19,396	1,117	4,538	20,646	142,456	113
令和 2 年度	3,736	6,087	9,572	17,038	560	11,191	1,162	3,147	12,553	65,047	52
類似施設											
平成 10 年度	9,741	21,863	60,680	28,380	4,749	15,285	16,121	2,285	8,272	167,376	42
平成 13 年度	6,567	20,881	58,438	22,451	4,895	17,284	14,740	1,281	8,989	155,526	37
平成 16 年度	8,314	18,002	61,322	23,484	3,934	14,716	12,632	2,347	10,077	154,828	36
平成 19 年度	8,568	21,269	57,424	24,227	3,979	15,105	13,622	2,271	9,241	155,706	35
平成 22 年度	10,629	19,251	58,211	28,316	3,592	14,648	11,469	1,559	6,146	153,821	36
平成 26 年度	11,193	19,172	55,372	23,948	3,503	14,048	11,616	1,327	10,238	150,417	35
平成 29 年度	12,466	19,771	59,554	20,499	3,612	14,555	16,983	1,845	11,328	160,613	37
令和 2 年度	4,926	6,774	29,571	8,190	2,484	9,477	6,248	802	6,185	74,657	18

7. 1館当たりの職員数の状況

(人)

区分		計	専 任					兼任	非常勤
			計	館長	学芸員	学芸員補	その他		
登録・指定	平成11年度	14.6	10.5	0.5	2.5	0.3	7.2	1.2	2.9
	平成14年度	14.8	10.2	0.5	2.6	0.3	6.9	1.3	3.3
	平成17年度	14.5	9.6	0.5	2.7	0.3	6.2	0.9	4
	平成20年度	14.4	8.7	0.5	2.6	0.3	5.3	1	4.7
	平成23年度	13.1	7.7	0.4	2.5	0.3	4.5	1	4.4
	平成27年度	13.1	7.6	0.4	2.6	0.3	4.4	1	4.5
	平成30年度	12.9	7.3	0.4	2.5	0.3	4.1	1.1	4.5
	令和 3年度	14.0	7.9	0.4	2.6	0.3	4.5	1.1	5.0
類似施設	平成11年度	6.2	3.2	0.3	0.3	0.02	2.5	1.3	1.8
	平成14年度	6.3	3	0.3	0.3	0.03	2.3	1.3	2
	平成17年度	6.2	2.7	0.3	0.3	0.02	2.1	1.2	2.3
	平成20年度	6.1	2.3	0.2	0.3	0.03	1.8	1.2	2.6
	平成23年度	4.6	1.7	0.2	0.2	0.01	1.3	1.1	1.8
	平成27年度	4.6	1.7	0.2	0.2	0.03	1.2	1.1	1.8
	平成30年度	4.8	1.7	0.2	0.3	0.0	1.2	1.1	2.0
	令和 3年度	5.0	1.7	0.2	0.3	0.0	1.2	1.2	2.1

8. 種類別博物館数及び学芸員数

区分		計	総合博物館	科学博物館	歴史博物館	美術博物館	野外博物館	動物園	植物園	動植物園	水族館
指 登 定 録	博物館数	1,305	157	100	476	457	18	36	11	7	43
	割 合	100.0%	12.0%	7.7%	36.5%	35.0%	1.4%	2.8%	0.8%	0.5%	3.3%
	学芸員数	5,350	838	441	1,749	1,818	38	178	25	5	258
	割 合	100.0%	15.7%	8.2%	32.7%	34.0%	0.7%	3.3%	0.5%	0.1%	4.8%
類 似 施 設	博物館数	4,466	339	347	2,863	604	103	61	92	16	41
	割 合	100.0%	7.6%	7.8%	64.1%	13.5%	2.3%	1.4%	2.1%	0.4%	0.9%
	学芸員数	3,686	341	255	2,246	620	31	77	18	10	88
	割 合	100.0%	9.3%	6.9%	60.9%	16.8%	0.8%	2.1%	0.5%	0.3%	2.4%

9. 博物館のバリアフリー対応状況

博物館のスロープ等設備の保有館数

区 分		設置率	全館数	計	国	独立行政 法人	都道府県	市（区）	町	村	組合	民法第34 条の法人	その他
スロープ	登録博物館	70%	911	637	—	—	107	309	52	3	2	151	13
	指定施設	71%	394	278	—	23	42	95	12	2	1	17	86
	計	70%	1,305	915	—	23	149	404	64	5	3	168	99
障害者用 トイレ	登録博物館	84%	911	764	—	—	123	386	60	3	2	176	14
	指定施設	84%	394	332	—	30	47	112	13	2	1	18	109
	計	84%	1,305	1,096	—	30	170	498	73	5	3	194	123
エレベーター	登録博物館	61%	911	556	—	—	106	284	29	1	2	126	8
	指定施設	64%	394	253	—	24	40	80	7	2	1	12	87
	計	62%	1,305	809	—	24	146	364	36	3	3	138	95
簡易昇降機	登録博物館	9%	911	79	—	—	17	35	7	—	—	19	1
	指定施設	10%	394	40	—	5	3	14	2	—	—	3	13
	計	9%	1,305	119	—	5	20	49	9	0	0	22	14
点字による案内	登録博物館	21%	911	189	—	—	68	100	3	—	—	16	2
	指定施設	23%	394	89	—	6	25	40	2	—	—	1	15
	計	21%	1,305	278	—	6	93	140	5	0	0	17	17
外国人向け案内	登録博物館	46%	911	419	—	—	99	171	24	1	1	116	7
	指定施設	52%	394	203	—	20	39	67	4	—	1	15	57
	計	48%	1,305	622	—	20	138	238	28	1	2	131	64

博 物 館 の 構 成

令和3年10月1日現在

	登録博物館 9 1 1	指定施設 3 9 4	博物館類似施設 4, 4 6 6	合 計 5, 7 7 1
国公立	6 1 5	2 2 3	3, 7 7 1	小 計 4, 6 0 9
	※博物館法上、国立の登録博物館はない。	※国・独立行政法人によるものは33館	※国・独立行政法人によるものは196館	
一般財団法人立 公益財団法人立	2 6 9	3 2	1 3 2	小 計 4 3 3
その他の法人	2 7	1 3 9	5 6 3	小 計 7 2 9

※その他の法人には、登録博物館では宗教法人等、指定施設・博物館類似施設では宗教法人、株式会社立等がある。

・登録博物館

博物館法に基づき博物館資料、職員、施設、事業内容等に係る審査を経た上で、国民の教育、学術、文化の発展に寄与するものとして登録されたもの。

・指定施設

博物館法に基づき登録博物館の事業に類する事業を達成するために必要な資料、職員、施設、事業内容等に係る審査を経た上で、博物館に相当する施設として指定されたもの。

・博物館類似施設

博物館法の適用を受けない施設であるが、博物館と同種の事業を行うものとして、都道府県教育委員会で把握（社会教育調査の対象）しているもの。

令和7年度 博物館関係予算額 一覧

単位：千円

事 項	施 策 の 概 要	令和6年度 予 算 額	令和7年度 予 算 額	比 較 増 △ 減 額	担当課等
1. 博物館機能強化の推進【新規】					
(1) 文化庁					
① Innovate MUSEUM 事業	博物館資料のデジタル・アーカイブ化とその公開・発信や、博物館における業務のDX化に効果的に取り組む館の事業を支援し、デジタル化されたデータの活用や業務フローの効率化を図るとともに、これからの博物館が新たに求められる社会的・地域的な課題（人口減少、社会包摂等）への対応に関する先進的な取組みとして（1）MuseuDX推進、（2）地域課題対応事業、（3）ネットワークの形成による広域等課題対応事業、（4）企業立博物館と自治体の連携による地域還元型取組支援事業を支援し、その内製化と横展開を促進する。	343,386	301,886	△ 41,500	企画調整課
② 博物館の経営改善・機能強化の促進事業	①新たな登録制度の価値を高めるための積極的なプロモーション、②博物館活動の質を高めるための体制整備、③博物館人材養成・質の向上に資する研修等の実施など、博物館の活動を後押しする基盤を構築する。	95,286	95,286 3	0	企画調整課
③ 博物館人材養成・質の向上	学芸員資格の付与、学芸員等に対する研修や知識・技術の習得等を目的とした海外博物館への派遣等、学芸員の資質向上に関する事業を展開。	55,505	55,505	0	企画調整課
2. 文化拠点機能強化・地域文化観光推進プラン					
(1) 文化庁					
① 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業	文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環を生み出すことを目的とする「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」に基づく拠点計画及び地域計画の実施等のための事業について支援。	1,875,000	1,725,000	△150,000	参事官（文化拠点担当）
3. 学芸員等の資質の向上					
(1) 文化庁					
① 博物館学芸員等専門研修	学芸員に求められる専門的な知識・技術の一層の向上を図るための研修を実施。	34,899	34,899	0	企画調整課
4. 文化資源の持続可能な活用の促進					
(1) 文化庁					
① アートエコシステム基盤形成促進事業【新規】	美術品市場における基盤を整備し、その拡大を図ることを目指す。アート市場活性化WG（R3.3）、アート振興WG（R4.3）では、市場の拡大における基盤の脆弱性が指摘されていた。特に流通における来歴の管理、評価額の不透明性が市場の拡大に障害となっていることが明らかになっており、本事業を通して、その障害を改善して市場を拡大し、もってアート全体のエコシステムの形成の一端を担う。	46,000	62,000	16,000	文化経済・国際課
② 登録美術品制度の実施	国民の美術品を鑑賞する機会の拡大を図るため、「美術品の美術館における公開促進に関する法律」に基づき、登録美術品制度の円滑な実施を図る。	2,074	1,883	△ 191	企画調整課
③ 文化遺産オンライン構想の推進	博物館・美術館等の収蔵品や国・地方の有形・無形の文化財情報を集約して発信する、ポータルサイトである文化遺産オンラインの充実を図る。	101,737	102,224	487	政策課
④ 国立アイヌ民族博物館の運営等	アイヌ施策推進法に基づき国立アイヌ民族博物館の管理運営費を計上。アイヌの歴史や文化に関する正しい認識と理解の促進のため、教育普及や展示・情報発信を充実する。	1,624,439	1,623,436	△ 1,003	企画調整課

5. 博物館の高付加価値化					
(1) 文化庁					
① クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業	次代を担うクリエイター・アーティストの国内における活動・発信拠点となるべく文化施設における発信力の強化(デジタル・アーカイブ化含む)、新たな高い価値を文化芸術活動に付加する取組について、5年程度の活動目的の下で、3年程度弾力的かつ継続的に支援。	0	1,500,000	1,500,000	企画調整課
6. 国際観光旅客税財源事業(※旅客税財源を活用。予算額は内数。)					
(1) 文化庁					
① 日本博	大阪・関西万博の本番に向けて、最高峰の文化資源を更に磨き上げるとともに、戦略的なプロモーションを推進し、年間を通じてインバウンド需要を的確に応えることにより、訪日機運の醸成と万博から現地への誘客を図る。	2,306,215	3,889,595	1,583,380	文化経済・国際課
② 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業	文化庁や国立博物館等が所蔵する地域ゆかりの文化財の地方博物館での展示を支援。(日本博予算の一部を活用)	(日本博予算の内数)	(日本博予算の内数)	-	参事官(生活文化創造担当)
7. 東日本大震災関係					
(1) 文化庁					
① 被災ミュージアム再興事業	東日本大震災で被災した博物館資料の修理、修理した資料の整理・データベース化、応急処置を施した資料を収蔵する場所の確保等に必要な経費を支援する。	209,674	205,483	△ 4,191	企画調整課
8. 独立行政法人					
(1) 文化庁					
① 独立行政法人国立科学博物館の事業運営に必要な経費	事業運営に必要な経費	2,840,150	2,855,040	14,890	独立行政法人国立科学博物館
② 独立行政法人国立文化財機構の事業運営に必要な経費	事業運営に必要な経費	9,577,448	9,577,605	157	独立行政法人国立文化財機構
③ 独立行政法人国立美術館の事業運営に必要な経費	事業運営に必要な経費	7,739,050	8,049,544	310,494	独立行政法人国立美術館
④ 独立行政法人国立美術館施設整備費	施設整備に必要な経費	400,000	100,000	△ 300,000	独立行政法人国立美術館
(2) 文部科学省(科学技術・学術政策局)					
① 未来共創推進事業 (国立研究開発法人科学技術振興機構運営費交付金の内数であるため推計額)	科学技術イノベーションにより社会的課題などへの対応を図るため、日本科学未来館における多様な科学コミュニケーション活動の推進、科学コミュニケーションの養成、多様な主体が対話・協働を行う日本最大級のオープンフォーラム「サイエンスアゴラ」の開催等、社会との共創に向けた取組を実施する。	3,162,702	3,162,702	0	国立研究開発法人科学技術振興機構
合 計		30,413,565	33,342,088	2,928,523	

(参考)

※「子どもゆめ基金」による助成

独立行政法人国立青少年教育振興機構が設置する「子どもゆめ基金」事業により、民間団体が実施する博物館を含めた様々な場における子供の体験活動等に対し、引き続き助成を行う予定。

<http://yumekikin.nive.go.jp/>

令和7年度 学芸員・文化財保護専門技術者等の研修会等一覧（文化庁等関係）

※開催時期・期間等は今後変更の可能性あります。

研修会名	対 象	趣 旨	開催時期・期間	場 所	担当課	連絡窓口
文化をつなぐミュージアム研修	博物館の設置者・行政職員等、ミュージアムの地域課題解決や中長期的な将来構想に係る者	博物館の設置者・行政職員等、ミュージアムの地域課題解決や中長期的な将来構想に係る者に対して、これからのミュージアムに求められる役割に関する基本的な知識に関する研修を行い、外部からミュージアムの管理・運営に関わる人材の力量を高める。	令和7年 12月（2日間）（予定）	オンライン配信	文化庁企画調整課 博物館振興室	03-5253-4111 (内 3152)
	300名程度（予定）					
ミュージアムトップマネジメント研修	主として登録博物館、博物館相当施設の館長・副館長・管理職	ミュージアムの館長、管理職員に対し、博物館の役割と機能、マネジメント、事業評価・改善等に関する専門知識、また、博物館を取り巻く社会の動向などについて学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。	令和7年 9月（3日間）（予定）	東京都内（未定） +オンライン配信	文化庁企画調整課 博物館振興室	03-5253-4111 (内 3152)
	50名程度（予定）					
ミュージアム・パブリックリレーションズ研修	博物館に勤務する学芸員等専門職員	ミュージアムの学芸員等専門職員を対象に、広報発信・地域交流、地域課題解決、デジタル化等、これからのミュージアムに求められる役割に必要な知識・技能を培う研修を行い、ひいては博物館運営に関わることができる人材を育成する。	令和8年 2月（4日間）（予定）	東京都内（未定） +オンライン配信	文化庁企画調整課 博物館振興室	03-5253-4111 (内 3152)
	50名程度（予定）					
文化財行政講座	地方公共団体等の文化財行政担当職員等で、経験年数3年未満の者	文化財行政の遂行に必要な基礎的事項及び実務上の課題に関する研修	令和7年12月8日～10日	京都府庁舎および オンライン開催（予定）	文化庁文化資源活用課	計画推進係 075-451-4111 (内 9668)
	会場参加80名程度（予定）					
「文化財保存活用地域計画」研修会	地方公共団体等の文化財行政実務担当職員等	「文化財保存活用地域計画」の作成に必要な事項、実務上の課題、事例紹介に関する研修（実地研修含む）	令和7年10月21～24日 （予定）	静岡県三島市（予定）	文化庁文化資源活用課	計画推進係 075-451-4111 (内 9669)
	50名程度					
「文化財保存活用支援団体」研修会	地方公共団体等の文化財行政実務担当職員等	「文化財保存活用支援団体」の概要や指定のための基礎的事項についての研修	令和8年3月13日（予定）	京都府庁舎（予定）	文化庁文化資源活用課	計画推進係 075-451-4111 (内 9669)
歴史民俗資料館等専門職員研修会	歴史民俗資料館、教育委員会等で資料（文化財を含む）の保存と活用にあたる専門職員で、原則として勤務経験5年未満の者	歴史資料、考古資料、民俗資料等の調査、収集・保存、公開等に必要な専門的研修を行う。	令和7年11月頃	国立歴史民俗博物館	文化庁参事官（生活文化創造担当）	公開促進係 075-451-4111 (内 9579)
	30名程度					

研修会名	対 象	趣 旨	開催時期・期間	場 所	担当課	連絡窓口
民俗文化財担当者会議	都道府県、政令指定都市民俗文化財担当者	民俗文化財事務の適正な遂行を図るため、これに従事する行政担当者に対して必要な事項の連絡等を行い、もって民俗文化財保護の充実を図る。	令和7年7月29日（火）	オンライン配信	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係 075-451-4111 (内 9578)
	60名程度					
指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー	指定文化財(美術工芸品)を公開する博物館等の学芸担当者	指定文化財（美術工芸品）の公開活用を促進し、適切な施設における企画・展示を支援するため、文化財の公開に関わる様々な専門的知識と技能の研修を行い、もってその資質の向上を図る。	東会場 令和7年7月7日（月） ～11日（金） 西会場 令和7年8月25日（月） ～29日（金）	東会場：東京国立博物館 西会場：京都国立博物館	文化庁参事官（生活文化創造担当）	公開促進係 075-451-4111 (内 9579)
	20名程度× 2 会場					
文化財(美術工芸品)保存修理講習会	文化財(美術工芸品)の修理に携わる事業者等の技術者等および、文化財(美術工芸品)の修理を担当する地方公共団体の担当者、学芸員等	文化財修理に係る基礎的知識及び修理に関わる最新研究成果の研修を行うとともに、情報共有の機会を提供し、文化財(美術工芸品)の修理に対する理解を広げる。	令和7年12月頃	オンライン配信（予定）	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係 075-451-4111 (内 9578)
	500名程度					
国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会	教育委員会等および博物館等施設の防災・防犯対策担当者	都道府県教育委員会や美術館・歴史博物館の職員等に対し、国宝・重要文化財（美術工芸品）等の効果的な防災・防犯対策及び国庫補助事業の説明並びに文化財保護法上必要な手続きについての研修を実施し、文化財の適切な活用、保存及び継承を図る。	令和7年6月17日（火）	京都府庁舎およびオンライン配信の併用	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係 075-451-4111 (内 9578)
	500名程度					
公開承認施設担当者会議	公開承認施設の学芸担当者および教育委員会等の公開承認施設事務担当者	都道府県教育委員会や公開承認施設的美術館・博物館の職員等に対し、国宝・重要文化財（美術工芸品）等の適切な保存管理及び安全な公開活用の事例紹介並びに保護法上必要な手続きについての説明を実施し、公開承認施設における文化財の適切な公開活用、保存及び継承を図る。	令和7年6月18日（水）	京都府庁舎およびオンライン配信の併用	文化庁参事官（生活文化創造担当）	活用連携係 075-451-4111 (内 9578)
	500名程度					
銃砲刀剣類登録事務協議・登録鑑定実技講習会	（登録事務協議） 銃砲刀剣類登録事務担当	銃砲刀剣類登録規則(昭和 3 3 年文化財保護委員会規則第 1 号)に規定する、美術品若しくは骨董品として価値のある火縄式鉄砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類の登録に当たっての鑑定に関し、実技講習を行うことにより、登録審査委員の資質の向上を図り、もって銃砲刀剣類の登録事務のさらなる円滑化を図る。	令和7年12月頃（予定） （令和6年度は12月2日（月）に実施）	京都府庁舎およびオンライン配信の併用（予定）	文化庁文化財第一課	調査係 075-451-4111 (内 9708)
	各都道府県から 1 ～ 2 名		令和7年12月頃（予定） （令和6年度は12月3日（火）に実施）			
	（登録鑑定実技講習） 登録審査委員					
	各都道府県から 1 ～ 2 名					

研修会名	対 象	趣 旨	開催時期・期間	場 所	担当課	連絡窓口
埋蔵文化財担当職員等講習会	地方公共団体、公益法人等の埋蔵文化財担当職員等	発掘調査に当たり開発事業者等との協議を担当する地方公共団体の埋蔵文化財担当職員等に、埋蔵文化財行政に必要な知識を習得させることにより、円滑な発掘調査の実施を図ることを目的とする。	令和8年1月28日（水） ～1月30日（金）	山口県下関市	文化庁文化財第二課	埋蔵文化財部門 075-451-4111 (内 9764)
文化財マネジメント職員養成研修	地方公共団体、法人調査組織の文化財専門職員	文化財保存活用大綱及び文化財保存活用地域計画の策定するうえで、各地方公共団体において、文化財の価値を相対的に把握し、一体的な保存と活用を企画・立案する専門的な人材を養成することを目的とする。	令和7年10月28日（火） ～10月31日（金）	宮城県仙台市	文化庁文化財第二課	埋蔵文化財部門 075-451-4111 (内 9764)
	各80名程度					
文化的景観保護実務研修会（基礎コース）	地方公共団体において文化的景観に関する業務に従事する職員等	制度の概要と運用における留意事項、保護の課題とその取り組み事例等について説明すると共に、国庫補助事業等に係る諸連絡やより良い制度運用に向けた情報提供を行う。	令和7年6月17日（火）	奈良文化財研究所及びオンライン配信の併用	文化庁文化財第二課	文化的景観部門 075-451-4111 (内 9769)
文化的景観保護実務研修会（実践コース）	地方公共団体において文化的景観に関する業務に従事する職員等	文化的景観の保存活用に係る課題に対応する上で必要な専門的事項に関する研修	令和7年10月頃	和歌山県有田川町	文化庁文化財第二課	文化的景観部門 075-451-4111 (内 9769)
	各40名程度					
文化財建造物修理主任技術者講習会	文化財建造物修理工事の設計または施工の監理等の実務経験を有する者	文化財建造物保存修理工事の主任技術者として必要な知識及び技術の研修 令和7年度は普通コース（前期）を実施。	令和7年 8月27日（水） ～9月5日（金）	未定（京都市内を予定）	文化庁文化資源活用課	修理指導部門 075-451-4111 (内 9684)
(普通コース)	20名程度					
文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会	都道府県・市町村の文化財建造物担当者及び文化財建造物修理主任技術者等	重要文化財建造物保存修理事業等の適正な遂行を図るため、技術上の総括的な指揮監督にあたる者と事業に伴う技術的諸問題について協議をし、もって修理技術の向上と設計監理業務の円滑な実施を図る。	令和7年 10月20日（月）	未定 （京都市内を予定）	文化庁文化資源活用課	修理企画部門 075-451-4111 (内 9691)
	人数未定					

※この他「文化財を中核とする観光拠点形成に向けたオンライン講座」を文化庁HPにて公開（http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/kankokyoten_koza/index.html）

学芸員専門研修アドバンス・コース	自然科学系博物館等の学芸員等専門職員	自然科学系博物館等に勤務する中堅学芸員を対象に、一層の資質向上を目的として高度な内容の研修を行う。	令和7年 11月11日（火） ～11月14日（金）	国立科学博物館 筑波研究施設	独立行政法人 国立科学博物館	学習課 代表電話番号 03-3822-0111 内線 9187
	10名程度					
オンライン学芸員専門研修	主に博物館等において、自然科学系部門を担当する学芸員等 （経験年数概ね10年以内のものを優先）	博物館等に勤務する経験年数の少ない学芸員や職員等を対象に、一層の資質向上を目的として、オンラインによる研修を行う。	令和7年度下半期の 2日間程度	オンライン	独立行政法人 国立科学博物館	学習課 代表電話番号 03-3822-0111 (内 9187)
	30名程度					

研修会名	対 象	趣 旨	開催時期・期間	場 所	担当課	連絡窓口
美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	① 小・中・高等学校、特別支援学校等の教員 （国公立校，私立校全ての教員） ② 美術館学芸員 ③ 指導主事	鑑賞教育の重要性を踏まえ，全国の教員と美術館の学芸員などが一堂に会してグループ討議等を行うことにより，美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図る。	令和7年 8月4日（月） 8月5日（火）	・京都国立近代美術館 ・京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）	独立行政法人 国立美術館	研修担当 03-6910-0449
	70名程度					
独立行政法人国立美術館キュレーター研修	公私立美術館の学芸担当職員	公私立美術館の学芸担当職員を対象とした研修を実施し，その専門的知識及び技術の向上を図る。	4月1日～翌年3月31日の期間で研修生の希望を踏まえ，受入館が承認した期間とする。	・東京国立近代美術館 ・国立工芸館 ・京都国立近代美術館 ・国立西洋美術館 ・国立国際美術館 ・国立新美術館	独立行政法人 国立美術館	研修担当 03-6910-0449
	若干名					
博物館・美術館等保存担当学芸員研修（基礎コース）	国公立博物館・美術館等に勤務する資料保存担当者又は教育委員会等に勤務する社寺等の資料の保存担当者	展示・収蔵空間における環境管理に関する基礎的な知識及び技術についての講義・実習を行う。	【第1回】令和7年 7月28日（月） ～8月1日（金） 【第2回】令和8年 1月26日（月） ～1月30日（金）	東京国立博物館 黒田記念館セミナー室	独立行政法人 国立文化財機構 文化財活用センター	文化財活用センター 保存担当 03-5834-2856 （センター代表）
	第1回、第2回とも20名程度					
博物館・美術館等保存担当学芸員研修（上級コース）	博物館・美術館及び行政機関等で美術工芸品や歴史資料、民俗資料等の保存に携わる職員（常勤、非常勤を問わない）又は教育委員会等で文化財の保存に携わる職員で、過去に「博物館・美術館等保存担当学芸員研修」（令和3年度以降は同研修（基礎コース））を受講した者、もしくは同等の経験を有する者で、研修の全期間にわたって受講できる者。	博物館等の保存施設において、文化財を良好な状態で保存することは責務である。その上で、文化財の価値を引き出し、保存する必要性を高めることも重要な要素の一つである。本研修は資料保存担当者を対象に、文化財保存修復、文化財科学に必要な知識や技術を講義や実習等を通じて学んでいただき、その資質の向上をもって保存に資することを目的に行うものである。	令和7年 7月7日（月） ～7月 11日（金）	東京文化財研究所	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	東京文化財研究所保存 科学研究センター 03-3823-4843
	30名程度					
文化財担当者研修	地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	文化財保護行政に必要な専門的知識と技術について研修を行う。	年間を通し， 5日間程度の研修を15課程開催予定（課程ごとにそれぞれ異なる。）	奈良文化財研究所 外	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	総務課 0742-30-6739 （内線255）
	各課程15名程度					
世界遺産研究協議会	世界遺産を有する若しくは目指す自治体の担当職員および世界遺産に関わる研究機関や団体の関係者	世界遺産委員会その他の国際会議等における世界遺産を巡る最新の動向を国内の関係者に発信するとともに、世界遺産が直面する今日的課題について、その背景や全体像、国内での取組みの情報共有を図る。	令和7年11～12月頃（予定）	東京文化財研究所	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	東京文化財研究所文化遺産国際協力センター 03-3823-2420
	100名程度					

博物館における学芸員等を対象とした研修・派遣事業

改正博物館法の施行にともない、収集保管・展示・調査研究等の「学芸業務」、管理運営・財務会計・評価等の「マネジメント業務」、広報・PR・デジタル化・ファンドレイズ等の「充実化や新規の取組が求められる業務」、いずれの職能も博物館における変化や新たな取組への対応がより一層求められることとなり、文化庁では令和4年度より以下の研修を実施している。

I 「文化をつなぐミュージアム」研修

1 事業の趣旨

博物館の設置者・行政職員等、博物館の中長期的な将来構想や地域課題の解決に関係する者に対して、これからの博物館に求められる基本的な知識に関する研修を行い、博物館の管理・運営に関わる人材の力量を高める。

2 事業の内容

- ① 主催者 文化庁
- ② 対象者 博物館の設置者・行政職員等、博物館の中長期的な将来構想や地域課題の解決に関係する者
- ③ 定員 300名程度
- ④ 実施期間 令和7年12月上旬（2日間）※変更の可能性あり
- ⑤ 実施方式 オンライン

II ミュージアムトップマネジメント研修

1 事業の趣旨

博物館の館長、管理職員等に対し、博物館の役割と機能、マネジメント、事業評価・改善等に関する専門知識、また、博物館を取り巻く社会の動向などについて学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。

2 事業の内容

- ① 主催者 文化庁
- ② 対象者 ・博物館の館長・副館長・管理職員等
・上記と同様の職務を行うと主催者が認めた者
- ③ 定員 50名程度（予定）
- ④ 実施期間 令和7年9月下旬（3日間）※変更の可能性あり
- ⑤ 実施方式 東京都内（未定）＋オンライン

Ⅲ ミュージアム パブリックリレーションズ研修

1 事業の趣旨

博物館の学芸員、専門職員等を対象に、広報発信・地域交流、地域課題解決、デジタル化等、これからの博物館に求められる役割に必要な知識・技能を培う研修を行い、ひいては博物館運営に関わることができる人材を育成する。

2 事業の内容

- ① 主 催 者 文化庁
- ② 対 象 者 博物館に勤務する学芸員、専門職員等
- ③ 定 員 50名程度（予定）
- ④ 実施期間 令和8年2月上旬（4日間）※変更の可能性あり
- ⑤ 実施場所 東京都内（未定）＋オンライン

Ⅳ 博物館職員等在外派遣事業

1 事業の趣旨

博物館（博物館法（昭和26年法律285号）第2条第1項に基づく登録博物館、若しくは同法第31条に基づく指定施設、その他、文化庁長官が認める施設。（以下、「博物館」という。））に勤務する職員等を海外の博物館や博物館に関する国際会議等に派遣し、先進的な博物館事業や取組事例等の調査研究にあわせ、自ら発信、発表の機会等を提供することで、当該職員の資質向上及び国際的なネットワークの構築や我が国の博物館の国際プレゼンスの向上を実現し、我が国の博物館の機能強化を図るものです。また、派遣成果を広く共有し、派遣者の勤務館での職務遂行だけではなく我が国及び地域の博物館における活動において有効活用することにより、我が国の博物館の機能強化につなげる。

2 事業の内容

- ① 主 催 者 文化庁
- ② 派遣期間 特別派遣：14日未満（国際会議での発表・参加）
短期派遣：7日以上90日未満
長期派遣：90日以上180日未満
※ 短期・長期は博物館等での調査・研究・視察を伴う派遣とする。
- ③ 対 象 者 博物館に勤務する職員（特に新任の館長や中堅・若手の職員）、又は、大学等において博物館法施行規則第一条に規定する博物館に関する科目（生涯学習概論は除く）について自ら教育研究を行うことを主たる職務とする者等で、以下の条件を満たす者とする。
 - ・博物館や大学等における実務経験を有すること。

- ・ 海外の博物館関係者とネットワークを構築するために必要な語学力もしくはコミュニケーションスキルを有すること。
 - ・ 国際会議への出席、海外の博物館・博物館関係団体での調査・研究の受入等が可能である保証があること。
 - ・ 令和８年３月に実施予定の本事業の報告会での報告や、文化庁ホームページでの成果報告書の公開等、本事業での成果の普及や文化庁が行う国際的な調査事業等に協力できること。
 - ・ 心身ともに健全であること。
- ④ 募集締切 令和７年６月２０日（金）（必着）（募集終了）
- ⑤ 経 費
- ・ 居住地から派遣地の国際空港までの往復の鉄道賃及び航空賃（エコノミークラスの実費）、到着時及び帰国時における空港一宿泊ホテル（または会場）間の交通費（※）
- （※）領収書など日付・金額・経路がわかるものが必要になります。
- ・ 滞在費
 - ・ 航空保険特別料金、燃油特別付加運賃、空港使用料
 - ・ 大会参加費
- ⑥ 派遣人員 予算の範囲内で決定します。
- ⑦ 派遣先 派遣先会議、施設については、派遣者において確保すること。

博物館機能強化推進事業

令和7年度予算額

369百万円

(前年度予算額

397百万円)

【令和6年度補正予算額

140百万円】



背景・課題

令和4年4月、博物館法（昭和26年法律第285号）がおおよそ70年ぶりに大幅に改正され、資料のデジタル・アーカイブ化などの博物館の新たな業務が付加されるとともに、地域の活力向上のために関係機関と連携することなど、博物館の新たな役割が規定されることとなった。新たな法の趣旨を実現するためには、博物館が資料のデジタル・アーカイブ化や自身のDXの取組を積極的に進めつつ、文化芸術の価値を活かしながら、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野において、中核としての役割を果たす存在となる必要がある。この観点から、特に、5年間の経過措置期間（令和9年度まで）を集中期間として、博物館の資金・人材・施設等の基盤を強化し、特色ある取組を全国各地で推進する。※博物館には、美術館、科学館、動物園、水族館等が含まれる。

事業内容

法改正を踏まえ、博物館のデジタル・アーカイブ化の取組や地域に貢献する特色ある取組を支援するとともに、新たな制度が効果的に運用されるよう基盤の整備を図る。

(1) Innovate MUSEUM事業 (274百万円)

① Museum DXの推進 40百万円

博物館資料のデジタル・アーカイブ化とその公開・発信や、博物館における業務のDXに効果的に取り組む館の事業を支援し、データの活用や業務フローの効率化を図る。

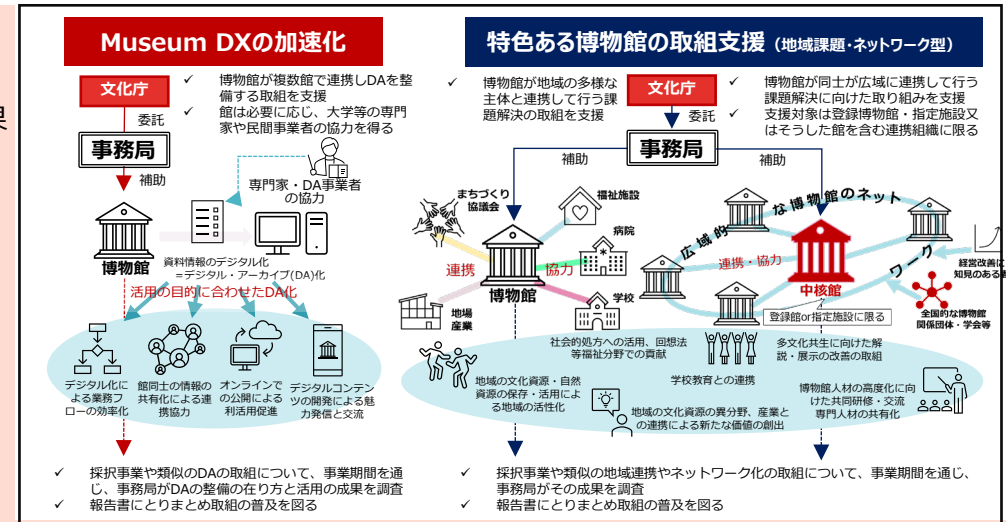
- 件数・単価：2件 × 20百万円

② 特色ある博物館の取組支援 198百万円

これからの博物館が新たに求められる社会的・地域的な課題（地方創生、都市再生、人口減少、社会包摂等）への対応に先進的に取り組む事業を支援し、その内製化と横展開を目指す。

- 件数・単価：i) 地域課題型 81百万円
ii) ネットワーク型 97百万円
iii) 民間博物館活用型 20百万円

※委託事務費 36百万円 (①②)



(2) 新制度におけるミュージアム応援事業 (95百万円)

博物館法の改正を踏まえて、i) 新たな登録制度の価値を高めるための積極的なプロモーション、ii) 博物館活動の質を高めるための体制整備、iii) 博物館人材養成・質の向上に資する研修等の実施など、博物館の活動を後押しする基盤を構築する。

- 件数・単価：i) 新たな登録制度の価値を高めるための積極的なプロモーション 2件 × 10百万円（組織改革・専門人材育成プログラムの開発・実証・派遣等）
ii) 博物館活動の質を高めるための体制整備 1件 × 18百万円（専門的人材の派遣）
iii) 博物館人材養成・質の向上に資する研修等の実施 57百万円（学芸員資格認定、国による学芸員研修等） 他

アウトプット(活動目標)

- 支援した博物館による課題解決や博物館の新たな価値創出の取組の数

令和5年	令和6年	令和7年
33	30	28

- 博物館人材養成・質の向上に資する研修等に参加する数

令和5年	令和6年	令和7年
430	430	430

短期アウトカム(成果目標)

初期 (令和7年頃)

事業による取組への支援と横展開、博物館職員への研修を通じ、地域の主体や博物館同士の連携による課題解決や価値創出に取り組む博物館が増加。(達成度50%)

中期 (令和10年頃)

登録博物館及び指定施設での取組の浸透。(達成度100%)

長期 (令和15年頃)

登録・指定館が増加するとともに取組がさらに多くの館園に広がる。

長期アウトカム(成果目標)

博物館界全体に、課題解決に向けた地域等との連携や新たな価値創出の取組が浸透することで広く国民に博物館の社会的価値が認知される。

博物館の活動基盤が強化されることで、博物館がより充実したサービスを国民に提供し、もって国民の教養や創造活動に資することができるようになる「好循環」が形成される。

(担当：文化庁企画調整課)

目的

博物館の役割が多様化、高度化している現状において、その役割を果たすための技術や知識を持った人材が不足していることが課題となっていることから、学芸員等の資質向上を図るため、博物館の現場に各分野の専門的人材を派遣し、実証事業を通じ、博物館における新しい取り組みを進めるための多様な専門人材の確保と学芸員の質の向上を図る。

事業概要

・デジタルアーカイブ、コンテンツ造成支援、知識・技術の提供

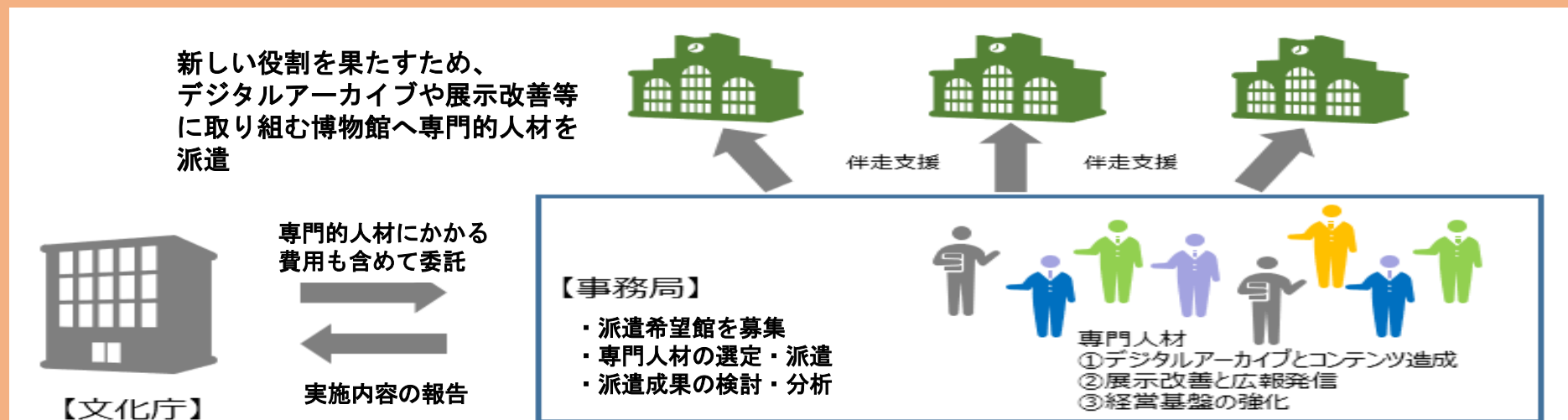
博物館におけるデジタルアーカイブの作成やDXに資するような整備、資料の価値や魅力を伝えるためのコンテンツ造成などに取り組む内容など

・展示や広報発信の改善を行うための支援、知識・技術の提供

観光来訪者への対応や、これからの博物館に求められる社会的価値形成のための、楽しく理解を深めることができる展示や広報発信の改善を行う取組

・ファンドレイジング活動支援、知識・技術の提供

多様な博物館支援を集め、博物館活動の充実に繋げるためのファンドレイジングの取組



文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

令和7年度予算額
(前年度予算額)

1,353百万円
1,750百万円)



現状・課題

文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環の実現にあたっては、文化についての理解を深める機会の拡大及び国内外からの観光旅客の来訪促進が重要。文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、文化観光推進法に基づき主務大臣により認定された計画に基づく事業等に対して支援を行う。

事業内容

- ①文化観光拠点としての機能強化に資する事業に対する支援（拠点計画）
- ②地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進に資する事業に対する支援（地域計画）

1,205百万円

文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、文化観光推進法に基づき主務大臣により認定された計画に基づく事業に対して支援を行う。
※補助率2/3以内 ※50箇所程度

- ③計画の推進等のための支援（委託）
○計画推進を支援するために専門家の派遣や好事例の展開等の伴走支援を実施。
○計画作成にあたって、事業設計やコンセプトの設定といった伴走支援を実施するほか、事業内容の説明会やセミナーを実施し、裾野拡大に取り組む。
○計画期間が終了した計画について、フォローアップ調査による成果、課題の分析を実施。
○文化観光推進法に関するHPを整備し、周知啓発や情報発信、好事例の展開を実施。

125百万円

①②補助（2/3以内）

計画認定事業者

③委託

民間事業者等

アウトプット（活動目標）

文化観光推進事業者と連携して補助対象事業を実施する事業者数（累計）

令和5年度	令和6年度	令和7年度
50程度	60程度	70程度

短期アウトカム（成果目標）

認定計画で設定した国内来訪者数の目標を達成した計画数の割合

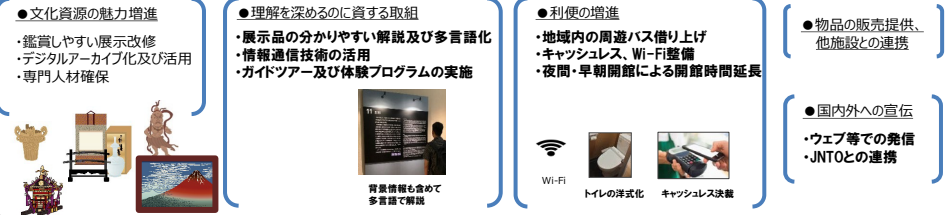
令和2年度 63% → **令和7年度 80%**
(達成度78.8%)

長期アウトカム（成果目標）

認定計画で設定した来訪者満足度の目標を達成した計画数の割合

令和2年度 64.7% → **令和7年度 80%**
(達成度80.9%)

拠点計画（文化観光拠点施設）において実施する事業のイメージ



地域計画において実施する事業のイメージ



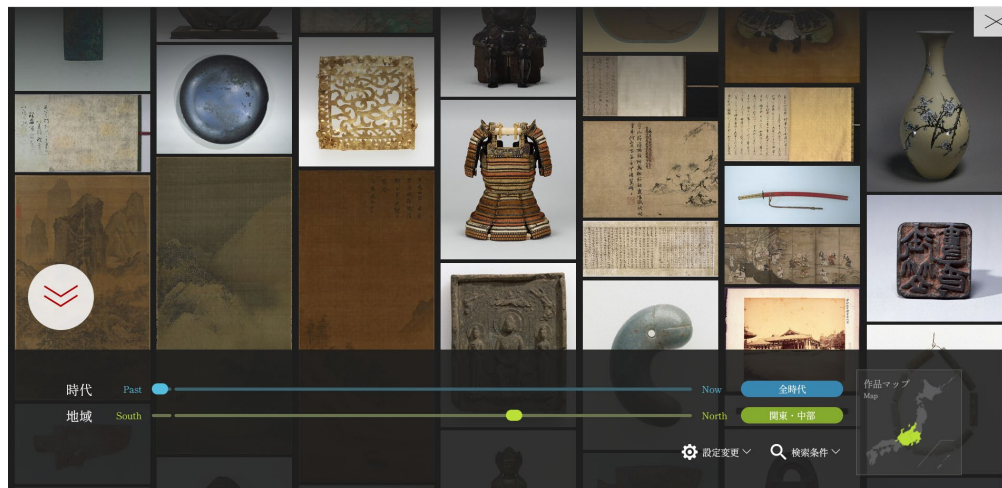
コンセプト：「文化財との新しい出会いを提供」

広く一般に向けた文化財情報への入り口として、直接的な情報検索の利便向上だけでなく、利用者の興味・関心の向上や知的好奇心の喚起に資するポータルサイトを目指します。

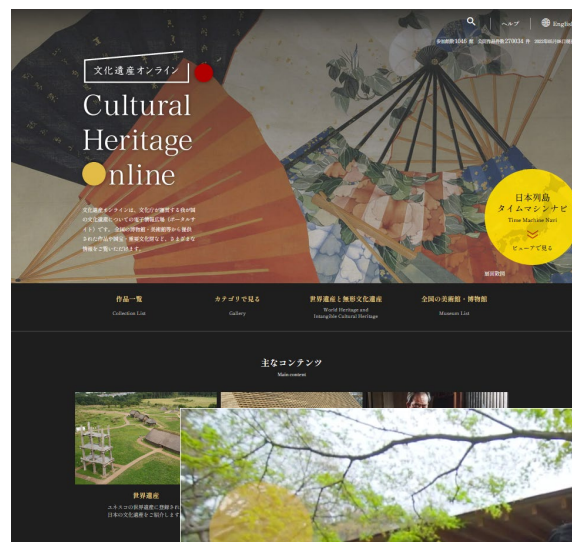
(文化遺産オンライン： <https://bunka.nii.ac.jp/>)

(紹介動画： https://www.youtube.com/playlist?list=PL_ndIdJX38cCdA27IHioTOk9n9hen_D0A)

- スマホ・タブレット対応
- デザイン、ビジュアルの刷新
- デジタルビューア機能「日本列島タイムマシンナビ」の導入
- 英語表記の追加



(日本列島タイムマシンナビ)



(トップページ)



(紹介動画)

- 「文化遺産オンライン」は、**全国の博物館・美術館等に収蔵される文化遺産に関する情報**を、指定・未指定を問わず広く収集し、**検索・閲覧できるポータルサイト**です。我が国に所在する文化遺産情報の総覧を可能とすることを目指し、文化庁と国立情報学研究所が共同で運営しています。
- 文化庁では、**文化遺産オンラインへ情報を登録していただける博物館・美術館等を広く募集**しています。**所蔵品の情報・写真**はもちろん、**博物館のお知らせ・イベント情報を掲載することが可能**ですので、所蔵品をホームページで公開したいが経費等の問題で難しい場合や、展覧会等の情報を広く発信したい場合など、様々な用途に活用できます。是非ご登録ください。（<https://bunka.nii.ac.jp/>）

（イメージ図）

検索・閲覧



◆ 所蔵作品の情報

情報を提供する博物館・美術館の所蔵品を含め、文化遺産オンラインの全ての情報を検索できます。

- 登録件数 : **304,483**件
- 所蔵館数 : **261**館
- アクセス数 : **463万**回/年間

◆ 美術館・博物館の情報

全国の美術館・博物館の名称、所在地、開館時間、紹介文、館サイトURL等の情報を掲載しています。

- 掲載館数 : **1,054**館

※数値はいずれも令和7年4月時点

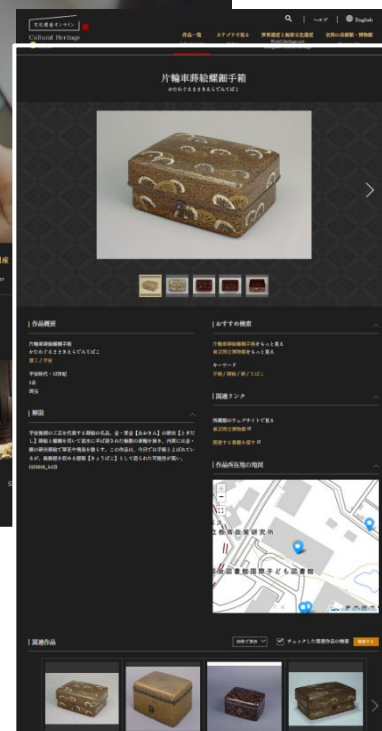
情報登録



博物館・美術館



（トップページ）



（個別情報ページ）

登録館別サイトの作成機能

- 文化遺産オンラインへ参加している博物館・美術館が、**館ごとの個別ページを作成できる機能**です。
- 各博物館・美術館からのお知らせや所蔵品の検索が、個別のページでより簡単にできるようになります。予め用意されたテンプレートデザインから選択することで、**簡単なステップ**で、館独自のページが作成できます。また、文化遺産オンラインのサーバを利用するため、**各館には維持管理コストがかかりません。各館の独自ホームページとしても活用可能**です。
- 御関心があれば、まずは文化遺産オンライン（<https://bunka.nii.ac.jp/>）へ登録をご検討ください。
※館別サイトは文化遺産オンラインへ所蔵品情報を掲載している館が利用できる機能です。ご利用に関する問合せは、online@mext.go.jpまで。

(イメージ図)



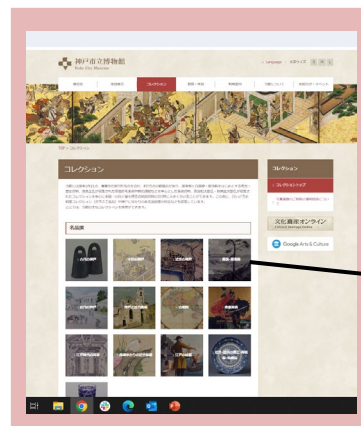
日本語⇄英語
切替機能

イベントの
お知らせ表示

所蔵作品の
検索機能

外部連携機能（検索用API）

文化遺産オンラインの外部連携機能（検索用API）を活用することで、独自にデータベースを整備することなく、**文化遺産オンラインに登録した作品情報を自館のホームページ等で公開、閲覧・検索できるサービスを提供**しています。



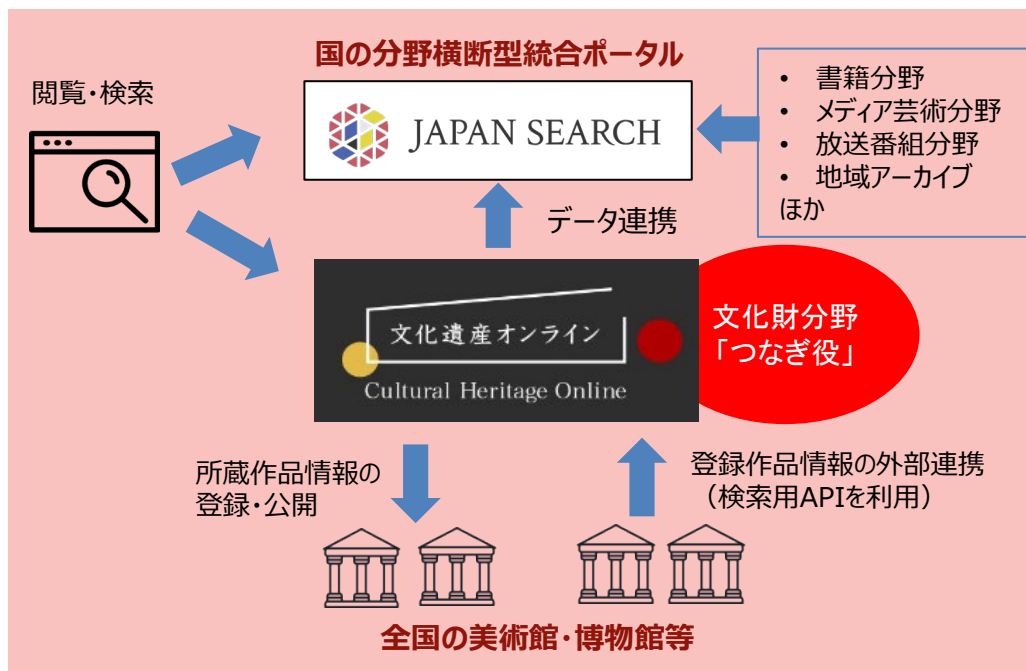
自館ホームページ等で作品情報を公開
（検索も可能）

引用：神戸市立博物館ウェブサイト (<https://www.kobecitymuseum.jp/>)

ジャパンサーチとの連携

文化遺産オンラインは、文化財分野の「つなぎ役」として、ジャパンサーチ※とデータ連携を行っています。**登録した情報はジャパンサーチでも閲覧・検索可能**になるため、所蔵品の情報を広く公開することができます。

※書籍等分野、文化財分野、メディア芸術分野など、さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携して、我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索できる「国の分野横断型統合ポータル」



文化遺産オンラインに登録し、本サイトを是非ご活用ください。

背景・課題

東日本大震災により美術館・博物館が被災したため、被災した資料を修理し、美術館・博物館の機能・役割を回復させ、東日本大震災からの復興に資する必要がある

「復興・創生期間」後における東日本大震災からの復興の基本方針（令和3年3月9日閣議決定）

Ⅱ. 「復興・創生期間」後の基本方針 1. 復興の基本姿勢及び各分野における取組（1）地震・津波被災地域

…地域資源の活用等により…「新しい東北」として掲げた魅力あふれる地域を創造することが望まれる。



●被災した博物館等の例

事業内容

岩手県（陸前高田市立博物館）及び福島県（大熊町民俗伝承館、双葉町歴史民俗資料館）の被災した資料を修理するための予算補助（補助率50%）を行い、修理を終えた資料を博物館等へ返却する

- 事業実施期間：平成24年度～令和7年度（※福島県の終了時期は未定）

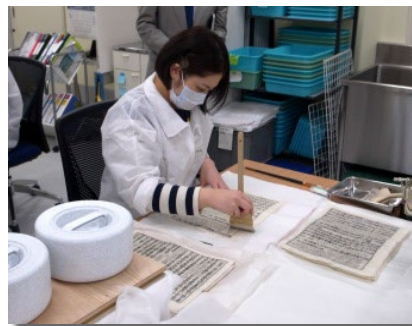
【陸前高田市立博物館】 201百万円（203百万円）

- 本事業により培った修理技術により、海水や汚泥の被害を受けた資料を修理
- 交付先：岩手県

【大熊町民俗伝承館、双葉町歴史民俗資料館】 2百万円（2百万円）

- 資料から放射線量を減少させる修理等を実施
- 大熊町及び双葉町とも、資料を返却する施設及び時期が確定しないため、福島県白河市の仮保管施設にて、資料の修理及び管理を実施
- 交付先：福島県

●修理（脱塩、汚泥の除去）



●汚染物質の計測、分析



アウトプット(活動目標)

岩手県にて修理を行う資料の全件数
…約39万件
令和5年度末における残りの修理件数
…約3.5万件

残り約3.5万件的修理を実施する

アウトカム(成果目標)

【令和6年度中の修理予定件数】
約1万7千件（全体の達成度 95.4%）

【令和6～7年度中の修理予定件数】
約3万5千件（全体の達成度 100%）

インパクト(国民・社会への影響)、目指すべき姿

美術館・博物館は、地域の文化芸術活動の場のみならず、観光や地域ブランドづくりの場でもあるため、本事業により美術館・博物館の機能・役割を回復させることにより、地域の再興及び東日本大震災からの復興を目指す

博物館に対する税制上の優遇措置について

1. 登録博物館に関する優遇措置（国税関係）

博物館事業の実施主体に係る優遇措置	
博物館※において標本等として用いる物品を輸入し又は寄贈された場合の関税の免除	博物館等が、標本等として用いる物品を輸入した場合、又は当該物品を寄贈された場合には、関税は免除される。 ※国及び地方公共団体が設置する博物館は登録を受けているかどうかにかかわらず対象
博物館を支援する者に係る優遇措置	
博物館への贈与及び遺贈のみなし譲渡所得の非課税	個人が財産を公益社団・財団法人、特定一般法人その他の公益を目的とする事業を行う法人に贈与又は遺贈をする場合で、一定の要件を満たすものとして国税庁長官の承認を受けた場合には、当該財産の贈与又は遺贈はなかったものとみなされ、みなし譲渡所得課税の規定は適用されず、所得税は課税されない。
博物館※に寄託している登録美術品についての相続税の物納順位の特例	納付すべき相続税額を延納によっても納付することが困難な場合、美術品の美術館における公開の促進に関する法律に規定する登録美術品（相続時に既に登録を受けているものに限る。）を相続税の物納に充てることができる。その際、物納の優先順位が通常の動産については第三位であるが、当該美術品については、第一位に繰り上げられる。 ※ 博物館相当施設も対象
博物館※に寄託している特定美術品についての相続税の納税猶予及び免除の特例	文化財保護法に基づく保存活用計画を策定し、国の認定を受けて美術館等に寄託・公開された重要文化財・登録有形文化財（美術工芸品）については相続税の納税猶予の特例が認められている。 ※ 博物館相当施設も対象
博物館の事業に供するための土地収用に伴い土地等を譲渡した場合の譲渡所得の特別控除	収用等に伴い、博物館を設置運営する法人に土地等を譲渡する場合には、譲渡所得の特別控除又は代替資産の取得に伴う特例の適用を受ける。

2. 博物館に関する優遇措置（地方税関係）

博物館事業の実施主体に係る優遇措置	
博物館の事業に対する事業所税の非課税	博物館を設置する法人の博物館の事業に対する事業所税が非課税とされている。
博物館において直接その用に供する固定資産に対する固定資産税・都市計画税の非課税	博物館を設置する公益社団・財団法人及び宗教法人は、直接その用に供する固定資産に対する固定資産税・都市計画税が非課税とされている。
博物館において直接その用に供する不動産の取得に対する不動産取得税の非課税	博物館を設置する公益社団・財団法人及び宗教法人は、直接その用に供する不動産の取得に対する不動産取得税が非課税とされている。
博物館の設置を主の目的とする者に対する法人住民税の非課税	博物館の設置を主の目的とする公益社団・財団法人は法人住民税が非課税とされている（収益事業を行う場合はこの限りでない）。

優遇措置のある税目	登録博物館					指定施設
	公立	私立				
		公益法人	宗教法人	一般社団・ 財団法人	民間会社等	
法人住民税の非課税	－	○				
固定資産税の非課税	－	○	○			
都市計画税の非課税	－	○	○			
不動産取得税の非課税	－	○	○			
事業所税の非課税	－	○	○	○	○	

3. 登録の有無にかかわらず博物館を設置する主体により受けられる優遇措置

博物館を支援する者に係る優遇措置	
特定公益増進法人に対する寄付金の特例	独立行政法人、博物館等の設置及び管理を主目的とする地方独立行政法人、公益社団・財団法人、学校法人、社会福祉法人等に対する寄附金は、特定公益増進法人に対する寄附金として、寄附金控除又は寄附金損金算入の特例の適用を受ける。

美術品補償制度について

1. 美術品補償制度とは

- 美術品補償制度とは、展覧会において海外等から借り受けた美術品に、万一損害が発生した場合に、その損害を国が補償する制度。
- 第177回通常国会において成立した「展覧会における美術品損害の補償に関する法律」（以下「美術品補償法」という。）に基づき、制度が創設された。（平成23年6月施行）

2. 制度創設の背景

- 近年、美術品の評価額の高騰や保険料率の上昇のため、展覧会主催者の損害保険料の負担が大きくなっている。このため、海外の優れた美術品を取り扱う大規模展覧会や地方巡回展の開催が困難になるとともに、展覧会の規模の縮小や開催の断念などの問題が顕在化している。
- このような状況を踏まえ、質の高い展覧会が、地方美術館を含め広く全国で開催され、優れた美術品を多くの国民が鑑賞できるよう、借り受けた美術品の損害を政府が補償することが必要。

3. 「展覧会における美術品損害の補償に関する法律」の概要

- 展覧会のために借り受けた美術品の損害につき、政府がその損害を補償する契約を締結できることを定める。
- 損害総額の一定部分は主催者が負担、それを超える部分を国が補償する。（ただし、補償上限額（＝950億円）を定める）。
《主催者の負担分》一般的な損害：50億円 地震・テロ等による損害：1億円
- 毎年度の補償契約の締結の限度額を予算（予算総則）で定める。
- 文化審議会の意見聴取及び財務大臣協議を経て、対象となる展覧会を決定する。

4. 美術品補償制度の運用状況

- 令和7年4月1日現在、55件の展覧会の補償契約を締結。（別紙参照）
- 補償対象展覧会は、随時、審査を行い決定する。
- 令和7年度予算の予算総則において、補償契約締結限度額として4,500億円を計上している。

5. 美術品補償制度の在り方に関する検討

- 平成27年6月30日に閣議決定された規制改革実施計画において、民間事業者等の要望に応える見直しとして、展覧会における美術品損害の補償契約の手続き合理化について、「美術品補償制度適用のための文部科学大臣宛ての申請書類について、2回目以降の申請においては、施設や設備に関する書類の提出を一定期間免除するなどの簡略化をする方向で検討し、必要な措置を講ずる」ことが定められ、平成28年3月29日付けで施行規則の一部改正を行った。
- また、平成29年度及び令和5年度に制度に係る調査研究（国内の展覧会の実施状況、海外における美術品補償制度の運用状況に関する調査等）を実施し、その結果を踏まえ、制度等の改善方策について検討している。

美術品補償制度適用展覧会の一覧

展覧会情報		
No.	展覧会名	会場(会期)
1	ブラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影	国立西洋美術館 (平成23年10月22日～平成24年 1月29日)
2	生誕100年 ジャクソン・ポロック展	愛知県美術館 (平成23年11月11日～平成24年 1月22日) 東京国立近代美術館 (平成24年 2月10日～平成24年 5月 6日)
3	特別展 北京故宫博物院200選	東京国立博物館 (平成24年 1月 2日～平成24年 2月19日)
4	カミーユ・ピサロと印象派 永遠の近代	宇都宮美術館 (平成24年 3月24日～平成24年 5月27日) 兵庫県立美術館 (平成24年 6月 6日～平成24年 8月19日)
5	セザンヌ パリとプロヴァンス	国立新美術館 (平成24年 3月28日～平成24年 6月11日)
6	国立トレチャコフ美術館所蔵 レービン展	Bunkamura ザ・ミュージアム (平成24年 8月 4日～平成24年10月 8日) 浜松市美術館 (平成24年10月16日～平成24年12月24日) 姫路市立美術館 (平成25年 2月16日～平成25年 3月30日) 神奈川県立近代美術館 葉山 (平成25年 4月 6日～平成25年 5月26日)
7	リヒテンシュタイン 華麗なる公爵家の秘宝	国立新美術館 (平成24年10月 3日～平成24年12月23日) 高知県立美術館 (平成25年 1月 5日～平成25年 3月 7日) 京都市美術館 (平成25年 3月19日～平成25年 6月 9日)
8	特別展 中国 王朝の至宝	東京国立博物館 (平成24年10月10日～平成24年12月24日) 神戸市立博物館 (平成25年 2月 2日～平成25年 4月 7日) 名古屋市博物館 (平成25年 4月24日～平成25年 6月23日) 九州国立博物館 (平成25年 7月 9日～平成25年 9月16日)
9	ラファエロ	国立西洋美術館 (平成25年 3月 2日～平成25年 6月 2日)
10	フランシス・ベーコン展	東京国立近代美術館 (平成25年 3月 8日～平成25年 5月26日) 豊田市美術館 (平成25年 6月 8日～平成25年 9月 1日)
11	「印象派を超えて一点描の画家たち ～ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」	国立新美術館 (平成25年10月 4日～平成25年12月23日) 広島県立美術館 (平成26年 1月 2日～平成26年 2月16日) 愛知県美術館 (平成26年 2月25日～平成26年 4月 6日)
12	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」	東京国立博物館 (平成25年10月 1日～平成25年11月24日)
13	オルセー美術館展 印象派の誕生 ―描くこ との自由―	国立新美術館 (平成26年 7月 9日～平成26年10月20日)
14	特別展「台北 國立故宮博物院―神品至宝 ―」	東京国立博物館 (平成26年 6月24日～平成26年 9月15日) 九州国立博物館 (平成26年10月 7日～平成26年11月30日)
15	現代美術のハードコアはじつは世界の宝であ る展 ―ヤゲオ財団コレクションより	東京国立近代美術館 (平成26年 6月20日～平成26年 8月24日) 名古屋市美術館 (平成26年 9月 6日～平成26年10月26日) 広島市現代美術館 (平成26年12月20日～平成27年 3月 8日) 京都国立近代美術館 (平成27年 3月31日～平成27年 5月31日)
16	ホイットラー展	京都国立近代美術館 (平成26年 9月13日～平成26年11月16日) 横浜美術館 (平成26年12月 6日～平成27年 3月 1日)

展覧会情報		
No.	展覧会名	会場(会期)
17	ルーヴル美術館展 日常を描く―風俗画にみるヨーロッパ絵画の 真髄	国立新美術館 (平成27年 2月21日～平成27年 6月 1日) 京都市美術館 (平成27年 6月16日～平成27年 9月27日)
18	マグリット展	国立新美術館 (平成27年 3月25日～平成27年 6月29日) 京都市美術館 (平成27年 7月11日～平成27年10月12日)
19	マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 ―「印象、日の出」から「睡蓮」まで―	東京都美術館 (平成27年 9月19日～平成27年12月13日) 福岡市美術館 (平成27年12月22日～平成28年 2月21日) 京都市美術館 (平成28年 3月 1日～平成28年 5月 8日) 新潟県立近代美術館 (平成28年 6月 4日～平成28年 8月21日)
20	ブラド美術館展 ―スペイン宮廷 美への情熱―	三菱一号館美術館 (平成27年10月10日～平成28年01月31日)
21	特別展 黄金のアフガニスタン ―守りぬかれたシルクロードの秘宝―	九州国立博物館 (平成28年 1月 1日～平成28年 2月14日) 東京国立博物館 (平成28年 4月12日～平成28年 6月19日)
22	オルセー美術館・オランジュリー美術館所蔵 ルノワール展	国立新美術館 (平成28年 4月27日～平成28年 8月22日)
23	大阪市立美術館開館80周年記念 日本書芸 院創立70周年記念 特別展「王羲之から空海へ ―日中の名筆 漢 字とかなの競演」	大阪市立美術館 (平成28年 4月12日～平成28年 5月22日)
24	ゴッホとゴーギャン展	東京都美術館 (平成28年10月8日～平成28年12月18日) 愛知県美術館 (平成29年1月3日～平成29年3月20日)
25	オルセーのナビ派展:美の預言者たち ―ささ やきとざわめき	三菱一号館美術館 (平成29年2月4日～平成29年5月21日)
26	ジャコメッティ展	国立新美術館 (平成29年6月14日～平成29年9月4日) 豊田市美術館 (平成29年10月14日～平成29年12月24日)
27	ゴッホ展 巡りゆく日本の夢	北海道立近代美術館 (平成29年8月26日～平成29年10月15日) 東京都美術館 (平成29年10月24日～平成30年1月8日) 京都国立近代美術館 (平成30年1月20日～平成30年3月4日)
28	北斎とジャポニスム	国立西洋美術館 (平成29年10月21日～平成30年1月28日)
29	至上の印象派展 ビュールレ・コレクション	国立新美術館 (平成30年2月14日～平成30年5月7日) 九州国立博物館 (平成30年5月19日～平成30年7月16日) 名古屋市美術館 (平成30年7月28日～平成30年9月24日)
30	ブラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光	国立西洋美術館 (平成30年2月24日～平成30年5月27日) 兵庫県立美術館 (平成30年6月13日～平成30年10月14日)
31	ルーヴル美術館展 肖像芸術 ― 人は人をどう表現してきたか	国立新美術館 (平成30年5月30日～平成30年9月3日) 大阪市立美術館 (平成30年9月22日～平成31年1月14日)
32	ピエール・ボナール展	国立新美術館 (平成30年9月26日～平成30年12月17日)

展覧会情報		
No.	展覧会名	会場(会期)
35	ラファエル前派の軌跡展	三菱一号館美術館 (平成31年3月14日～令和元年6月9日) 久留米市美術館 (令和元年6月20日～令和元年9月8日) あべのハルカス美術館 (令和元年10月5日～令和元年12月15日)
36	クリムト展	東京都美術館 (平成31年4月23日～ 令和元年7月10日) 豊田市美術館 (令和元年7月23日～令和元年10月14日)
37	ウィーン・モダン展	国立新美術館 (平成31年4月24日～令和元年8月5日) 国立国際美術館 (令和元年8月27日～令和元年12月8日)
38	松方コレクション展	国立西洋美術館 (令和元年6月11日～令和元年9月23日)
39	コートールド美術館展	東京都美術館 (令和元年9月10日～令和元年12月15日) 愛知県美術館 (令和2年1月3日～令和2年3月15日) 神戸市立博物館 (令和2年3月28日～令和2年6月21日) ※感染症の影響により、以下の通り変更 東京都美術館 (令和元年9月10日～令和元年12月15日) 愛知県美術館 (令和2年1月3日～令和2年3月1日)
40	オランジェリー美術館コレクション	横浜美術館 (令和元年9月21日～令和2年1月13日)
41	ピーター・ドイグ展	東京国立近代美術館 (令和2年2月26日～令和2年10月11日) ※感染症の影響による中止期間: 令和2年2月29日～令和2年6月11日
42	ゴッホ展 ― 響きあう魂 ヘレーネとフィンセント	東京都美術館 (令和3年9月18日～令和3年12月12日) 福岡市美術館 (令和3年12月23日～令和4年2月13日) 名古屋市美術館 (令和4年2月23日～令和4年4月10日)
43	スコットランド国立美術館 THE GREATS 美の巨匠たち	東京都美術館 (令和4年4月22日～令和4年7月3日) 神戸市立博物館 (令和4年7月16日～令和4年9月25日) 北九州市立美術館 (令和4年10月4日～令和4年11月20日)
44	歿後50年 ピカソ 青の時代を超えて Picasso: The Blue Period and Beyond	ポーラ美術館 (令和4年9月17日～令和5年1月15日) ひろしま美術館 (令和5年2月4日～令和5年5月28日)
45	四一ヴル美術館展 愛を描く	国立新美術館 (令和5年3月1日～令和5年6月12日) 京都市京セラ美術館 (令和5年6月27日～令和5年9月24日)
46	〇オポルド美術館 エゴン・シーレ展 ウィーン が生んだ若き天才	東京都美術館 (令和5年1月26日～令和5年4月9日)
47	マティス展 Henri Matisse:The Path to Color	東京都美術館 (令和5年4月27日～令和5年8月20日)
48	デイヴィッド・ホックニー展	東京都現代美術館 (令和5年6月26日～令和5年11月30日)

展覧会情報		
No.	展覧会名	会場(会期)
49	パリポンピドゥーセンター キュビズム展-美の革命	国立西洋美術館 (令和5年10月3日～令和6年1月28日) 京都市京セラ美術館 (令和6年3月20日～令和6年7月7日)
50	ゴッホと静物画展―伝統から革新へ	SOMPO美術館 (令和5年10月17日～令和6年1月21日)
51	マティス 自由なフォルム	国立新美術館 (令和6年2月14日～令和6年5月27日)
52	カナレットとヴェネツィアの輝き	静岡県立美術館 (令和6年7月27日～令和6年9月29日) SOMPO美術館 (令和6年10月12日～令和6年12月28日) 京都文化博物館 (令和7年2月15日～令和7年4月13日) 山口県立美術館 (令和7年4月24日～令和7年6月22日)
53	ルイーズ・ブルジョワ展 地獄から帰ってきた ところ 言っとくけど、素晴らしかったわ	森美術館 (令和6年9月25日～令和7年1月19日)
54	モネ 睡蓮のとき	国立西洋美術館 (令和6年10月5日～令和7年2月11日) 京都市美術館 (令和7年3月7日～令和7年6月8日) 豊田市美術館 (令和7年6月21日～令和7年9月15日)
55	ミロ展	東京都美術館 (令和7年3月1日～令和7年7月6日)

海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律について

1. 立法の背景

- 海外の民間美術館や個人等が美術品等を貸出すに当たって、強制執行等の禁止措置が担保されていることを条件とされ、日本の美術館等が借り受けることが困難な事例が発生している。(多くの先進国では強制執行等の禁止の措置が既に整備されている。)
※外国政府等所有の美術品等については、平成21年に主権免除法が成立し、我が国の民事裁判権の対象外となっている。
- このような状況を踏まえ、海外の美術品等に対する強制執行等の禁止の措置を定めることが必要とされ、第177回通常国会において議員立法により成立（平成23年4月公布、9月施行）。

2. 法律の概要

- 我が国において公開される海外の美術品等のうち、要件に該当するものとして文部科学大臣が指定したものに対しては、強制執行、仮差押え及び仮処分を禁止。
※美術品のほか、「化石」や「希少な岩石、鉱物、植物及び動物の標本」も対象となる。
- 指定に当たっては外務大臣への協議が必要。
- 指定した美術品等に係る情報については、官報において公示。

3. 制度を利用しようとする場合

- 本制度に申請しようとする場合は、「海外の美術品等」の制度の適合状況、申請書の記載方法、申請書の提出時期等について、美術品等を借用開始する3か月前まで（指定が必要な美術品等の数が10点を超える場合は6か月前まで）に、文化庁に相談が必要（詳細は以下の文化庁HPを参照）。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/bunkazai/kaigaibijutsu_sokushin/

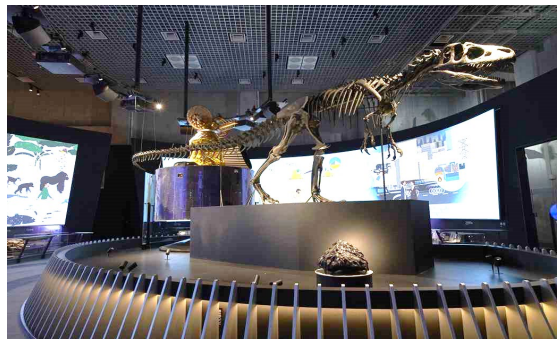
4. 制度の運用状況

- 令和7年7月1日現在、149件の海外美術品等の指定を実施。

独立行政法人国立科学博物館

使命・役割
独立行政法人国立科学博物館は、博物館を設置して、自然史に関する科学その他の自然科学及びその応用に関する調査及び研究並びにこれらに関する資料の収集・保管（育成を含む）及び公衆への供覧等を行うことにより、自然科学及び社会教育の振興を図ることを目的とする。

中期目標
①自然史及び科学技術史の調査・研究
②ナショナルコレクションの構築・継承及び活用
③人々の科学リテラシーの向上を目指した展示・学習支援

各施設の概要			
施設	上野本館	筑波地区（筑波研究施設・筑波実験植物園）	附属自然教育園
	 	 	 
設置	明治10年（1877年） （教育博物館）	昭和51年（1976年）	昭和37年（1962年）
建物延べ面積	33,612㎡	48,661㎡	1,953㎡
	うち展示面積 11,355㎡	うち展示面積 3,406㎡	うち展示面積 264㎡
敷地面積	13,223㎡	140,022㎡	192,382㎡
所在地	東京都台東区上野公園7-20	茨城県つくば市天久保4-1-1	東京都港区白金台5-21-5
役割・任務	国立科学博物館は、日本で最も歴史のある博物館の一つであり、自然史・科学技術史に関する国立の唯一の総合科学博物館である。良質で豊富な実物標本資料を中心に、フロアごとに展示テーマを設け、メッセージ性を重視することにより、常設展示のメインメッセージである「人類と自然の共存をめざして」を体系的に、わかりやすく伝えられるような展示構成をしている。	筑波研究施設は、自然史および科学技術史に関する中核的な研究機関として、動物、植物、岩石・鉱物、古生物、人類、科学技術史等を専門分野とする研究者を擁し、4つの研究部（動物・植物・生命史・理学）と3つの研究センター（産業技術史資料情報センター・標本資料センター・分子生物多様性研究資料センター）を中心に、様々な機関と連携して調査研究を展開している。筑波実験植物園では、日本の代表的な植生を再現し、世界の熱帯や乾燥地に生育する植物を栽培するなど、3000種を超える植物が展示されている。	自然教育園は、文化財保護法に基づき天然記念物及び史跡に指定されている。園内では暖温帯の代表的な植生である常緑広葉樹林、武蔵野の草地、谷の湿地などが保存されており、多くの動植物を観察し生態系のしくみを学ぶことができる。
展示資料数 (R7.3.31時点)	25,600	79,981（非公開を含めた植栽数）	-
来館者数 (R6年度)	2,411,460人	101,724人	121,813人
職員数 (R7.4.1時点)	63人	68人	7人

登録標本数 (R7.3.31時点)	5,164,938		
役員	館長 篠田 謙一	理事 栗原 祐司	監事（非常勤） 高山 昌茂、池田 千絵
職員数	令和7年度（R7.4.1時点）		
	138人		

↓補正の交付金18をプラス											
国からの財政支出	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
運営費交付金	2,765	2,768	2,797	2,729	2,698	2,732	2,925	2,546	2,840	2,855	2,859
施設整備費補助金	0	0	0	0	0	133	0	0	0	0	0
自己収入（展示事業等収入）	416	420	424	469	589	710	393	543	710	710	822
※補正での施設整備費											
（交付決定の年度および交付決定額）	0	0	80	378	50	1,366	976	238	829	583	

令和7年度独立行政法人国立科学博物館 展覧会予定一覧

[illegible]

独立行政法人 国立美術館

使命・役割

独立行政法人国立美術館は、美術館を設置して、美術に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する調査及び研究並びに教育及び普及の事業等を行うことにより、芸術その他の文化の振興を図ることを目的とする。

中期目標

- ①美術振興の中心的拠点として、多様な鑑賞機会の提供、美術創造活動の活性化の推進など、現代の美術を取り巻く状況の変化に対応した多彩な活動を展開し、我が国の美術振興に寄与
②我が国の近・現代美術及び海外の美術を体系的・通史的に提示し得るナショナルコレクションの形成・活用・継承
③我が国におけるナショナルセンターとして美術館活動全体の活性化に寄与

各館の概要

施設	東京国立近代美術館		京都国立近代美術館	国立映画アーカイブ	国立西洋美術館	国立国際美術館	国立新美術館
	本館	国立工芸館					
							
設置	昭和27年6月6日	分館設置 昭和52年11月15日 移転開館 令和2年10月25日	分館設置 昭和38年3月1日 独立 昭和42年6月1日	分館設置 昭和45年5月27日 独立 平成30年4月1日	昭和34年4月	昭和52年5月20日	平成18年7月1日
建物 延べ面積	19,050.6㎡	3,072.22㎡	9,761㎡	16,479㎡	17,369㎡	13,487㎡	49,709㎡
	うち展示面積 4,459.0㎡	うち展示面積 703.76㎡	うち展示面積 2,604㎡	うち展示面積 1,365㎡	うち展示面積 4,420㎡	うち展示面積 3,811㎡	うち展示面積 14,000㎡
所在地	東京都千代田区 北の丸公園3-1	石川県金沢市 出羽町3-2	京都府京都市左京区 岡崎円勝寺町	東京都中央区 京橋3-7-6	東京都台東区 上野公園7-7	大阪府大阪市北区 中之島4-2-55	東京都港区 六本木7-22
役割 ・ 任務	近・現代の美術、工芸に関する作品その他の資料の収集・保管・展示・調査研究活動等を実施。		特に京都・西日本を重点に 近・現代の美術、工芸に関する作品その他の資料の収集・保管・展示・調査研究活動等を実施。	映画文化振興の中核的機関として、映画に関する収集・保存・活用・上映・調査研究活動等を実施。	仏政府から日本国政府に寄贈返還された松方コレクションを中心に西洋美術に関する作品及び資料の収集・保管・展示・調査研究活動等を実施。	日本美術の発展と世界の美術との関連を明らかにするため、主に1945年以降の現代美術に関する作品その他の資料の収集・保管・展示・調査研究活動等を実施。	国立のアートセンターとして、全国的活動を行う美術団体の展覧会等への会場の提供及び新しい美術動向や現代作家を紹介する自主企画展の開催、国際発信等を実施。
収蔵作品 ※1	14,201件	4,398件	15,411件	109,448件	6,779件	8,303件	
入館者数 ※2	445,748人	20,780人	241,257人	85,573人	1,666,056人	169,813人	581,746人
館長	小松 弥生	唐澤 昌宏	福永 治	岡島 尚志	田中 正之	島 敦彦	逢坂 恵理子
職員数 ※3・4	14人 (27人)	9人	18人	16人	24人	16人	21人

単位：百万円

国立アートリサーチセンター（法人本部に設置）			
 国立アートリサーチセンター National Center for Art Research		役割 ・ 任務	国内外の美術館、研究機関をはじめ関係者と連携・協力し、アート振興の基盤整備及び国際発信と持続的な発展に寄与するため、国立美術館のナショナルセンターとしての機能の強化、情報収集と国内外への発信、コレクションの活用促進、人的ネットワークの構築、ラーニングの拡充、アーティストの支援などに取り組み、我が国の美術館活動全体の充実に寄与する。
設置	令和5年3月28日		
所在地	東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア2階		
センター長	片岡 真実		
職員数 ※3・5	9人 (15人)		

役員	理事長	理事		監事（非常勤）
	逢坂 恵理子	(常勤)石崎 宏明、田中 正之 (非常勤)渡部 葉子		田中 淳、茶田 佳世子
法人本部職員数 ※3・6	33人	職員数※3	計160人	

国からの財政支出等	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
運営費交付金	7,392	7,552	8,511	8,423	7,739	8,050	8,143
施設整備費補助金	1,381	1,381	100	400	400	100	100
自己収入（展示事業等収入）	1,581	1,581	1,102	1,303	1,504	1,679	1,679

予算額	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	11,004	11,164	10,776	10,776	10,293	10,479	10,572

※平成29年度から、予算額には上記3項目に加え寄附金収入を含む。

※補正予算による施設整備費（百万円）							
（交付決定の年度及び交付決定額）		1,256	0	1,202	676	384	507

- ※1 収蔵作品は令和7年3月31日現在の数（寄託作品を含む。）
※2 入館者数は令和6年度実績（主催事業（所蔵作品展、企画展、国立映画アーカイブ上映会・展覧会）の入館者数）
※3 職員数は令和7年4月1日現在の常勤職員の人数。
※4 東京国立近代美術館の職員数の括弧内は法人本部等を本務とし、東京国立近代美術館を兼務する者（外数）。
※5 国立アートリサーチセンターの職員数の括弧内は法人本部等を本務とし、国立アートリサーチセンターを兼務する者（外数）。
※6 法人本部職員数は、国立アートリサーチセンターを本務とする職員を含まない。

2025年度 企画展年間スケジュール 多彩な展覧会をいつでもお楽しみいただけます。この他、各館の所蔵作品による展覧会も開催しています(国立新美術館を除く)。

	2025年										2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東京国立近代美術館 本館	3/4		6/15										
	ヒルマ・アフ・クリント展			7/15			10/26		12/16		2/8		
	2/11		6/15	コレクションを中心とした特集 記録をひらく 記憶をつむぐ						アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦			
	コレクションによる小企画 フェミニズムと映像表現												
国立工芸館	3/14		6/22	7/11	8/24	9/9		11/24	12/9		3/1	3/20 5/31	
	移転開館5周年記念 花と暮らす展			移転開館5周年記念 重要無形文化財指定50周年記念 喜如嘉の芭蕉布展		移転開館5周年記念 ルーシー・リー展ー東西をつなぐ優美のうつわー			移転開館5周年記念 令和6年能登半島地震復興祈念 工芸と天気展ー石川県ゆかりの作家を中心にー(仮称)		ルネ・ラリック展ー華麗なるジュエリーとガラスの軌跡(仮称)		
国立西洋美術館	3/11		6/8	7/1		9/28		10/25			2/15		
	西洋絵画、どこから見るか？ールネサンスから印象派まで			スウェーデン国立美術館 素描コレクション展ールネサンスからバロックまで				オルセー美術館所蔵 印象派ー室内をめぐる物語			2/15		
	3/11		6/15	6/28		10/5			10/25			5/10	
	梶コレクション展ー色彩の宝石、エマーユの美			ピカソの人物画				物語る黒線たちーデューラー「三大書物」の木版画					
								10/25	フルーニング美術館・国立西洋美術館所蔵 フランドル聖人伝板絵ー100年越しの“再会”				
国立映画アーカイブ OZUホール	4/8	5/11		7/15	8/24		10/14 10/26 11/4 11/23		12/9 12/26		2/10	3/22	
	撮影監督 三浦光雄			返還映画コレクション (3)ー第二次・劇映画篇		9/6 9/20		映画監督 森田芳光	逝ける映画人を偲んで2023-2024(仮称)		逝ける映画人を偲んで2023-2024(仮称)		
		5/13	7/6			第47回びあフィルムフェスティバル2025	10/28 11/2	11/25 11/30	サイレントシネマ・デイズ2025(仮称)		1/8 2/1		
	生誕120年 映画監督 中川信夫						TIFF/NFAJ クラシックス 2025(仮称)		アンソロジー・フィルム・アーカイブス／ハーバード・フィルム・アーカイブ 映画コレクション(仮称)				
小ホール						9/6 9/20					※期間中の金、土、日曜のみ	3/6 3/22	
						第47回びあフィルムフェスティバル2025					NFAJコレクション 2026 春(仮称)		
展示室	4/8			7/27	8/12			11/30	12/16			3/22	
	ポスターでみる映画史 Part 5 アニメーション映画の世界			映画監督 森田芳光					アカデミー・コレクションより 写真展 ハリウッドの名監督たち(仮称)				
国立新美術館	3/19		6/30			9/3			12/8				
	リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s					時代のプリズム:日本で生まれた美術表現 1989-2010							
						9/17			12/15				
						ブルガリ カレイドス 色彩・文化・技巧							
京都国立近代美術館	3/25		6/29	7/19	9/15	10/7	11/24		12/20		3/8		
	〈若きポーランド〉ー色彩と魂の詩 1890-1918			きもののヒミツ 友禪のうまれるところ		没後50年 堂本印象 自在なる創造			セカイノコトワリー私たちの時代の美術(仮称)				
国立国際美術館	2/22		6/1	6/28		10/5		11/1			2/15		
	ノー・バウンダリーズ			非常の常				プラカードのために					
	2/15		6/1	6/28		10/5		11/1			2/15		
	コレクション2 Undo, Redo わたしは解く、やり直す			コレクション1				コレクション2					

※情報は2025年4月現在。展覧会の詳細は決まり次第随時HPなどでお知らせいたします。HPで最新情報をご確認の上、ご来館くださいますようお願いいたします。

アクセス

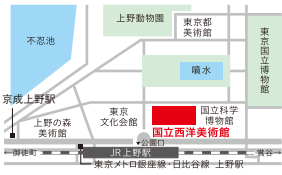
東京国立近代美術館 本館



国立工芸館



国立西洋美術館



国立新美術館



国立映画アーカイブ



京都国立近代美術館



国立国際美術館

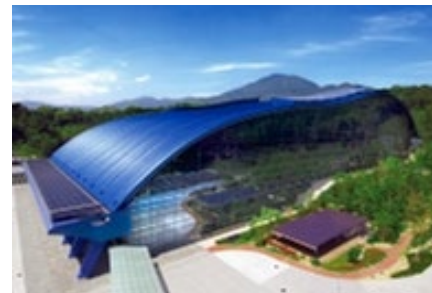


独立行政法人 国立文化財機構

使命・役割
独立行政法人国立文化財機構は、博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを目的とする。

中期目標
1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信
・有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、文化財の保存及び活用を図る。特に、文化財の次世代への保存継承に関する国民意識の涵養を図る。
2. 文化財及び海外の文化遺産の保護に貢献する調査研究・協力事業等の実施
・文化財に関する専門的、技術的事項に関する唯一の国立研究機関として、基礎的・探究的な調査研究を継続的に行い、災害に対する多様な文化財の防災・救援のための連携・協力体制を構築し、専門的な知見から支援を行うとともに、地域の専門的人材の育成を図る。
・有形・無形の文化遺産に係る国際協働・協力に貢献する専門的機関として、国際条約等に基づく活動を積極的に推進する。

各施設の概要

施設	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館	施設	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	アジア太平洋無形文化遺産研究センター
									
設置	明治5年（1872年） （文部省博物館）	明治22年（1889年） ※明治30年（1897年）開館 （帝国京都博物館）	明治22年（1889年） ※明治28年（1895年）開館 （帝国奈良博物館）	平成17年4月1日 （開館：同10月16日）	平成5年度（1993年）開館 令和5年10月1日 （宮内庁より移管）	設置	昭和5年6月28日	昭和27年4月1日	平成23年10月1日
建物延べ面積	78,471㎡	30,872㎡	19,133㎡	30,675㎡	7,656㎡（Ⅰ期棟）	建物延べ面積	10,516㎡	11,387㎡	244.67㎡
	うち展示面積 18,567㎡	うち展示面積 5,657㎡	うち展示面積 4,079㎡	うち展示面積 5,444㎡	うち展示面積 690㎡（Ⅰ期棟）				
所在地	東京都台東区上野公園13-9	京都府京都市東山区茶屋町527	奈良県奈良市登大路町50	福岡県太宰府市石坂4-7-2	東京都千代田区千代田1-8	所在地	東京都台東区上野公園13-43	奈良県奈良市二条町2-9-1	大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁
役割・任務	我が国の総合的な博物館として、日本を中心として広く東洋諸地域にわたる文化財について、収集・保管・展示、調査研究、教育普及事業等を行う。	平安時代から江戸時代の京都文化を中心とした文化財について、収集・保管・展示、調査研究、教育普及事業等を行う。	仏教美術を中心とした文化財について、収集・保管・展示、調査研究、教育普及事業等を行う。	日本とアジア諸国との文化交流を中心とした文化財について収集・保管・展示、調査研究、教育普及事業等を行う。 なお、事業の実施に当たっては、福岡県等と連携協力を行う。	皇室から受け継いだ文化財を中心として、収集、保存、管理、展示、調査研究、教育普及事業等を行う。	主な事業	1 我が国及び諸外国の美術及び我が国の無形文化財の調査・研究 2 文化財に関する新たな調査手法の研究・開発 3 科学技術の活用等による文化財の保存科学・修復技術に関する調査・研究 4 全国の博物館・美術館からの要請に応じた専門的指導・助言・研修 5 文化財の保存・修復に関する国際協力	1 平城宮、藤原宮、飛鳥地域の発掘調査及び出土品・遺構の調査・研究 2 遺跡の保存・整備・活用に関する一体的な調査・研究 3 古都所在社寺所蔵の歴史資料等の文化財の調査・研究 4 全国各地の発掘調査等に対する指導・助言及び発掘調査専門職員等に対する研修 5 飛鳥資料館・平城宮跡資料館等における調査・研究の成果の公表 6 発掘調査・遺跡の整備に関する国際協力	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に係る調査・研究
所蔵品 （国宝） （重要文化財）	121,156件 （89件） （653件）	9,078件 （29件） （207件）	1,962件 （13件） （114件）	18,317件 （4件） （50件）	66件※1 （0件） （0件）		一般公開施設		
来館者数	2,563,820人	338,444人	552,359人	374,180人	286,180人			飛鳥資料館(25,423人) 平城宮跡資料館(36,486人) 藤原宮跡資料館(8,126人)	
館長	藤原 誠	松本 伸之	井上 洋一	富田 淳	島谷 弘幸（理事長）	所長	齊藤 孝正（理事）	本中 眞	町田 大輔
職員数	114人	43人	35人	28人	33人	職員	41人	78人	4人

※収蔵品の件数および入館者数は令和7年3月31日現在の数 ※1：国からの長期貸与品件数は6,175件（内、国宝9件、重要文化財7件）

※各館の職員数は、役員以外の館長を含む。

役員	理事長 島谷 弘幸	理事 中野 理美、齊藤 孝正、福野 明子（非常勤）	監事（非常勤） 稲垣 正人、久留島 典子
	令和7年度 431人		

※職員数は令和7年4月1日現在の現員数である。
なお、各施設職員数の計に本部事務局・文化財活用センター・文化財防災センターの職員数55人を足したものである。

国からの財政支出	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
運営費交付金	8,441	8,388	8,325	8,808	8,593	8,633	9,052	8,918	9,577	9,578	9,579
施設整備費補助金	2,921	1,334	1,780	405	994	198	0	0	0	0	0
自己収入（展示事業等収入）	1,323	1,475	1,576	1,677	1,931	2,090	1,032	1,329	1,626	2,103	2,201

予算額	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	12,685	11,197	11,681	10,890	11,518	10,921	10,084	10,247	11,203	11,681	11,780

※補正での施設整備費

（交付決定の年度および交付決定額）	0	86	1,806	473	409	123	1,176	277	477	530	
-------------------	---	----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	--

令和7年度独立行政法人国立文化財機構 特別展覧会等開催予定一覧

令和7年5月1日現在

	7年									8年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京国立博物館	3/25～8/3 特別企画「イマーシブシアター 新ジャポニズム～縄文から浮世絵　そしてアニメへ～」 (東京国立博物館、中尊寺、NHK、NHKプロモーション)			7/19～9/21 特別展「江戸☆大奥」 (東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション)		9/9～11/30 特別展「運慶　祈りの空間―興福寺北円堂」 (東京国立博物館、興福寺、読売新聞社)		10/10～12/7 特別企画「日光の彩色と金工　社寺建築の美しさの謎を解」 (東京国立博物館、竹中大工道具館、伝統建築工匠の会)		令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨復興支援事業「ひと、能登、アート。」 11/15～12/21：石川県立美術館、12/9～3/1：国立工芸館、12/13～3/1：金沢21世紀美術館 (石川県立美術館、金沢　21　世紀美術館、国立工芸館、石川県、金沢市、東京国立博物館)		
	4/22～6/15 特別展「蔦屋重三郎　コンテンツビジネスの風雲児」 (東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション)											
	4/22～6/15 特別企画「浮世絵現代」 (東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、 公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団)											
	4/28～6/22 特別企画「増上寺の三大蔵―徳川家康寄進の三種の大蔵経―」 (東京国立博物館、大本山増上寺、浄土宗)											
京都国立博物館	4/19～6/15 特別展「日本、美のるつぼ―異文化交流の軌跡―」 (京都国立博物館、朝日新聞社、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿)					9/20～11/16 特別展「宋元仏画―蒼海(うみ)を越えたほとけたち」 (京都国立博物館、毎日新聞社、京都新聞)						
奈良国立博物館	4/19～6/15 奈良国立博物館開館130年記念特別展「超　国宝―祈りのかがやき―」 (奈良国立博物館、朝日新聞社、 NHK奈良放送局、NHKエンタープライズ近畿)			7/26～9/23 奈良国立博物館開館130年　天理大学創立100周年記念 特別展「世界探検の旅-美と驚異の遺産-」 (奈良国立博物館、天理大学附属天理参考館、日本経済新聞社、テレビ大阪)		10月下旬～11月上旬 特別展　第77回正倉院展(予定)						
九州国立博物館	1/21～5/11 挂甲の武人　国宝指定50周年記念/九州国立博物館開館20周年記念 放送100年/朝日新聞西部本社発刊90周年記念　特別展「はにわ」 (九州国立博物館・福岡県、NHK福岡放送局、NHKエンタープライズ九州、 西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社)			7/5～8/31 九州国立博物館開館20周年記念　特別展「九州の国宝　きゅーはくのたから」 (九州国立博物館・福岡県、西日本新聞社、 TNC　テレビ西日本、西日本新聞イベントサービス)		10/7～11/30 九州国立博物館開館20周年記念/放送100年/読売新聞創刊150周年 特別展「法然と極楽浄土」 (九州国立博物館・福岡県、NHK福岡放送局、 NHKエンタープライズ九州、読売新聞社、西日本新聞社)				1/20～3/15 松浦史料博物館開館70周年記念/九州国立博物館開館20周年記念 特別展「平戸モノ語り―松浦静山と熙の情熱―」 (九州国立博物館・福岡県、西日本新聞社)		
皇居三の丸尚蔵館	3/11～5/6 「百花ひらく―花々をめぐる美」 (皇居三の丸尚蔵館)			新施設の建設工事に伴い一時休館期間 (全面開館は令和8年秋を予定)								
平城宮跡資料館	5/20～6/15 大阪・関西万博開催記念展示 「酒と都と須恵器と土師器」			7/12～8/31 夏期企画展「須恵器をつくる―古代と現代をつなぐ陶の工の物語」 (於：平城宮いざない館)		10/18～11/30 秋期特別展「ナラから平城(なら)へ― 旧石器からはじまる3万年の歴史―」		12/11～12/21 冬期特別企画展「西隆寺出土木簡(仮)」				
飛鳥資料館	4/15～6/15 ミニ展示「飛鳥資料館50年を振り返る」			7/18～9/23 夏期企画展　飛鳥資料館第16回写真コンテスト 「飛鳥のたてもの」		11/5～12/14 秋期特別展「古代技術の精華―飛鳥池工房―」						

公益財団法人日本博物館協会の主要活動について

1. 博物館の普及啓発に関する事業

(1) 月刊誌「博物館研究」の刊行

博物館の総合研究情報誌として、内外の動向を反映しつつ博物館の取り組むべき課題について、毎号特集テーマを設定して内容の充実を図るとともに、博物館関連の最新情報、地方の動向及びI C O M（国際博物館会議）を中心とする博物館の国際動向や海外ニュース等、博物館に関わる読者にとって価値ある情報の提供に努める。

また、日本博物館協会が創立100周年を迎えることも踏まえ、協会ホームページ等のメディアを活用して掲載情報の一部を紹介するなど、コンタクトポイントの多様化により購買層のさらなる拡大を図るべく、今後の編集方針や活用施策案等を継続検討し、月刊誌「博物館研究」の価値向上に努める。

(2) 全国博物館大会の開催

第73回全国博物館大会は、大阪市博物館機構、大阪府、大阪府教育庁、大阪市、大阪市教育委員会の協力のもとに、文化庁の後援を得て、11月19日（水）～21日（金）の3日間、大阪市中心公会堂（大阪市）他において開催する。本大会では、3日間にわたり博物館に関する諸問題について研究協議を行い、今後設定する大会のメインテーマに基づき、基調講演、全国博物館フォーラム、シンポジウム、分科会、施設見学等を行う。

(3) 全国博物館長会議の開催

博物館運営の中核である館長を対象に、全国博物館長会議を、文化庁との共催の下、7月2日（水）の開催を目途に準備を進める。文化庁の博物館担当官等による令和7年度事業の行政説明及び当協会の令和7年度事業計画等の説明を行うとともに、博物館運営及び館長のリーダーシップなどについて事例報告やシンポジウム等を行う。また、第5回日本博物館協会賞受賞館のプレゼンテーションも行う予定である。

2. 博物館に対する支援に関する事業

(1) 博物館利用支援機器の提供

子育て世代、高齢者、障がい者等の博物館の利用環境を向上し、これらの人々の文化的、知的要求に応えるとともに、生き甲斐と豊かな生活を支援するため、一般財団法人日本宝くじ協会の助成を得て、車いすとベビー

カーの無償提供を継続実施する。

提供予定台数 車いす 90台

ベビーカー 幌なし 78台

(一般財団法人日本宝くじ協会へ申請中)

(2) 災害支援事業

令和7年度は、令和5年に発生した能登半島地震で被災した博物館や文化財に対する救援活動への支援を中心に、文化庁及び国立文化財機構の文化財防災センター等との連携の下に災害支援事業を継続する。

また、I COMの「博物館防災国際委員会」等との連携の下に国際的な博物館の防災体制の整備に努め、戦争が長期化しているウクライナの博物館・文化財の復旧のための寄付金の提供等の支援を継続する。

加えて、令和元年の台風19号の被災に係る川崎市市民ミュージアムや長野市立博物館への支援を必要に応じて継続するとともに、今後発生が危惧される大規模災害への対応を含め、募金・寄付の募集、救援事業への参加者募集を継続する。

3. 博物館に関する調査研究及び情報の収集・提供に関する事業

(1) 博物館制度のあり方に関する調査研究

文化審議会文化施設部会及び博物館ワーキング・グループへの参画を中心に、新たな「博物館の設置及び運営に関する望ましい基準」の策定等、博物館法の改正後に残された諸課題についての審議の促進に努め、その情報を広く会員、博物館関係者に周知する。

また、重要な課題やテーマについて、独自に検討・議論の場を設置し、現場の運営課題の共有と解決策の検討に結びつく調査研究を継続的に実施する。

(2) 新たな博物館登録制度のあり方等に関する調査研究

改正博物館法における新登録審査制度の運用のあり方、制度の周知・理解の促進について、文化庁の委託事業に参画するとともに、日本博物館協会独自で調査研究を実施し、現場の意見や課題を収集・整理し、情報共有を行うこと等を通じて、博物館全体の振興に資する制度としての充実に努める。

(3) 日本博物館協会100周年事業・その他

令和10年(2028年)の日本博物館協会創立100周年に向けて、これまでの日本博物館協会の活動を振り返りつつ、今後の博物館振興のために当協会の果たすべき役割と組織のあり方等について対話や議論を進め、当協会としての中長期的ビジョンの骨子をまとめる。

以下の5本の柱を中心に、国や外部機関等との連携を含め、必要に応じ

て個別委員会を設置し、機動的に準備作業を進め、来季の理事会に諮る。

① 日本博物館協会の経営基盤の見直し・強化

- ・文化庁委託事業で得た知見等を踏まえ、公益財団法人としての経営・財政基盤の強化に向けた具体的方針を検討しつつ、文化庁委託事業の活用を含め実証的導入を進め、中長期ビジョンに反映させる。

② 博物館振興のための事業展開の見直し・強化

- ・令和6年度の文化庁事業の一環（再委託事業）として開設した、会員館の寄付情報や、会員・友の会制度等の情報を一元的に発信するためのポータルサイトの維持・活用を含め、各博物館への支援の充実策を検討し、適切な施策を実施する。
- ・国、館種団体、関連学会等との連携強化、政策実現に向けた提言・進言先の検討・開拓を行う。

③ 社会に対する博物館の価値・役割の発信

- ・これまでの業界内部中心の活動とともに、広く社会に対する博物館の価値・役割の周知・PRを新たな事業の柱とし、その実施に向けた方策を検討する。

④ 100周年記念事業の基本計画

令和10年度に実施する100周年記念事業計画を検討・策定し、必要な準備を進める。

- ・100周年記念誌の編集・刊行委員会を設置し企画・編集・調査等の実施、構成案を検討する。
- ・毎年の開催イベント（全国博物館大会関連、国際シンポジウム、展覧会企画等）については、100周年を加味した企画を検討する（2026年度・2027年度・2028年度）。
- ・2028年に実施する記念行事（式典、顕彰等）についての基本的方針案を検討する。

⑤ 日本博物館協会の全構成員の「対話と連携」促進

日本博物館協会の中期ビジョンの構築や事業の改善への取り組みは、当協会の経営陣をはじめ、事業を執行する職員全員の理解の上で進めていくことが重要となる。ついては、理事及び評議員の意見交換や事業への参画を促進するための懇談の機会を設け、協会の発展的組織改革を行う基盤を整備する。

併せて、事務局内においても職員が今後の日本博物館協会のあり方について協議する機会を設け、協会運営を支えるための「ガバナンス」「マネジメント」「オペレーション」の最適化に向けて、相互の対話・連携の促進を図る。

（4）博物館総合調査

令和6年度に実施した調査結果について、総合調査に係る委員会を中心に集計・分析を進め、最新の博物館の運営状況に関するデータを報告書と

してまとめ、広く公開し、各博物館の運営改善をはじめ博物館政策立案の基礎資料として活用し資す。また、協会ホームページを活用し、より多くのステークホルダーに対して重要な調査結果を分かりやすく発信する等の取り組みを行う。

(5) 博物館に関する情報の提供

- ① 全国博物館園職員録等を刊行し、博物館活動に必要な情報を提供する。
- ② 全国の博物館の所在地、交通案内、収蔵品、常設展示等について記載した全国博物館総覧の編集を行い、博物館活動の連携を推進するための情報を提供する。

4. 博物館関係者の資質の向上に関する事業

(1) 研究協議会の開催

博物館の学芸員をはじめ職員の資質の向上を図るため、博物館制度のあり方をはじめ、博物館が直面する諸課題を研究協議し議論を深めるために、年度中に2～3テーマを設定し開催する。なお、開催形式については、近年の参加者ニーズを勘案し、ハイブリッド及びオンライン開催等も含めて柔軟に対応する。

(2) 顕彰の実施

博物館に永年勤続し功労のあった博物館職員等に博物館功労賞を授与するとともに、前年度「博物館研究」に掲載された優れた論文に棚橋賞を、実践報告等に対する論文に博物館活動奨励賞を授与し、その功績を顕彰する。

また、令和2年に新たに創設した「日本博物館協会賞」の第6回目の受賞館を表彰するとともに、日本の代表館として the Best in Heritage (TBIH) に推薦する。なお、2025年 TBIH はコロナ禍が落ち着き久々の実開催となることが予定されている。開催地はスペインのバルセロナ、開催日は10月22～24日の予定である。

第7回「日本博物館協会賞」選考委員会は令和8年2月に実施する。

(3) 美術品梱包輸送技能取得士認定事業の実施

平成24年度の試行実施から始まった美術品梱包輸送技能取得士認定事業については、令和6年度までに1級39名、2級253名、3級546名の合格者を輩出している。

令和7年度の試験実施時期は、1級は8月初旬、2級及び3級は令和8年2月を予定している。

大手業者と中小業者で合格率、合格者数の格差が生じているため、中小業者の梱包技術向上を目的として、実技ビデオのホームページ上での公開

を継続する。なお、実技のさらなる理解を促進する目的から、一部の実技ビデオについては更新を検討する。

また、認定制度の普及を図るため、各博物館及び関係機関に、美術品の梱包輸送に当たっては、本認定者を有する美術品取扱い業者を優先して採用するよう、引き続き働きかけを行う。

5. 博物館の国際交流に関する事業

(1) 国際発信・国際交流の促進・充実

国内博物館の振興に不可欠な国際化の促進に向け、I C O Mを中心とする国際的な博物館活動への積極的参加を促し、国際的に活動できる日本人人材の育成を支援するため、国際発信・国際交流を促進する取り組みを引き続き強化する。

- ・ I C O M日本委員会の経営基盤強化に向けて、理事への立候補制導入の準備とともに、外部資金の調達等、財政課題の解決に取り組む。
- ・ 国内会員の I C O M活動へのコミット、ひいては日本のプレゼンス向上に貢献するため、日本委員会内でのワーキング・グループ活動を促進する。
- ・ 国内会員の会員数維持とさらなる拡大に向けて、I C O M関連情報等の迅速な提供に努める。
- ・ 国内博物館の I C O M会員に対する優遇施設拡大に努める。
- ・ 日本の博物館に関する情報の海外発信の充実化を図る。
- ・ 日本の博物館に関する情報を海外への発信の充実を図る。
- ・ 本年11月にアラブ首長国連邦・ドバイで開催予定の I C O Mドバイ大会（ハイブリッド形式での開催）に、多くの日本人の参加を促すべく、開催内容の事前周知など、適時・適切な情報提供を行う。
- ・ 令和7年度も継続が見込まれる文化庁補助金等を活用し、ドバイ大会はじめ、国際会議等への出席・発表等を支援し、日本の博物館の国際発信とともに、国際組織で活躍できる人材の育成を促進する。
- ・ 博物館防災国際委員会（DRMC）との連携をはじめとして、国際的な博物館の防災体制の整備に努め、必要に応じた支援を行う。
- ・ I C O Mの国際委員会の年次総会・研究大会等の日本での開催を支援し、博物館の国際化促進に向けた取り組みを促進する。

(2) 「国際博物館の日」事業の実施

I C O Mが世界規模で行う「国際博物館の日」事業として、博物館が社会に果たす役割について広く市民にアピールすることを目的に、令和7年（2025年）の国際博物館の日のテーマ“**The Future of Museums in Rapidly Changing Communities**”（急速に変化するコミュニティにおける博物館の未来（仮訳））に沿って、5月18日の「国際博物館の日」を中心に、全国の各博物館において、入館料の減免、記念品の作成・配付、

特別展や講演会の開催等の記念行事の展開を促進する。また、本事業の広報のためにPR用ポスターを作成し、国内の各博物館及び関係機関に広く配布することにより、博物館の存在と活動の広がりをアピールする。

また、I COM日本委員会等との共催で、記念シンポジウムを5月18日（日）に東京国立博物館で開催する。

6. 新型コロナウイルス感染拡大の博物館への影響に関する対応（取りまとめ）

コロナ禍によって博物館運営が大きな影響を受けた2020年から2023年の4年間の博物館の状況を、昨年度実施した博物館総合調査の結果を取りまとめ、博物館現場の感染予防対策の在り方等、運営の参考になるよう、引き続き相談対応や助言を行える体制を確保する。

7. その他、この法人の目的を達成するために必要な取組み

- （1）各地区単位の博物館の会議に共催者として職員の派遣及び情報提供等の支援を行う。
- （2）協会ホームページを情報発信のプラットフォームとして、当協会の事業や会員館の活動をはじめ、様々な情報を掲載することで、より動的な情報メディアとして積極的に活用し、さまざまなステークホルダーによる閲覧を促進し、当協会の活動理解を向上する。
- （3）創立100周年を迎えるに当たり、事業充実を通じた日本博物館協会のさらなる発展に向けた協会の経営基盤強化を目的として、
 - ① 現在、文化庁委託を通じて調査研究実証を行っている基盤強化事業を総括し、その後の自律的実装を検討する。
 - ② 基本財産等の特定資産を国債等の無リスク資産で運用するための検討を行う。
- （4）希望会員館園を構成員として、施設賠償責任保険（賠償責任保険制度）及びレジャー・サービス施設費用保険（見舞金制度）の団体加入の周知と加入促進に努め、入館者に対する安心・安全の確保を図る。

第 7 2 回全国博物館大会決議

令和 6 年 1 1 月 2 8 日
第 7 2 回全国博物館大会

第 7 2 回全国博物館大会は、「文化観光と博物館 ～文化の魅力を伝えるために博物館ができること～」を全体テーマとして、公益財団法人日本博物館協会の主催および長野県・松本市教育委員会・長野県博物館協議会の共催のもと、文化庁・長野県教育委員会・松本市の後援を得て、令和 6(2024)年 11 月 27 日から 29 日までの 3 日間にわたり長野県松本市において開催された。

今大会は、日本で最も多くの博物館施設を有する長野県を開催地として、全国から約 5 0 0 名が参加し、改正博物館法施行後の博物館運営の在り方について活発な議論が行われた。

世界的に博物館の社会的役割が大きく変化・多様化する状況のなかで、我が国においても、令和 5 年 4 月に改正博物館法が施行され、博物館の運営環境は大きな転機を迎えている。博物館は、歴史文化・自然科学等多岐にわたる文化遺産の保存継承・調査研究・活用という基本機能の充実を図り、社会教育はもとより地域の文化振興を担う中核施設として機能することが期待されている。本大会における議論を通して、大会のテーマとした文化観光の振興を含め、博物館は、あらゆる人々が健全でかつ文化的生活を送る未来社会の創出に、大きく寄与できる社会基盤であることを確認した。

一方、博物館が社会基盤の役割を果たすためには、今ある博物館を取り巻く多くの課題の解決が不可欠であり、博物館とその設置者は、それぞれの目的を再確認し、必要な財源の確保や人材の拡充・育成、資料の保管・活用体制の整備、地域課題への対応等、喫緊の課題解決に一層の努力をする必要があることを共有した。加えて、国や自治体、博物館の所管・関連部署、関係諸機関等が連携し、博物館法制度に基づく公的支援をはじめとする幅広い支援の拡充が不可欠であり、博物館の存在意義を社会に広く訴えることが必要であることを確認した。

ここに、第 72 回全国博物館大会の名において、本大会の議論を踏まえ、博物館がより良い未来の創造に寄与することを願い、下記のとおり決議する。

1（博物館法制度の拡充と博物館の基盤整備） 博物館は、博物館法の趣旨を踏まえ、それぞれの設置目的や運営方針を再確認し、施設の特性を活かした基本的機能の充実に努めつつ現状の課題解決に取組み、地域の多様な主体との対話と連携の下に、利用者・社会からの期待に応え得る博物館活動を、持続的・発展的に展開するために努力する。

日本博物館協会は、博物館法制度の拡充による博物館振興のために、法制度・政策等に係る情報発信とともに各博物館の活動の支援に努める。その上で、博物館の基本的機能の充実に向け、公私立博物館における必要な専門人材の確保・育成等、博物館の経営および財政基盤の強化を図るためには、博物館法制度に基づく公的支援をはじめとする幅広い支援の拡充が不可欠であることを、国をはじめ公私立博物館の設置者等に強く訴え、理解・協力を求める。

また、博物館法改正時に衆参両院で採択された附帯決議をはじめ、今後の博物館振興に必要な、学芸員制度の充実や博物館資料の収蔵・管理・活用体制の整備等、喫緊の課題について、文化審議会等において、継続的且つ発展的な審議を行い政策に反映することを求める。

2（デジタル化による情報発信機能の充実と多様な連携の促進） 博物館は、改正法において努力義務とされた博物館資料のデジタル化とアーカイブ化の充実が、社会に開かれた博物館としての利用価値を高めるために重要であることを認識し、各施設の状況に応じた取組を通して情報発信力の強化に努める。併せて関連機関等との情報共有に努め、多様な連携の促進を図る。

日本博物館協会は、利用者サービスの向上はもとより、博物館が社会の多様なセクターとの連携体制を整備し、情報発信機能の強化を図るために不可欠な DX の促進について、博物館総合調査の実施等により各博物館の運営実態や課題を把握し、博物館資料・情報のデジタルアーカイブ化、新たな技術の導入や AI の活用等について、全国の博物館と情報共有・協議を進め、博物館資料のデジタル化支援のための補助事業等の拡充を国等に強く働きかける。

3（国際化と博物館倫理の理解促進） 博物館は、国際的に博物館の社会的役割が多様化しつつある状況を踏まえ、博物館活動の充実に、国際組織や海外博物館との連携が重要であることを認識し、ICOM（国際博物館会議）等の機関から発出される指針や情報を積極的に参照しつつ、各博物館の状況に応じた国際化と人材育成の推進に努める。

日本博物館協会は、各博物館の国際化への取組を継続的に進展させるために不可欠な、学芸員等を国際会議への参加及び海外での研修等に派遣するための支援の拡充を、国をはじめ関係機関・団体等に対し強く要請する。

また、現在 ICOM で進められている博物館倫理規程の改定について、今回の改定の主要な項目とされている博物館の統治、専門性、コレクション管理等、日本の博物館にとっても重要な課題である事項について、日本博物館協会は、ICOM 日本委員会と連携し、関連情報を広く関係者に周知共有し、「博物館の原則」「博物館関係者の行動規範」の改定に向けた検討を進める。

4（防災・減災・防犯体制の充実） 博物館は、多発する地震や豪雨・火災等の大規模災害、および人災等に因る博物館・文化財の被害を防ぐとともに、被災した博物館や文化財の復旧・復興を支援するために相互の連携を強化する。

日本博物館協会は、国立文化財機構文化財防災センターを核に関連団体と連携し、文化財・博物館施設全体の防災体制の強化に努める。また、博物館での人為的な危険行為等へのリスクが高まりつつある国際的状況を踏まえ、ICOM や UNESCO、ICOMOS をはじめとする関係国際機関との連携の下に、国際的な博物館や文化財の防災および防犯体制の強化に努める。

2025 年「国際博物館の日」記念事業の概要

日本博物館協会・ICOM 日本委員会が主催し、5 月 18 日の「国際博物館の日」を中心として、国内の博物館や美術館等に参加を呼びかけ、全国各地で様々な記念事業が企画されました。概要は以下の通りです。

1. ポスターの作成

協賛企業 9 社の協力を得て、ポスターを作成し、日博協会員館園ならびに ICOM 団体会員、ICOM 会員優待施設に配付しました。

また、文化庁「博物館総合サイト」上でも周知、参加呼びかけが行われました。



2. 各館園における記念事業

ICOM（国際博物館会議）が提唱する「国際博物館の日」の事業として、博物館が社会に果たす役割について広く市民にアピールし、博物館の普及を図るため、5 月 18 日

「国際博物館の日」を中心に、今年の共通テーマである「急激に変化するコミュニティにおける博物館」に基づき、全国の 215 館/園で無料入館や記念行事、記念品贈呈など約 328 件の記念行事が企画されました。詳細は別表をご参照ください。

3. 記念シンポジウム

5 月 18 日は、「ICOM ドバイ大会に向けて」をテーマとして、ICOM ドバイ大会について紹介するとともに、同大会で審議が行われる ICOM 倫理規程や内部規則の見直しの内容等について説明しました。記念シンポジウムには約 50 名が参加して実施しました。また、現在 YouTube による配信も行っています。



2025年「国際博物館の日」記念事業一覧

※予定が変更される場合がありますので、ご来館前に各館のホームページ等で実施情報をご確認ください。

2025.5.16現在

都道府県	館名	事業名	実施期間	内容	URL
石川県	鈴木大拙館	国際博物館の日記念 黄昏スペースツアー「閑」・予約定員制	5月18日 18:20～19:20口	ライトアップ/ダウンされた館内の見所を猪谷総学芸員が案内する毎年恒例の夜間イベント。鈴木大拙をめぐるエピソードの紹介とともに、静寂な思索のひとつを提案。テーマにちなんでジェラートを愉しむ特別体験を提供します。	https://www.kanazawa-museum.jp/daisetsu/
石川県	KAM能美市九谷焼美術館 五彩館	無料公開 九谷焼クイズラリー	5月17日・5月18日	全ての展示を無料で公開する 九谷焼に関するクイズを出し、全問正解でミュージアムグッズをプレゼント	https://www.kutaniyaki.or.jp/
長野県	安曇野高橋節郎記念美術館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にポストカード贈呈	http://azumino-bunka.com/facility/setsuro-museum/
長野県	茅野市ハケ岳総合博物館	無料公開 国際博物館の日記念 こどもの日とくべイベント	5月5日 5月5日 9:00～12:00	小中学生のみ無料公開とする 科学工作、おりがみ、AR体験、プラネタリウム、おはなし会を楽しみましょう	https://www.city.chino.lg.jp/eta/y-hakubutsukan/
長野県	飯田市美術博物館	無料公開 「田中芳男と国際博物館の日」	5月18日	通常有料で公開しているが、プラネタリウムを除くすべての展示を無料とする 見学会「日本の博物館の父」田中芳男とりんご並木の開催とプラネタリウム番組「博物館の父田中芳男」上映	https://www.iida-museum.org/
栃木県	那須歴史探訪館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.tokyo-cs.jp/027/cf/0000005-12-18/
栃木県	芳賀町総合情報館 博物館	無料公開 記念品贈呈	- 5月17日～5月25日	常時無料で公開している 先着10名にポストカード、特製クリアファイルを贈呈する	http://www.tokyo-cs.jp/027/cf/0000005-12-18/
栃木県	足利市立美術館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	http://www.watv.ne.jp/ashi-bi/
栃木県	草雲美術館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	http://www.kawakura-artmuseum.jp/
栃木県	山縣有朋記念館	記念品贈呈	5月18日～5月24日	来館者全員にポストカードを贈呈する	https://www.general-yamagata-foundation.or.jp/
栃木県	大田原市なす風土記の丘湯津上資料館	無料公開	-	全ての展示を無料で公開する	https://www.city.utsunomiya.lg.jp/city/027/cf/0000005-12-18/
栃木県	宇都宮動物園	基調講演・募集式 記念品贈呈	5月18日 13:00～15:00	元上野動物園園長小富輝之氏による動物園というメディアに関する講演会 講演会参加者に記念品贈呈	https://utsunomiya-zoo.com/
栃木県	栃木市おおひら歴史民俗資料館	記念品贈呈	5月18日	先着30名にポストカードを贈呈する	https://www.city.utsunomiya.lg.jp/city/027/cf/0000005-12-18/
茨城県	土浦市立博物館	記念品贈呈	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.city.tsukuba.lg.jp/city/027/cf/0000005-12-18/
茨城県	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.city.tsukuba.lg.jp/city/027/cf/0000005-12-18/
茨城県	徳川ミュージアム	ミュージアムトーク「徳川館長と語る燭台切光忠」	5月17日・18日 両日 11時～12時 2日 14時～15時	2015年5月18日「国際博物館の日」記念ミュージアムトークで、燭台切光忠の所蔵を公表して10年になります。再び博物館の日を記念してミュージアムトークを行います。	https://www.tokugawa.gr.jp/
埼玉県	狭山市立博物館	記念品贈呈	5月18日	先着30名について実施	https://www.city.tsukuba.lg.jp/city/027/cf/0000005-12-18/
埼玉県	SKIPシティ影の国ビジュアルプラザ 映像ミュージアム	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する 通常有料で公開しているが、今回無料とする(※～中学生まで)	https://www.skipcity.jp/vm/
埼玉県	鉄道博物館	イベント ウェブ	5月18日 4月下旬から5月上旬	国際博物館の日記念 鉄道博物館バックヤードツアー 国際博物館の日記念 鉄道博物館バックヤードツアーのイベント告知	https://www.railway-museum.jp/
埼玉県	毛呂山町歴史民俗資料館	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.city.tsukuba.lg.jp/city/027/cf/0000005-12-18/
埼玉県	坂戸市立歴史民俗資料館	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.city.sakado.lg.jp/spehki/90/
東京都	東京国立近代美術館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料とする	https://www.momat.go.jp/
東京都	目黒寄生虫館	無料公開 国際博物館の日記念「ミニ研究解説会」 【同時開催】国際生物多様性の日(5月22日)周辺開催イベント:生物多様性研究無限大-新種は見つかるいつまでも-	5月17日・18日(11時・13時・15時(仮)) 5月14日～6月1日(休館日の月曜日・火曜日を除く)	常時無料で公開している 当館研究者が自身の研究についての自慢話をご披露します(10分程度)。 目黒寄生虫館が所蔵する寄生虫標本うち、新種の発表に使われた標本(タイプ標本)を写真でご紹介。	https://www.kiseichu.org/
東京都	台東区立旧東京音楽学校奏楽堂	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.taitoebun.net/sougakudou/
東京都	朝倉彫塑館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.taitoebun.net/asakura/
東京都	日本カメラ博物館	記念品贈呈 割引入館(一般入館料のみ)	5月18日	先着5名についてオリジナルジグソーパズル贈呈 来館者全員 入館料一般300円のところ100円引きの200円で入館可	https://www.icji-cameramuseum.jp/
東京都	SOMPO美術館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にステッカー贈呈	https://www.sompo-museum.org/
東京都	品川区立品川歴史館	無料公開 記念品贈呈	5月17日・18日	全ての展示を無料で公開する 先着100名について記念品贈呈予定	https://www.city.shinagawa.lg.jp/city/027/cf/0000005-12-18/
東京都	共立女子大学博物館	無料公開 臨時開館	- 5月18日	常時無料で公開している 通常は日曜休館だが、5月18日は10時00分～16時00分で臨時開館する。	https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/museum/
東京都	港区立郷土歴史館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員に記念品を贈呈する	https://www.minato-rekishi.com/
東京都	村内美術館	記念品贈呈	5月18日	先着15名にオリジナルブックマークを贈呈	https://www.murauchi.net/museum/
東京都	切手の博物館	無料公開 ギャラリートーク 閉架図書利用料無料 豊島郵便局臨時出張所を開設し、小型印押印を実施	5月18日	全ての展示を無料で公開する 学芸員が、開催中の「民族の装い」展の解説を行います 図書室の閉架図書利用料(1日/1,000円)を無料にします 開催中の「民族の装い」展にちなんで図案の小型印(イラスト入り消印)の押印サービスを実施します	https://kitte-museum.jp/
東京都	古賀政男音楽博物館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.koga.or.jp/
東京都	永青文庫	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にポストカード贈呈	https://www.eiseibunko.com/
東京都	家具の博物館	無料公開 昭島人物紹介展「小山扶美代折々の書展」	5月2日～5月25日	全ての展示を無料で公開する 小山扶美代氏の制作当時の想いが込められた書道作品を展示する。	https://www.kaguhaku.or.jp/
東京都	郵政博物館	記念品贈呈	-	当館オリジナルノベルティ贈呈。数に限りがあるため、なくなり次第終了	https://www.postalmuseum.jp/
東京都	東京富士美術館	無料公開 記念品贈呈	5月17日 5月16日～5月18日	常時無料で公開している(土曜日は中小生のみ無料) 来館者全員にクリアファイル2枚贈呈	https://www.fuibi.or.jp/
東京都	森美術館	割引入館	5月18日	森美術館と、六本木ヒルズ展望台 東京シティビューの一般入館料を200円引きとする	https://www.mori.art-museum.jp/
東京都	日本大学芸術資料館	無料公開 記念品贈呈 開館時間の延長 無料公開	- 5月18日 5月18日 5月18日	常時無料で公開している 来館者全員にポストカードを贈呈する 通常9:30～16:30を10:00～18:00まで開館する 入館料を半額とする。高校生以下は無料。	https://www.art.nihon-u.ac.jp/
東京都	古代オリエント博物館	展示解説	5月18日 14:00～(30分程度)	研究員による展示解説「見どころトーク」を開催。今回の見どころトークでは、聴覚障害者や非日本語話者に向けた情報保障としてUDトークの導入を行う。	https://aom-tokyo.com/
東京都	東京農業大学「食と農」の博物館	無料公開 記念品贈呈	- ①4月25日～ ②5月18日～	常時無料で公開している ①先着500名に企画展「いきもの研究所の舞台裏」クリアファイル贈呈 ②先着280名に企画展「いきもの研究所の舞台裏」ラベルウォーター贈呈	https://www.nodai.ac.jp/campus/Teikoku/kyushutsu/

2025年「国際博物館の日」記念事業一覧

※予定が変更される場合がありますので、ご来館前に各館のホームページ等で実施情報をご確認ください。

2025.5.16現在

都道府県	館名	事業名	実施期間	記念事業等	URL
東京都	物流博物館	記念品贈呈	5月18日	高校生以上の入館者先着50名にテレホンカードを贈呈する	https://www.lmuse.or.jp/
東京都	台東区立書道博物館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.taitogeibun.net/shodou/
東京都	台東区立一葉記念館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://zenbunkyo.com/member?id=55
東京都	たましん美術館	無料公開	5月16日～5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.tamashinmuseum.org/
東京都	日本銀行金融研究所 貨幣博物館	ギャラリートーク	5月18日	テーマ展 10時～、14時～（所要時間20分程度） 常設展 11時～、15時～（所要時間30分程度）	https://www.imes.boj.or.jp/cm/index.html
東京都	東京ステーションギャラリー	記念品贈呈	5月17日、18日	来館者全員にロゴ入り鉛筆を贈呈する	https://www.ejrcf.or.jp/gallery/index.asp
東京都	国立新美術館	リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s～1970s 第120回記念 太平洋展 77回 三軌展 第15回 世界平和芸術家協会展 カフェテリア カレ(B1F)でのコーヒーのサービス	5月18日	先着130名様に以下の記念品をプレゼント ①展覧会オリジナルステッカー(先着30名様) ②国立新美術館ポストカード(①の配布終了後、先着100名様) 入場無料 入場無料 来場者(先着100名様)に記念品をプレゼント 来場者(先着30名様)に記念品をプレゼント 14時30分以降に食事をご注文のお客様にコーヒー1杯をサービス(カフェテリアカレのお食事メニューを店内でご利用のお客様に限りお一人につき1杯までご提供)	https://www.nact.jp/
東京都	世田谷美術館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料とする。その他以下の3分館でも	https://www.setagayaartmuseum.or.jp/
東京都	三井記念美術館	無料公開	5月18日	学生・外国人のみ入館料無料	https://www.mitsui-museum.jp/
東京都	東京家政大学博物館	記念品贈呈	5月16日～5月20日	常時無料で公開している 各日先着5名に一筆箋を贈呈する	https://www.tokyo-gai.ac.jp/academics/museum/
東京都	野球殿堂博物館	特別館内ツアー	5月18日 14:00～14:45	学芸員による、特別館内ツアー(約45分、事前申込み不要)	https://baseball-museum.or.jp/
東京都	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	記念品贈呈	5月13日～5月24日	常時無料で公開している 来館者全員にポストカードを贈呈する	https://subotitsou.ac.jp/visua-museum/index.html
東京都	武蔵野市立吉祥寺美術館	SNSでの情報発信	5月上旬	先着100名についてクリアファイル贈呈	https://www.musashino.or.jp/museum/
東京都	泉屋博古館東京	記念品贈呈	5月18日	先着20名にポストカード贈呈	https://sen-oku.or.jp/tokyo/
東京都	新宿区立新宿歴史博物館	記念品贈呈	5月18日	展示を閲覧、アンケートに記入いただいた方先着200名にクリアファイルを贈呈する	https://www.shinjuku-rikyo-museum.jp/
東京都	文化庁 国立近現代建築資料館	展覧会関連シンポジウム録画の公開	5月18日 13時～16時ころ	当館にて開催中の展覧会「日本の万国博覧会1970-2005」の関連企画として、シンポジウム「EXPO'70(大阪万博)を回想し、再考する」を開催しました。そのシンポジウムの録画を展示室前ロビーにて放映することで、シンポジウムを追体験していただき、展示内容に関する理解を深めていただきます。約一時間の録画を3回放映予定です。	https://nama.bunka.go.jp/exhibitions/2503
東京都	東京国立博物館	無料公開 国際博物館の日記念「上野の山でそうめぐり」(ツアー形式)	5月18日	常設展示のみ無料とする。その他一部展示を割引料金とする。 8:50～12:30 上野動物園の動物解説員、国立科学博物館の研究員、東京国立博物館の研究員とついに3つの施設をめぐる。 集合場所:上野動物園 東園 正門 対象:内容は小学5・6年生、中学生、高校生の方を主な対象としていますが、どなたでも参加可能 定員:30名 ※事前申込制 参加費:無料	https://www.tnm.jp/
東京都	アドミュージアム東京	記念品贈呈	5月17日	常時無料で公開している ショップでお買物いただいた先着50名様に オリジナルA5クリアファイルを贈呈する	https://www.admt.jp/
東京都	豊島区立郷土資料館	無料公開 特別開館	-	常時無料で公開している 常時無料で公開している(事前予約制) 予約無しで博物館の見学が可能(通常は予約制) 当館が登録博物館として新規登録されたことを記念し、学芸員が博物館の活動を紹介する特別解説を実施 ※参加には同日開催されるオープンキャンパスの申し込みが必須 (https://www.nvlu.ac.jp/nichijyunavi/event2025/0518/index.html)	https://www.city.koshima.lg.jp/kyouka/kyouka/kyouka.html
東京都	日本獣医生命科学大学付属博物館	学芸員による活動紹介 獣医保健看護学科 病態病理学 研究分野による特別展解説	5月18日	当館が登録博物館として新規登録されたことを記念し、現在開催中の特別展「NVLU奄美プロジェクト-研究・保全・そして未来-」に関連した特別解説を実施 ※参加には同日開催されるオープンキャンパスの申し込みが必須 (https://www.nvlu.ac.jp/nichijyunavi/event2025/0518/index.html)	https://www.mfu.ac.jp/visu/visu/visu.html
東京都	國學院大學博物館	無料公開 ミュージアムトーク	5月16日 5月16日17時～	常時無料で公開している 江戸化粧再現講座 by 紅ミュージアム	http://museum.kokugakuin.ac.jp/
千葉県	君津市立久留里城址資料館	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/54/
千葉県	千葉県立関宿城博物館	パネル展「もっと『利根川図志』」	4月15日～6月29日	『利根川図志』に描かれた流域の文化や歴史などを紹介します。	https://www.chiba-muse.or.jp/SEKIYADO/
千葉県	船橋市郷土資料館	無料公開 「国際博物館の日」記念ミニ展示「船橋の団地でくらす―「新住民」と「くらしの道具」―	5月3日～6月1日	常時無料で公開している 通史展示(常設展示)の近現代コーナーの一部で、市内の団地と設備・道具の変化に関するパネルと資料を展示。	https://www.city.fuchino.lg.jp/fuchino/kyouka/kyouka.html
千葉県	飛ノ台史跡公園博物館	無料公開 体験イベント「縄文ラボ-触れてみよう縄文のくらし-」	5月17・18日 4月26日～7月6日	通常有料で公開しているが、今回無料とする 石皿や黒曜石を使用した縄文体験や館内を巡るクイズラリー等	https://www.city.fuchino.lg.jp/fuchino/kyouka/kyouka.html
千葉県	伊能忠敬記念館	入館料割引	5月18日	一般入館料を50円引きし、大人450円、小中学生200円とする(他の割引との併用不可)	https://www.city.katori.lg.jp/sightseeing/museum/index.html
千葉県	八千代市立郷土博物館	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/81/
千葉県	白浜海洋美術館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	http://kaibiart.coocan.jp/
千葉県	日本大学理工学部科学技術史料センター	記念品贈呈	5月12日～5月31日	先着50名にロゴ入り定規を贈呈する	https://www.museum.est.nihon-u.ac.jp/
千葉県	大網白里市デジタル博物館	デジタル博物館公式Xでの情報発信 無料公開	5月12日～19日	大網白里市デジタル博物館の公式SNS(X)で「国際博物館の日」やデジタル博物館の情報発信を行う。 常時無料で公開している	https://a2ac.jp/omishirasato-city/top/
		記念品贈呈	5月31日	イベント参加者にポストカード、絵本、クリアファイルなど贈呈	

2025年「国際博物館の日」記念事業一覧

※予定が変更される場合がありますので、ご来館前に各館のホームページ等で実施情報をご確認ください。

2025.5.16現在

都道府県	館名	事業名	実施期間	内容	URL
神奈川県	明治大学平和教育登戸研究所資料館	2025年度国際博物館の日記念イベント朗読劇「ヒマラヤ杉は知っている」	5月31日11時～12時	主 催 明治大学平和教育登戸研究所資料館／グループヒマラヤ杉 朗読劇脚本・演出 吉川 由香子 会 場 明治大学生田キャンパス中央校舎6階 メディアホール	https://www.meiji.ac.jp/noborito/
神奈川県	山口蓬春記念館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にポストカードを贈呈する	https://www.hoshun.jp/
神奈川県	鎌倉市鍋木清方記念美術館	記念品贈呈	5月18日	先着50名に開館15周年記念名作集を贈呈する	https://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki/
神奈川県	ニュースパーク(日本新聞博物館)	ギャラリートーク	5月18日 11:00～、14:00～	学芸員が常設展示室を解説します。新聞は、出来事を伝えるだけでなく、その時代を映し出す資料です。近代日本と新聞の軌跡を学芸員がひもときます。	https://newspark.jp/
神奈川県	秦野市立宮永岳彦記念美術館	記念品贈呈	5月18日	先着20名にポストカードを贈呈する	http://www.shinobu-kanetsuwa-museum.jp/20250518-yakuno/
神奈川県	神奈川県立近代美術館 葉山館	無料公開 日本画コレクション再発見と片岡球子「鳥屋重三郎の浮世絵師たち」 中西夏之 光の条件	4月12日～6月29日	当館日本画コレクションから、初公開となる作品や20年ぶりに出品する作品を紹介。狩野探雪の《草花図》や小泉浮作による建長寺天井壁画下図《雲龍図》、また、片岡球子の鳥屋重三郎に関連する作品などを展示。 中西夏之は、空間と身体の関係から絵画を独自に実践した戦後日本の代表的画家。新収蔵の《紗幕孔穿》を中心に絵画の成り立ちと視座を探る展覧会。	http://www.moma.pref.kanagawa.jp/hayama
神奈川県	神奈川県立近代美術館 鎌倉別館	無料公開 木茂(もくも)先生の挿絵考	5月18日 4月26日～7月21日	全ての展示を無料で公開する 美術史家・青木茂氏の旧蔵書から、挿絵に関する作品、書籍、雑誌等約250点を紹介。	http://www.moma.pref.kanagawa.jp/arnex
神奈川県	横浜美術館	記念品贈呈	5月18日	先着100名にレターセット贈呈	https://yokohama.art-museum/
神奈川県	横浜市歴史博物館	記念品贈呈	5月18日	先着100組にポストカードを贈呈	https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/
静岡県	佐野美術館	今森光彦さん来館記念イベント ギャラリートーク&サイン会 今森光彦さん来館記念イベント 切り紙ワークショップ	5月17日14:00～ 5月18日11:00～ 5月18日 14:00～15:30	「写真展 今森光彦の地球昆虫紀行」〔令和7年(2025)4/13(日)～6/29(日)〕関連事業として、写真家・今森光彦氏のギャラリートークを実施。ギャラリートーク終了後、サイン会を実施(申込不要、要入館券)。 「写真展 今森光彦の地球昆虫紀行」関連事業として、切り絵作家としても活動する今森光彦氏を講師に、蝶や鳥、植物などをモチーフにした切り紙をつくる。	https://sanobi.or.jp/event_list/
静岡県	ふじのくに茶の都ミュージアム	企画展「近代日本から輸出されたティーカップ」	3月1日～6月16日	幕末以降、生糸やお茶と同様に日本から多くの陶磁器製品が輸出され、明治中期からは実用的な食器類が陶磁器輸出の主力となっていきました。本展では、近代日本において輸出向けに作られたティーカップ&ソーサーを中心に、流行のデザインや国内の産地、技法等を紹介しながら展示します。	https://tea-museum.jp/
静岡県	三島市郷土資料館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にポストカード贈呈	https://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyouso/
静岡県	静岡市立芹沢銈介美術館	ワークショップ「折染でブックカバーを作ろう！」 無料公開	5月18日	和紙と絵の具をつかって、折染でブックカバーを作ります。 常設展示のみ無料とする	https://www.scribi.jp/
静岡県	浜松科学館みらいーら	解説&クロストーク“面白そう”な場所を目指して～浜松科学館 展示リニューアル 記念品贈呈 国際博物館の日 特別企画「“面白そう”な場所を目指して ～浜松科学館 展示リニューアル～」	5月18日	15:20～16:30 第一部 「博物館ってどんなところ？」解説：水谷 穂波(サイエンスチーム) 第二部 クロストーク 「“面白そう”な場所を目指して～浜松科学館展示リニューアル」 辻 琢磨(合同会社辻琢磨建築企画事務所 代表) 上野 元嗣(チーフエデュケーター) ■申 込：不要 ■参加費：無料 先着30名に7色鉛筆(当館ミュージアムショップ取扱商品)贈呈(受付時間9:30～) 当館職員による博物館についての解説と、2025年3月の当館一部リニューアルに関する、更新設計を担当した建築家とプロジェクト担当職員によるクロストーク・館内ツアー。	https://www.mirai-ra.jp/
静岡県	浜松市博物館	記念品贈呈 はまはく公開フォーラム～みんなで考える博物館のミライ～	5月18日	以下の公開フォーラム参加者に蛸塚遺跡クリアファイルを贈呈する 13:30～14:00 浜松市博物館がめざすもの 鈴木 一有(浜松市博物館館長) 14:10～15:00 座談会 博物館のミライ 金 明美(静岡大学教授) 岩戸 晶子(奈良大学教授) 田中 裕二(静岡文化芸術大学准教授) 鈴木 京太郎(浜松市博物館学芸員/専門監) 15:10～15:30 常設展解説及び自由討論 ■申込：直接会場の講座室へ(先着60名 13:00～受付) ■参加料：観覧料のみでご参加いただけます 下記Webサイトの画面をご提示いただいた方にオリジナル筆箋をプレゼント ■会場：館内ミュージアムショップ(要観覧料)	https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamamatsu/
静岡県	浜松市美術館	記念品贈呈	5月18日	下記Webサイトの画面をご提示いただいた方にオリジナル筆箋をプレゼント ■会場：館内ミュージアムショップ(要観覧料)	https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/artmuse/
静岡県	浜松市楽器博物館	記念品贈呈 スペシャルギャラリートーク 音楽のまちで考える ミュージアムのこれから	5月18日	下記のギャラリートーク参加者に絵葉書を贈呈する 14:00～15:00 村野 正景(静岡大学情報社会学科准教授) 鶴田 雅之(浜松市楽器博物館館長) ■参加料：入館料のみでどなたでもご覧いただけます ミュージアムショップにて、先着30名に「絵葉書」をプレゼント(受付時間9:30～)	https://www.gakkihaku.jp/
静岡県	浜松市秋野不矩美術館	記念品贈呈 館長によるギャラリートーク	5月18日	11:00～12:00 鈴木英司館長が所蔵品展の紹介を交え、美術館に関する様々なお話をいたします。 ■参加料：観覧料のみでどなたでもご覧いただけます。 全ての展示を無料で公開する	https://www.akinofuku-museum.jp/
静岡県	島田市博物館	無料公開 こどもの日の集い	5月5日	ギャラリートークや親子で楽しめるワークショップ、クイズラリーなどのイベントを実施します。	https://www.city.shimada.shizuoka.jp/shimadaku/
静岡県	沼津市明治史料館	無料公開 そろくの日	5月18日	全ての展示を無料で公開する 沼津市発展の礎を築いた江原素六を顕彰する事業で、無料開館と江原素六を紹介する房枝楊、紙芝居を体験する催し	https://www.city.namatsubo.shizuoka.jp/tourism/shizuoka-musei/
静岡県	上原美術館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://uehara-museum.or.jp/
岐阜県	岐阜県博物館	記念品贈呈	-	岐阜県博物館オリジナルポストカードを先着150人様にプレゼント	https://www.gifu-kenpaku.jp/
岐阜県	岐阜市歴史博物館	記念品贈呈	5月18日	ポストカード贈呈(なくなり次第終了)	https://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/
愛知県	蒲郡市生命の海科学館	地質の日・国際博物館の日オンライン講演会 パージェス頁岩研究最前線!	5月10日 19:00～20:30	カナダから産出するカンブリア紀の化石について、トロント大学PhD課程在籍中の大澤泉那氏を講師としてお招きし、最新の研究についてご紹介いただきます。	https://www.city.gamagori.jp/iga/site/sapakuken/
愛知県	安城市歴史博物館	無料公開	5月18日	無料で公開する	https://ansyobunka.jp/

2025年「国際博物館の日」記念事業一覧

※予定が変更される場合がありますので、ご来館前に各館のホームページ等で実施情報をご確認ください。

2025.5.16現在

都道府県	館名	事業名	実施期間	記念事業等 内容	URL
愛知県	豊橋市自然史博物館	無料公開 「国際博物館の日」記念 新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展	4月19日～6月1日	常時無料で公開している※ただし、豊橋総合動植物公園入園料が必要 博物館に新たに収蔵された資料、学芸員の最新の研究成果を紹介します。	https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/
三重県	四日市市立博物館	無料公開 記念品贈呈	5月18日	常設展示のみ無料で公開する 先着50名にポストカード贈呈	https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/
		バックヤードツアー	5月18日 14:00～16:00	普段は入れない博物館の裏側を紹介します。	
		ベビーカーDAY	5月18日 9:30～12:00	この時間は泣いたりおしゃべりしたりしても大丈夫。幼児や赤ちゃんや展覧会や常設展、プラネタリウムをご覧になります。 (展覧会・プラネタリウムは有料)	
三重県	亀山市歴史博物館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://kamevamarekihaku.jp/
和歌山県	田辺市立美術館	「国際博物館の日」記念講演会	5月17日 14:00～	記念講演会を行う	https://www.city.tanabe.lg.jp/bijutsukan/
		「国際博物館の日」記念アーティストトーク	5月24日 10時～	アーティストトークを行う	
和歌山県	和歌山県立紀伊風土記の丘	GWモノづくり「ハニワ」、「まが玉」	5月3日～5月6日 13:30～	本館ピロティで、埴輪・勾玉制作の体験を実施する(要予約)。	https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp/
		第16回HANI-1選手権	5月11日・5月18日 13:30～	本館ピロティで、埴輪を制作し、優秀作品(ハニワ王)にエントリーする(要予約)。	
和歌山県	わかやま歴史館	無料公開	-	常時無料で公開している(小中学生対象)	http://wakayamajo.jp/tenji/index.html
和歌山県	和歌山市立博物館	無料公開	5月17日、18日	全ての展示を無料で公開する	http://www.wakayama-city-museum.jp/
和歌山県	広川町男山焼会館	無料公開	-	常時無料で公開している	http://www.kawakawa-shikagokan.jp/
和歌山県	和歌山大学紀州経済文化史研究所	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.wakayama-u.ac.jp/kiyokukan/
和歌山県	紀の川歴史民俗資料館	無料公開	-	常時無料で公開している	http://www.kiikawa-shi.jp/shi-mu-zo/
和歌山県	有田市郷土資料館	無料公開	-	常時無料で公開している	http://www.city.uta.lg.jp/shi-mu-zo/
滋賀県	滋賀県立美術館	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.shigamuseum.jp/
滋賀県	彦根城博物館	記念品贈呈	5月18日	先着100名にポストカード贈呈	https://hikone-castle-museum.jp/
滋賀県	木下美術館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.kinoshita-museum.com/
滋賀県	観峰館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://kampokan.com/
		記念品贈呈		先着10名に春季企画展作品のオリジナル缶バッジ贈呈	
滋賀県	渡来入歴史館	無料公開	5月18日	無料で公開する	https://www.t-rekiskan.com/
奈良県	奈良国立博物館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料とする	https://www.narahaku.go.jp/
奈良県	歴史に憩う橿原市博物館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にシールを贈呈する	http://www.city.ogaki.nara.jp/museum/
大阪府	柏原市立歴史資料館	無料公開	5月18日	常時無料で公開している	http://www.city.hashihara.osaka.jp/docs/201408180065/
		記念品贈呈		来館者全員にミュージアムグッズ贈呈	
大阪府	歴史館 いずみさの	無料公開	5月24日 11:00～15:00 (12:00～13:00は休憩)	常時無料で公開している	https://www.ocoh.or.jp/?a=event/izumisano/
		歴史館ワークショップ「ポスターで紙袋づくり」		展示会が閉幕し掲示が終了したポスターを使って紙袋を作ります。当日先着順・材料がなくなり次第終了	
大阪府	国立民族学博物館	記念品贈呈	5月18日	先着100名にきせかえポストカードを贈呈	https://www.minpaku.ac.jp/
大阪府	和泉市久保忠記念美術館	記念品贈呈	5月18日	先着200名について絵葉書(5枚セット)贈呈	https://www.ikm-art.jp/
京都府	京都工芸繊維大学美術工芸資料館	無料公開	5月17日	全ての展示を無料で公開する	https://www.museum.kit.ac.jp/
京都府	城陽市歴史民俗資料館	無料公開	5月18日	無料で公開する	http://www.city.hiogo.jp/about/hbmv/museum/
京都府	京都市市民防災センター	無料公開	-	常時無料で公開している	https://kyotobousai-c.com/
京都府	鞍馬山霊峰殿(鞍馬山博物館)	記念品贈呈	5月18日	来館者全員に散華5枚組贈呈	https://www.kuramadera.org/rehoden.html
京都府	京都国立近代美術館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料で公開する	https://www.momak.go.jp/
京都府	立命館大学国際平和ミュージアム	無料公開	5月17日	全ての展示を無料で公開する	https://rwp-museum.jp/
京都府	京都国立博物館	記念品贈呈	5月18日	先着150名に当館公式キャラクター「トラりん」のノベルティを配布する	https://www.kyohaku.go.jp/ip/
京都府	古典の日記念 京都市平安京創生館	無料公開	-	常時無料で公開している	https://heiankyoosusokan.city.yz.jp/index.html
京都府	京都市文化財建造物保存技術研修センター	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.shaijvane-japan.org/
京都府	半兵衛塾 お辨當箱博物館	無料公開	-	常時無料で公開している	https://www.hanbey.co.jp/about/hanbey-museum/
京都府	清水三年坂美術館	SNSでの発信	5月18日	X・Instagram・Facebookで「国際博物館の日」について発信	https://sannenzaka-museum.co.jp/
京都府	虎屋京都ギャラリー	無料公開	-	常時無料で公開している (※展示期間中のみ開館)	http://www.tora-ya.com/kyoto/kyoto-shiyou-jin-jou-ji/
京都府	武田薬品 京都薬用植物園	記念品贈呈	4月5日、4月22日、 4月24日、5月17日	来館者全員に冊子の贈呈	https://www.takeda.co.jp/kyoto/
京都府	同志社大学歴史資料館	無料公開	-	常時無料で公開している ※土日祝、5/1、5/2は休館	https://hmuseum.doshisha.ac.jp/
京都府	向日市文化資料館	無料公開	5月18日・5月25日 いずれも10:30～12:00	常時無料で公開している	https://www.city.muko-kyoto.jp/kurashi/bunka/
		歴史講座「向日市・乙訓の漢文石碑をよう」		テーマ展「向日市・乙訓の石碑 partⅡ」(会期:4月12日～7月6日)の関連事業として実施します。江戸時代から明治・大正期の石碑・墓碑には、漢文が刻まれたものが多く残されており、石に刻まれた文字から、日本における漢文のひろがりや歴史について学ぶ連続講座です。※事前申込要、定員40人講師:金文京さん(京都大学名誉教授)	
京都府	天然硯石館	無料公開	5月中	常時無料で公開している	https://www.tennentoishikan.com/en/
京都府	京都府立堂本印象美術館	記念品贈呈	5月18日	入館者全員にステッカーをプレゼント	https://insho-domoto.com/
兵庫県	但馬牛(たじまうし)博物館	無料公開	4月から10月 5月18日 13:00～	常時無料で公開している	https://www.tajimabokuju.jp/?page_id=3
		記念品贈呈		スタンプラリー達成者にメモ帳、茶、シール他贈呈	
		但馬牛クイズ大会		〇×クイズ形式の但馬牛クイズ大会を実施。正解数の多い方には豪華景品進呈。参加賞もあり	
兵庫県	姫路市立美術館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料とする	https://www.city.himeji.lg.jp/art/
		大阪・関西万博記念事業「高田賢三展 バリに燃ゆ、永遠の革命児」	4月12日～7月21日	姫路に生まれ、パリで花開き世界へと躍進した、日本のファッションデザイナーのバイオニア・高田賢三の原点と人物像に迫る、没後初の大規模回顧展。	
兵庫県	姫路文学館	無料公開 記念品贈呈 常設展ガイド	5月18日	常設展示のみ無料とする クイズラリー参加者に記念品贈呈 ボランティアガイドによる常設展ガイド・説明	http://www.himejibungakukan.jp/
兵庫県	小野市立好古館	無料公開	-	全ての展示を無料で公開する	http://www.city.ono.hyogo.ac.jp/shiyou-jin-jou-ji/
兵庫県	兵庫県立大学天文科学センター	無料公開	4月26日～27日、29日 5月3日～6日	常時無料で公開している	http://www.nhao.jp/
		昼間の星と太陽の観察会		天文台の太陽専用望遠鏡や60cm望遠鏡を使用して、太陽の黒点や、昼間の一等星などの観察をご案内する。	
		五月夜の星祭	5月4日	天文講演会「隕石から太陽系の歴史を学ぶ」 講師:山下勝行氏(岡山大学)。大観望会(当日配布する整理券番号の順に、参加希望者全員が参加できる2m望遠鏡による夜間観望会)など。	
		無料公開	5月17日、18日	全ての展示を無料で公開する	

2025年「国際博物館の日」記念事業一覧

※予定が変更される場合がありますので、ご来館前に各館のホームページ等で実施情報をご確認ください。

2025.5.16現在

都道府県	館名	事業名	実施期間	内容	URL
兵庫県	たつの市立龍野歴史文化資料館	企画展「稀代の大名 脇坂安治」	5月17日～6月29日 9時00分～17時(入館は16時30分まで)	脇坂家藩祖安治の没後400年の節目の2025年、初公開資料を含む脇坂家の貴重な資料を紹介します。	https://www.city.tatsuno.lg.jp/ekibun/top.html
兵庫県	霞城館・矢野勘治記念館	無料公開 企画展「郷愁のたつと西播磨の風景―須飼秀和 絵画展―」	5月17日、18日 4月5日～5月25日 9時30分～17時(入館は16時30分まで)	全ての展示を無料で公開する 明石市生まれの須飼氏の、ふるさとの郷愁をテーマにした温かみのある作品を紹介します。	https://www.kaioukan.jp/
兵庫県	うすくち龍野醤油資料館	無料公開	5月17日、18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.kanemitsu.co.jp/kyouso/museum/museum01.html
兵庫県	神戸市立森林植物園	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.kobe-park.or.jp/shinrin/
兵庫県	神戸市立博物館	無料公開	5月18日	コレクション展示のみ無料とする	https://www.kobecitymuseum.jp/
兵庫県	兵庫県立美術館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料とする	https://www.artm.pref.hyogo.jp/
兵庫県	竹中木工道具館	無料公開	5月20日	全ての展示を無料で公開する	https://www.doujukan.jp/
兵庫県	三木美術館	無料公開 記念品贈呈	5月18日 5月1日～5月18日	全ての展示を無料で公開する 各日10名にオリジナルポストカード贈呈	https://www.miki-m.jp/
兵庫県	神戸ゆかり美術館	記念品贈呈 無料公開	5月18日 5月16日	先着30名に当館オリジナルポストカード贈呈 常時無料で公開している	http://www.city.kobe.lg.jp/kobe-hyaka-hyokan/kyoukaikan/index.html
兵庫県	神戸大学海事博物館	記念品贈呈 企画展・巡回展の開催		来館者全員にポストカード贈呈 「神戸からの船出」企画展の公開(最終日)、巡回展(神戸大学六甲台キャンパス)、5/16同日に開催中。	http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/
兵庫県	白鶴美術館	記念品贈呈	5月18日	ポストカード贈呈	https://www.hakutsuru-museum.org/
兵庫県	赤穂市立有年考古館	無料公開	-	常時無料で公開している	http://www.city.hiroshima.lg.jp/hiroshima-university/index.html
兵庫県	切手文化博物館	記念品贈呈	5月18日	切手カタログを贈呈する(数量限定)	https://www.kitte-museum-arima.jp/
岡山県	岡山県立美術館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料で公開する	https://okayama-kenbi.info/
岡山県	おかでんチャギントンミュージアム	記念品贈呈	5月18日	先着10名にレジャーシートプレゼント	https://www.okayama-ids.co.jp/digitalmuseum/index.html
岡山県	つやま自然のふしぎ館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にポストカード贈呈	http://www.fushigikan.jp/
岡山県	夢二郷土美術館	記念品贈呈	5月18日	先着30名にポストカードを贈呈	https://yumeji-art-museum.com/
岡山県	岡山市立オリエント美術館	記念品贈呈		先着50名に記念シールを贈呈	https://www.city.okayama.jp/orientmuseum/
徳島県	松茂町歴史民俗資料館 人形浄瑠璃芝居資料館	無料公開 記念品贈呈	- 5月18日	常時無料で公開している 来館者全員に粗品を進呈する	https://www.town.otsuoka.lg.jp/otsuoka-museum/2018/11/20084/
鳥取県	鳥取市歴史博物館	無料公開 展覧会 ギュンター・ツォーン写真展 風紋 移りゆく風景 Ripples of Sand A Landscape That Never Rests 占領期の鳥取を学ぶ会 (鳥取市歴史博物館・鳥取県立公文書館共同事業)	5月17日・18日 4月26日～6月1日 4月19日・5月17日・6月21日ほか12回	全ての展示を無料で公開する ドイツ人写真家であるギュンター・ツォーン氏の写真展。鳥取砂丘の風景などを撮影した写真を、因州和紙に印刷した作品を展示します。	https://www.tbz.or.jp/yamabikokan/
島根県	島根県立古代出雲歴史博物館	記念品贈呈 歴博バックヤードツアー	5月18日 5月18日10:00～、14:00～ ※約1時間、各回定員10名程度	イベント参加者にポストカード、シール、ボールペンの贈呈 学芸員によるバックヤードの案内 事前予約制(電話のみ) 参加費無料	https://www.izm.ed.jp/
山口県	山口大学埋蔵文化財資料館	無料公開 記念品贈呈	5月18日	アンケート調査協力者対象先着100名にオリジナル付箋の贈呈	https://yuan.ou.yamaguchi-u.ac.jp/Shirayukan/home/
山口県	山口県立山口博物館	記念品贈呈 教育普及講座(歴史探訪)	5月18日 10:00～12:00	来館者全員にカンパッチ(予定)を贈呈する 江戸時代の古地図を片手に歴史の道や史跡を探訪する	https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/
山口県	下関市立美術館	記念品贈呈 無料公開	5月18日 5月18日	先着50名にポストカードを贈呈する 全ての展示を無料で公開しギャラリートークも行う	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/
愛媛県	宇和島市立伊達博物館	令和7年度宇和島伊達家コレクション展① 村壽ものがたり～6代藩主とその時代～【展示】 令和7年度GW特別展 集え、兜！―端午の節句に楽しむ兜の魅力―【展示】	4月26日～10月6日 4月26日～5月26日	伊達村壽は30年以上藩主として藩政を主導しましたが、人物像や功績についてあまり知られていません。本展では、数少ない資料より村壽の生涯や事績を紹介します。 端午の節句で飾られる兜にちなみ、宇和島伊達家伝来の兜を中心に展示します。	https://www.city.yuwa.mie.jp/site/datehai-museum/
愛媛県	愛媛県美術館	無料公開	5月18日	常設展示のみ無料で公開する	https://www.ehime-art.jp/
福岡県	大野城心のふるさと館	無料公開 令和7年度春季特別展「映画『もののけ姫』から学ぶ考古学」	- 4月26日～6月15日	常時無料で公開している 国際博物館の日(5月18日)は特別展観覧料を無料にする	https://www.onoio-occm.jp/
福岡県	太宰府市文化ふれあい館	無料公開 記念品贈呈	- 5月17日～5月25日	常時無料で公開している 常設展示のみ無料で公開する	https://dazaifu-bunka.or.jp/
福岡県	福岡市美術館	福岡ミュージアムウィーク講演会「鉛・埃・記憶―作品の『保存修復』がめざすもの」 福岡ミュージアムウィークつきなみ講座スペシャル「九州の古陶に魅せられた田中丸善八の眼」 福岡ミュージアムウィークボランティアによるギャラリーツアー 福岡ミュージアムウィーク初めてのベビーカーツアー 福岡ミュージアムウィーク建築ツアー	5月17日 14時～16時 (13時30分開場) 5月18日 15時00分～16時 (14時30分開場) 5月17日～5月25日※5月19日(月)を除く。 11時～、14時～(各回40分程度) 5月21日、22日 10時00分～10時40分 5月24日 10時30分～12時00分	絵画修復士であり、保存修復史の研究者でもある田口かおり氏を講師に、美術作品の保存修復の技法や理論について、収蔵作品にも触れつつ講演いただきます。 開催中の展覧会をテーマに、九州古陶磁の収集家であった田中丸善八について、古陶磁に興味を持つきっかけや実際に「うつわ、として用いる様子を紹介。田中丸コレクション・学芸員の久保山炎氏に講演いただきます。 当館所蔵作品3点を、参加者と対話をしながら鑑賞するツアーです。ギャラリーガイドボランティアが実施します。 小さな子どもとその保護者を対象に、美術館の作品を見て楽しむ方法や館内の設備について紹介します。 前川園男設計の福岡市美術館の建築を鑑賞するツアーです。	https://www.fukuoka-art-museum.jp/
福岡県	古賀政男記念館	無料公開	5月18日	全ての展示を無料で公開する	http://www.kumin.ne.jp/kinenkan/
佐賀県	中富記念くすり博物館	知識で大人の脳を健康に！「人くすりの歩み」講演 クイズ！薬草サバイバル	5月18日 10:30～11:00 5月18日 ①13:30～14:00 ②14:30～15:00	歴史の中に登場するさまざまな病と、医者や学者らの知恵と努力。「病」と「人」そして「くすり」が歩んできた歴史を学芸員が解説。高校生以上対象。 身近なものから珍しい植物まで「これって、薬草？毒草？」と考えながらクイズに答える。中学生以下対象。	https://nakatomi-museum.or.jp/
長崎県	諫早市美術・歴史館	無料公開	5月17日、18日	全ての展示を無料で公開する	https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/site/kenrei/
熊本県	熊本県立装飾古墳館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にミニクリアファイル、ティッシュ、シール、有料入館者に勾玉キット贈呈	https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/
大分県	大分香りの博物館	記念品贈呈	5月18日	来館者全員にポストカード贈呈	http://oita-kaori.jp/
大分県	大分県立美術館	記念品贈呈	5月18日	企画展入場者全員にポストカード贈呈	https://www.opam.jp/

2025年「国際博物館の日」記念事業一覧

※予定が変更される場合がありますので、ご来館前に各館のホームページ等で実施情報をご確認ください。

2025.5.16現在

都道府県	館名	記念事業等		
		事業名	実施期間	内容
大分県	竹田市歴史文化館	記念品贈呈	5月17日、18日	受付で国際博物館の日と言った方にオリジナルステッカー3種類を贈呈する
鹿児島県	鹿児島県歴史・美術センター黎明館	企画展「新収蔵品展」展示解説	5月24日	歴史、民俗、美術・工芸の各分野から近年収蔵した資料や未公開資料を展示した企画展を開催中。展示資料について、各担当者が解説を行う。
沖縄県	沖縄県立博物館・美術館	無料公開	5月18日	常設展のみ無料で公開する
		ふれあい体験室ワークショップ「沖縄の染め織りもようのデザイン」	5月17日、5月24日 10:00～12:00	沖縄の染物「紅型(びんがた)」や織物「絣(かすり)」には、鳥や花などいろいろな模様が使われていることが分かります。紅型や絣の模様、デザインについて考えながら、スタンプでオリジナルバッグを作ってみよう！ https://okimu.jp/event/1741510634/
		ゴールデンウィークのおきみゅーは、「なにこれ！？」「やってみよう！」がもりだくさん！おきみゅーのゴールデンウィーク2025	5月3日～5月5日 10:00～12:00 13:30～16:00	おりがみや廃材を使った工作教室や万国津梁の鐘のひみつに迫るイベントを実施します。
		博物館学芸員講座(人類)「柳田國男生誕150年 海上の道を考える」	5月10日	柳田國男による「海上の道」の仮説について考える講座を開催します。
		博物館文化講座(歴史)「近世琉球における抜荷ー17世紀末から18世紀初めの時期を中心にしてー」	5月17日	琉球口、薩摩口の抜荷を追跡し、近世琉球の民衆像の一端に触れる講座を開催します。
沖縄県	沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館	無料公開	—	常時無料で公開している
沖縄県	中城村護佐丸歴史資料図書館	無料公開	—	常時無料で公開している

第73回全国博物館大会の開催について

会期： 令和7年11月19日（水）～21日（金）

会場： 大阪中央公会堂 主会場・分科会場
大阪府立中之島図書館 分科会場

テーマ： 「持続可能な世界と博物館の発展 ～未来・社会・ウェルビーイングに
貢献する博物館～」

主催： 公益財団法人日本博物館協会

共催： 地方独立行政法人大阪市博物館機構

後援： 大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会（いずれも予定）

日程（予定）：

11月19日（水）

13:00～14:15 開会式

表彰式（日本博物館協会賞、棚橋賞、博物館活動奨励賞他）

14:20～15:00 基調講演

15:10～16:30 全国博物館フォーラム

16:40～17:40 出展ブースプレゼンテーション

17:40～18:00 （未定）

18:30～20:00 情報交換会

注：博物館功労者顕彰式は、1号顕彰については11月19日（水）午前に実施する。

11月20日（木）

9:30～12:00 分科会

14:00～16:00 シンポジウム

16:15～16:45 全体会議

16:45～ 閉会式

11月21日（金）

終日 施設見学・エクスカージョン

博物館関係団体の概要

団体名		ICOM 日本委員会
代表者職名・氏名		委員長 青柳 正規
所在地		〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-52 黒田記念館別館3階 公益財団法人日本博物館協会 内
電話番号		03-5832-9108
ホームページアドレス		http://www.j-muse.or.jp/icom/ja/
連絡窓口	氏名	半田 昌之
	役職名	事務局長
	電話番号	03-5832-9108
	E-mail	icom@j-muse.or.jp

○団体概要

ICOM(International Council of Museums;国際博物館会議)は、1947 年に創設された国際的な非政府機関である。世界 129 カ国(地域を含む)から参加があり、このうちの 120 の国と地域では National Committees(国内委員会)が組織されている。また、様々な専門分野ごとに 34 の International Committee(国際委員会)が設置されている(2024 年 7 月時点)。

ICOM 日本委員会は、ICOM 規約に従い、その目的達成とともに、国内における会員の諸活動の向上に資することを目的として、1951 年に設立された。ICOM 本部との連絡や本部事業への参画、国際的な博物館情報の発信、関連する他の国際機構への協力などの活動を行っている。令和 7 年 3 月末の会員数は、個人会員 684 名、団体会員 60 団体である。

○令和 7 年度事業について（研修，調査研究，行事，普及啓発等）

国際博物館の日

ICOM が定める「国際博物館の日」である 5 月 18 日を中心に、日本博物館協会とともに国内の博物館に対し広く周知を行い、各館で無料公開や関連イベントの開催などの記念事業の実施を要請する。また、5 月 18 日には東京国立博物館(東京)で記念シンポジウムを開催し、後日 YouTube による録画配信を行う。

新博物館定義の周知、ICOM 倫理規程改定への対応、関連国際会議等の日本国内での開催の支援

新博物館定義について、引き続き国内での周知に努めるとともに、進行中の ICOM 倫理規程の改定に参画しつつ情報共有を図り、国際的な博物館動向を視野に入れた国内の博物館制度の充実に資する。

国際自然史標本保全学会と生物多様性情報標準化委員会の合同大会（SPNCH-TSWG2024 沖縄大会、9 月 2 日～6 日開催）等について、国内会員はじめ国内の博物館関係者等への周知を図る。

公式ウェブサイトと Facebook 等による情報発信

ICOM 全体の情報共有をはじめ、国内の活動紹介や会員からの寄稿の掲載等を日英 2 か国語で発信するほか、会員優遇施設も公開するなど、積極的な情報発信を継続する。

団体名		公益財団法人日本博物館協会
代表者職名・氏名		会長 山梨 絵美子
所在地		〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-52 黒田記念館別館3階
電話番号		03-5832-9108
ホームページアドレス		http://www.j-muse.or.jp/
連絡窓口	氏名	但馬 敏郎
	役職名	総務部長
	電話番号	03-5832-9108
	E-mail	webmaster@j-muse.or.jp
○団体概要 昭和3年、昭和天皇のご即位を記念して、学会・政界・財界からの代表22名によって、博物館事業促進会として設立。その後、昭和6年、日本博物館協会と名称変更、昭和15年文部省の許可を得て社団法人となり、さらに昭和61年、財団法人に改組、平成25年4月、公益財団法人に移行して現在に至る。 博物館の振興に関する諸事業の実施を通じて、博物館の健全な発達を図り、もって社会教育の進展に資するとともに、我が国の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動している。		
○令和7年度事業について（普及啓発、支援、調査研究、資質向上、国際交流、その他） 博物館の普及啓発に関する事業 全国博物館大会の開催、「博物館研究」の刊行、全国博物館長会議の開催等 博物館に対する支援に関する事業 博物館利用支援機器の支給、災害支援事業の実施等 博物館に関する調査研究及び情報の収集・提供に関する事業 博物館総合調査の実施、課題設定による調査研究、博物館に関する情報提供、新登録制度推進事業の受託等 博物館関係者の資質向上に関する事業 研究協議会・シンポジウムの開催、顕彰事業、美術品梱包輸送技能取得士認定試験の実施等 博物館の国際交流に関する事業 国際博物館会議（ICOM）事務局としての国際交流、「国際博物館の日」の事業実施、国際動向の発信等 その他の当協会の目的を達成するために必要な事業 各地区単位の博物館会議に職員派遣・情報提供、他の館種組織・関係機関との連携等		

団体名		公益社団法人日本動物園水族館協会
代表者職名・氏名		会 長 村田 浩一
所在地		〒110-8567 東京都台東区台東4丁目 23-10 ヴェラハイツ御徒町 402
電話番号		03-3837-0211
ホームページアドレス		http://www.jaza.jp/
連絡窓口	氏名	永井 清
	役職名	事務局長
	電話番号	03-3837-0211
	E-mail	nagai@jaza.jp

○団体概要

国内の主要 91 動物園と 49 水族館(令和7年3月末現在)の園館長を会員とする組織で、動物園水族館の振興及び文化の発展・科学技術の振興・自然環境の保全に貢献し、人と自然が共生する社会の実現に寄与することを目的としている。日本全体を視野に個々の動物園水族館では対応出来ない事業を行っている。希少種の血統登録と繁殖を推進する生息域外保全活動を国内外の園館と連携しながら行うほか、飼育・教育スタッフのレベルアップと野生動物のメッセージを伝える教育普及活動を重視して事業を行っている。

○令和7年度事業について（調査研究、教育普及、種保存・支援）

第1. 調査研究・連絡

- (1) 宿題調査(テーマ調査)、助成事業、動物園水族館雑誌、年報などの発行
- (2) 各種研究会研修会の開催(動物園、水族館ごとに全国規模の開催、講習会)
- (3) 安全対策、災害対策、感染症対策調査・連絡など危機管理に対応したネットワーク

第2. 教育活動・普及啓発等

- (1) 参加型教育研修会(ワークショップ)の開催
- (2) 飼育技師資格認定試験の実施、上級飼育技師資格認定試験の実施
- (3) 動物愛護に関する標語コンクール等

第3. 種の保存に関する事業

- (1) 環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づく事業
- (2) 種保存会議、個体群管理研修などの開催
- (3) 希少動物繁殖計画、配偶子バンクなど
- (4) 環境省、経済産業省からの受託事業(保護増殖、CITES 保護動物飼育など)

団体名		公益社団法人日本植物園協会
代表者職名・氏名		会長 西川 綾子（水戸市植物公園 園長）
所在地		〒114-0014 東京都北区田端1丁目15番11号ティーハイムアサカ201
電話番号		03-5685-1431
ホームページアドレス		https://jabg.or.jp/
連絡窓口	氏名	皆川 有美
	役職名	事務局長
	電話番号	03-5685-1431
	E-mail	minakawa@jabg.or.jp
○団体概要 全国的な植物園ネットワークを通じて、植物園や植物に関する文化の発展と科学技術の振興、自然環境の保全に貢献する事業を実施し、人類と自然が共生する豊かで持続的な社会の実現に寄与することを目的として活動している。昭和22年創設の任意団体日本植物園協会を礎に発足、昭和41年に社団法人、平成25年に公益社団法人に移行。平成28年より秋篠宮殿下が総裁に就任。日本の主な植物園と植物園・植物に関する事業を行う団体や法人118が加盟（令和7年5月）している。		
○令和7年度事業について（研修、調査研究、行事、普及啓発等） <u>1. 調査研究、学術文化振興に関する事業</u> ○第60回大会総会、研究発表会（5/27-29 浜松市/はままつフラワーパーク）○日本植物園協会誌60号 ○植物研究会／技術者講習会（北里大学薬用植物園・咲くやこの花館） ○分野別会議（大阪公大・越前町立福井総合植物園・小田急山のホテル・崇城大学薬用植物園） <u>2. 生物多様性・植物保全等に関する事業</u> ○植物多様性2030年目標公開／ネイチャーポジティブ宣言 ○絶滅危惧植物の保有状況調査結果報告 ○オガサワラグワ保全共同事業 ○植物情報システム（データベース）整備運用 ○外来種対策の広報 ○種苗交換事業 ○植物多様性保全拠点園ネットワーク事業（種子等採取、調査、地域ごとの連絡会議） ○種子保存等に関するオンラインフォーラム ○ナショナルコレクション事業（認定、情報交換等） ○ワシントン条約に基づく寄託管理業務（経産省） ○希少野生植物の生息域外保全委託業務（環境省） <u>3. 教育・普及啓発に関する事業</u> ○日本植物園協会60周年事業の実施「テーマ：もっとつながる植物園に」 ○植物園シンポジウム「日本の植物遺産 伝統園芸と植物園（11月 神代植物公園/オンライン配信）」 ○教育普及ワークショップ ○植物園オンラインツアー〈テーマごとに植物園の動画を公開〉 ○薬草ガイド頒布 ○協会表彰（植物園功労賞、木村賞、坂崎奨励賞、保全・栽培技術賞、特別賞） ○「植物園の日」広報〈当協会ではH19より5月4日みどりの日を「植物園の日」としている〉		

団 体 名		一般社団法人全国美術館会議
代表者職名・氏名		東京ステーションギャラリー 館長 富田 章
所 在 地		〒102-0082 東京都千代田区一番町6-3-103
電 話 番 号		03-6272-8555
ホームページアドレス		https://www.zenbi.jp
連絡窓口	氏名	小林豊子
	役職名	事務局 総務幹事
	電話番号	03-6272-8555
	E-mail	info@zenbi.jp
○団体概要 美術館は、美術作品やそれに関わる資料・情報を集め、保存し、研究し、公開しながら、未来の世代に伝えていくという使命をもっています。また、コレクションの展示や、特別展、教育普及活動をはじめとするさまざまな営みを通じて、地域社会と連携し、市民と交流しながら文化創造の拠点となる役割も担っています。 全国美術館会議は、このような美術館の使命の実現を支え、その活動を社会的にしっかり根付かせるため、総会、総会記念フォーラム、講演会、学芸員研修会、研究部会等を毎年、開催し、その成果を会員館や広く美術関係者、また、一般の方々と共有しようと考えています。 日本の美術館がともに考え、ともに行動することをめざして、1952(昭和27)年に設立された本会は、令和2年4月1日付で一般社団法人となり、令和7年6月6日現在で、正会員(会員館)419館(国立14館、公立261館、私立144館)、個人会員53名、賛助会員64社で組織されています。		
○令和7年度事業について（研修，調査研究，行事，普及啓発等） 1 研修 ・学芸員研修会(企画:研究部会持ち回り企画) 2 調査研究 ・研究部会(会合:各研究部会年2回程度) 会員美術館の学芸部門職員の中で、同じ業務を担当する者・同じ分野に関心を払う者同士が集まり、問題意識を共有しながら、共同研究、情報交換、研修会の企画実施等を行います。 企画委員会のもと6研究部会で構成され、所属館での日常業務の合間をぬい、積極的な活動が展開されています。全国美術館会議が、日本の美術館が集まる唯一、最大の連合組織であるために果たすべき社会への責任は、現在、こうした研究部会の日々の活動に基盤をおいていると考えています。 ①保存研究部会 ②教育普及研究部会 ③情報・資料研究部会 ④小規模館研究部会 ⑤美術館運営研究部会 ⑥地域美術研究部会 3 行事 ・理事会(第1回:令和7年4月30日開催、第2回:令和7年6月4日、第3回:令和8年1月下旬開催予定) ・総会(令和7年6月4日、5日開催(開催地:大分県大分市)) 4 普及啓発等 ・川崎市市民ミュージアム・能登半島地震支援活動、東日本大震災復興支援・救援活動(災害対策委員会) ・機関誌発行(年2回)(広報委員会)		

団体名		美術館連絡協議会
代表者職名・氏名		会長 宮田亮平
所在地		〒100-8055 東京都千代田区大手町 1-7-1 (読売新聞東京本社事業局内)
電話番号		03-3216-8664
ホームページアドレス		http://birenkyo.jp/
連絡窓口	氏名	川村康則
	役職名	事務局長
	電話番号	03-3216-8664 (美連協代表電話)
	E-mail	jaam@yomiuri.com
○団体概要 全国 47 都道府県の公立美術館 149 館が加盟。加盟館による共同企画展、巡回展の開催、美術館活動の助成などを実施。1982 年 12 月創立。		
○令和 7 年度事業について（研修，調査研究，行事，普及啓発等） ▽ 展覧会の共同企画、巡回展開催等		

団体名		全国科学博物館協議会
代表者職名・氏名		理事長 篠田 謙一
所在地		〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20 国立科学博物館内
電話番号		03-5814-9171
ホームページアドレス		https://jcsn.jp/
連絡窓口	氏名	中山 美樹
	役職名	広報・連携課係長(連携担当)
	電話番号	03-5814-9171
	E-mail	info@jcsn.jp
○団体概要 自然史及び理工系の科学博物館(総合博物館を含む), 科学館, 動物園, 水族館, 植物園, プラネタリウム等が相互の連絡協調を密にし, 博物館事業の振興に寄与することを目的として, 昭和 46 年(1971 年)に発足。令和7年 5 月現在で, 全国 215 の博物館, 科学館等が正会員として加盟, また博物館等の展示・施設・機器に関わる企業等 20 社が維持会員として加盟している。		
○令和7年度事業について(研修, 調査研究, 行事, 普及啓発等) (1)研修事業 ①学芸員専門研修アドバンス・コース: 国立科学博物館との共催により, 機械資料を収蔵している博物館等の中堅学芸員等専門職員 10 名程度を対象として令和7年 11 月に実施予定。 ②オンライン学芸員専門研修の実施: 国立科学博物館との共催により, 博物館等で自然科学系部門を担当する学芸員及び職員等 50 名程度を対象として令和8年1~3月頃に実施予定。 (2)連携促進事業 ①研究発表大会: 令和8年 2 月に開催予定。会場は国立科学博物館筑波地区。 ②巡回展の実施協力: 国立科学博物館製作の巡回展「キモかわすごい! 海の骨なしどうぶつの世界」をはじめ計 23 件の巡回展の募集に協力。 ③事業に対する後援など: 加盟館園や関係機関が実施する事業で全科協の設置目的に適合し適切と認められる事業に対し後援等を行う。 (3)広報普及事業 機関誌「全科協ニュース」の発行, ホームページの運営など。		

団体名		全国科学館連携協議会
代表者職名・氏名		会長 毛利 衛
所在地		〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-6 日本科学未来館内
電話番号		03-3570-9151(日本科学未来館)
ホームページアドレス		https://www.renkeikyo.jp/
連絡窓口	氏名	新村 友里
	役職名	事務局（日本科学未来館 科学コミュニケーション室）
	電話番号	03-3570-9151(日本科学未来館)
	E-mail	renkeikyo@jst.go.jp
○団体概要 全国科学館連携協議会（連携協）は、地域における科学技術普及の拠点である科学館等の連携促進を図り、科学館事業の振興に寄与することを目的として平成 5 年に設立された。全国 187 の科学館等が加盟（令和 6 年度終了時点）。正会員、協力会員、協賛会員で構成されている。年会費は 10,000 円。		
○令和 7 年度事業について <展示物の貸出> 加盟館や研究機関等と連携し、様々な展示物の加盟館への貸出やデータ提供を実施。（令和 6 年度は 20 種類の展示の貸出等を実施）。 <ブロック活動の推進> 全国 8 ブロックを構成し、ブロックごとに協力して相互に補完・啓発を行い、地域に根ざした活動を実施。 〔ブロック構成〕 北海道ブロック、東北ブロック、北信越ブロック、関東ブロック、東海ブロック、近畿ブロック、中四国ブロック、九州ブロック <科学館職員研修> 国内科学館研修（オンライン含）、海外視察研修の実施。 先進的な取り組みの調査や加盟館の職員同士のコミュニケーションを促進。 <相互人材交流> 館の垣根を越えた相互人材交流を実施し、各加盟館がもつノウハウやスキルを学び合う機会を創出。 <新規貸出展示物制作への助成> 貸出展示の更なる活性化を目指し、加盟館等による展示物制作を助成。 <協賛物品等の提供> 企業からの協賛を得て加盟館にイベント素材の提供等を実施。		

団体名		日本プラネタリウム協議会
代表者職名・氏名		理事長 渡部 義弥（大阪市立科学館、2024 年 7 月から 2026 年 6 月まで）
所在地		〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目17-1 名古屋市科学館内
電話番号		052-201-4486
ホームページアドレス		https://planetarium.jp
連絡窓口	氏名	原 秀夫
	役職名	総務担当理事
	電話番号	028-659-5555（栃木県子ども総合科学館）
	E-mail	general01@planetarium.jp
○団体概要 日本プラネタリウム協議会は「会員の交流と連携のもとに、プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育及び天文普及に寄与すること」を目的として、2006年6月1日に発足しました。プラネタリウム施設・団体、およびそれに関わる個人等が参加する「日本を代表するプラネタリウムの会」です。会員数は、およそ300団体・個人です。 様々な研究会・研修会や交流を通し、それぞれの施設や職員の資質の向上、プラネタリウム界のさらなる発展を目指しています。		
○令和7年度事業について（研修，調査研究，行事，普及啓発等） ・全国大会 2025 年 6 月 16 日（月）～18 日（水） 大阪市立科学館（大阪府大阪市） ・全国研修会 2025 年 11 月 17 日（月）～19 日（水） 仙台市天文台（宮城県仙台市） ・地域や目的別のワーキンググループが国内各地で研修会・研究会等を開催 ・会誌の発行（1回） ・全国のプラネタリウム施設について、基礎データの収集と処理を行い、結果を公表する。 ・日本を代表するプラネタリウム組織として、文化庁、博物館団体、研究機関等との連携を進める。 ・国際プラネタリウム協会（IPS）の友好団体として、2026年のIPS福岡大会の開催協力ほか、国際的な連携活動を行う。 ・2023年～2025年の近代プラネタリウム100周年記念事業を行う。		

団体名		全国大学博物館学講座協議会
代表者職名・氏名		委員長 駒見和夫
所在地		〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学 資格課程事務室内
電話番号		03-5466-0268
ホームページアドレス		https://zenhakukyo.org/index.html
連絡窓口	氏名	関根寿枝
	役職名	全国大学博物館学講座協議会 事務局担当
	電話番号	03-3296-4404
	E-mail	zenpakukyo@gmail.com
○団体概要 昭和 32(1957)年設立、博物館学講座(学芸員養成課程)を開設する大学で構成 加盟大学 177 大学 委員長大学 明治大学 副委員長大学 桜美林大学・淑徳大学 東日本部会長大学 東京農業大学生物産業学部、西日本部会長大学 関西大学		
○令和 7 年度事業について（研修，調査研究，行事，普及啓発等） ・研修及び大会 令和 7 年 5 月 10・11 日 全国委員会(於、明治大学:ハイブリット開催) 令和 7 年 6 月 28・29 日 総会・全国大会(於、淑徳大学) 令和 7 年 11 月 8・9 日 東日本部会大会(於、学習院大学)、西日本部会大会(於、鹿児島国際大学) ・刊行物 『全博協 研究紀要』第 28 号 刊行予定(令和 8 年 3 月) 『全博協会報』63 号 刊行予定(令和 8 年 3 月) ・事業 学芸員養成課程・養成教育のあり方の検討 非正規等学芸員待遇問題対策プロジェクト 学芸員養成科目再検討プロジェクト 博物館学文献目録作成に向けての文献渉猟 加盟大学間の情報交換		

団体名		大学博物館等協議会
代表者職名・氏名		会長・坪田 敏男(つばた としお)
所在地		〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
電話番号		011-706-2658 北海道大学総合博物館
ホームページアドレス		https://www.museum.hokudai.ac.jp/
連絡窓口	氏名	
	役職名	北海道大学 理学・生命科学事務部事務課 博物館担当
	電話番号	011-706-3607
	E-mail	museum@jimuhokudai.ac.jp
○団体概要 大学付置の博物館、美術館、資料館、史料館等およびその他の博物館等で組織され、1998年発足。毎年総会を開催し、館長会議・実務担当者会議等を含め、全国の大学博物館等の活動に関する意見交換・交流を行い、当面する問題についての情報の共有を図っている。2025年現在、加盟組織は44団体。2006年度からは総会時に博物科学会を開催し、博物学・博物館学に関連する研究発表等を行っている。		
○令和7年度事業について（研修、調査研究、行事、普及啓発等） 行事：2025度(第28回)大学博物館等協議会総会・第20回博物科学会は、6月19日(木)～6月20日(金)、九州大学で開催される。 調査研究：年1回開催される大学博物館等協議会および日本博物科学会において、加盟館の活動報告や直面している具体的な課題などを協議し、情報共有のみならず相互協力による改善に向けた取り組みの実施を目指す。 普及啓発：大学博物館等協議会ニューズレター(MUSEO ACADEMIAE)第27号の発行。		

団体名		全国歴史民俗系博物館協議会(歴民協)
代表者職名・氏名		代表幹事館(国立歴史民俗博物館) 館長・西谷 大
所在地		〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地 国立歴史民俗博物館 博物館事業課内
電話番号		043-486-4303
ホームページアドレス		https://www.rekimin.com/
連絡窓口	氏名	大木 淳一
	役職名	事務局員 (国立歴史民俗博物館 博物館事業課長)
	電話番号	043-486-4303
	E-mail	rekimin@rekihaku.ac.jp
○団体概要 設立年月日：平成 24 年 6 月 14 日 目 的：有形無形の文化資源の保存と活用に努める全国の歴史民俗系博物館の交流と連携により、歴史と文化が地域社会の基盤として不可欠であるという理念に基づいて、社会に貢献することを目的とする。 会 員 数：822 館（令和 7 年 3 月 31 日現在）		
○令和 7 年度事業について ・ 令和 7 年度年次集会の開催 ・ 能登半島地震被災文化財等救援事業への参加 ・ 歴史民俗系博物館のネットワークの充実と整備 ・ 関係団体等の会議への参加		

団体名		日本公開天文台協会 (Japan Public Observatory Society (JAPOS))
代表者職名・氏名		会長 村上 恭彦 (なよろ市立天文台長)
所在地		〒096-0066 北海道名寄市字日進 157 番地 1 なよろ市立天文台内
電話		01654-2-3956(代)
ホームページアドレス		https://www.koukaitenmondai.jp/
連絡窓口	氏名	安田岳志
	役職名	事務局長 (姫路科学館 (学芸・普及担当))
	電話番号	079-267-3001(代)
	E-mail	staff@koukaitenmondai.jp
○団体概要 本物の天体を通して自然観を養い、心豊かな人格形成に資するための生涯学習支援に取り組む公開天文台の発展を目的として、2005年(平成17年)に設立されました (前身の「全国の天体観測施設の会」は1992年(平成4年)発足)。この目的を達成するために、公開天文台間の情報交換および相互支援を行い、諸活動の充実と職員の資質の向上、ならびに職員と公開天文台の一層の社会的地位の向上を目指して様々な事業を実施しています。 日本の公開天文台は、2026年に100周年を迎えます。岡山県の倉敷天文台に始まる発展の歴史を振り返りつつ、新たな100年への出発点となる節目あたり、記念事業の準備が進められています。 会員数は個人会員113、施設会員133、準会員45、賛助会員13、計304 (令和7年3月31日現在)。		
○令和7年度事業について (研修、調査研究、行事、普及啓発等) (研修・行事など) ・全国大会 (研究大会、総会) 7月1日～3日 (阿南市科学センター) ・公開天文台台長会議 (未定) ・全国研修会、地区研修会、オンライン研修会など (2026年の天文現象ほか) (未定) (調査研究など) ・調査研究委員会、博物館としての公開天文台委員会、次世代型公開天文台 WG、公開プログラム WG、公開天文台100年記念事業調査・編纂WGなどの活動 ・回報の発行 (普及啓発など) ・公開天文台100周年記念事業 ・キャンペーン事業 (スター・ウィークキャンペーン協力(8月)など) ・ホームページやメーリングリストの運用 (刊行物) ・全国大会集録 12月刊行予定		